

大学番号：045

注3

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

事前伺い

名古屋大学 大学院工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人名古屋大学
令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名	企画部企画課
職名・氏名	カチョウ クマガイ カナコ 課長・熊谷 果奈子
電話番号	052-789-5758
（夜間）	同上
F A X	052-747-6500
e-mail	sougoukikakusitu1@adm.nagoya-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

大学院工学研究科

<有機・高分子化学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	8
2. 授業科目の概要	13
3. 施設・設備の整備状況、経費	18
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	19
5. 教員組織の状況	27
6. 附帯事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<応用物質化学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	53
2. 授業科目の概要	58
3. 施設・設備の整備状況、経費	63
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	64
5. 教員組織の状況	72
6. 附帯事項等に対する履行状況等	92
7. その他全般的事項	93

＜生命分子工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	97
2. 授業科目の概要	102
3. 施設・設備の整備状況、経費	107
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	108
5. 教員組織の状況	116
6. 附帯事項等に対する履行状況等	133
7. その他全般的事項	134

＜応用物理学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	138
2. 授業科目の概要	143
3. 施設・設備の整備状況、経費	150
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	151
5. 教員組織の状況	159
6. 附帯事項等に対する履行状況等	182
7. その他全般的事項	183

＜物質科学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	187
2. 授業科目の概要	192
3. 施設・設備の整備状況、経費	199
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	200
5. 教員組織の状況	208
6. 附帯事項等に対する履行状況等	230
7. その他全般的事項	231

＜材料デザイン工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	235
2. 授業科目の概要	240
3. 施設・設備の整備状況、経費	245
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	246
5. 教員組織の状況	254
6. 附帯事項等に対する履行状況等	268
7. その他全般的事項	269

＜物質プロセス工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	273
2. 授業科目の概要	278
3. 施設・設備の整備状況、経費	283
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	284
5. 教員組織の状況	292
6. 附帯事項等に対する履行状況等	309
7. その他全般的事項	310

＜化学システム工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	314
2. 授業科目の概要	319
3. 施設・設備の整備状況、経費	324
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	325
5. 教員組織の状況	333
6. 附帯事項等に対する履行状況等	353
7. その他全般的事項	354

<電気工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	358
2. 授業科目の概要	363
3. 施設・設備の整備状況、経費	371
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	372
5. 教員組織の状況	380
6. 附帯事項等に対する履行状況等	404
7. その他全般的事項	405

<電子工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	409
2. 授業科目の概要	414
3. 施設・設備の整備状況、経費	422
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	424
5. 教員組織の状況	432
6. 附帯事項等に対する履行状況等	459
7. その他全般的事項	460

<情報・通信工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	464
2. 授業科目の概要	469
3. 施設・設備の整備状況、経費	476
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	478
5. 教員組織の状況	486
6. 附帯事項等に対する履行状況等	506
7. その他全般的事項	507

＜機械システム工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	511
2. 授業科目の概要	516
3. 施設・設備の整備状況、経費	524
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	526
5. 教員組織の状況	534
6. 附帯事項等に対する履行状況等	559
7. その他全般的事項	560

＜マイクロ・ナノ機械理工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	564
2. 授業科目の概要	569
3. 施設・設備の整備状況、経費	576
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	578
5. 教員組織の状況	586
6. 附帯事項等に対する履行状況等	607
7. その他全般的事項	608

＜航空宇宙工学専攻（博士後期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	612
2. 授業科目の概要	617
3. 施設・設備の整備状況、経費	624
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	626
5. 教員組織の状況	634
6. 附帯事項等に対する履行状況等	656
7. その他全般的事項	657

<エネルギー理工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	661
2. 授業科目の概要	666
3. 施設・設備の整備状況、経費	670
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	672
5. 教員組織の状況	680
6. 附帯事項等に対する履行状況等	693
7. その他全般的事項	694

<総合エネルギー工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	698
2. 授業科目の概要	703
3. 施設・設備の整備状況、経費	707
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	709
5. 教員組織の状況	717
6. 附帯事項等に対する履行状況等	730
7. その他全般的事項	731

<土木工学専攻（博士後期課程）>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	735
2. 授業科目の概要	740
3. 施設・設備の整備状況、経費	747
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	749
5. 教員組織の状況	757
6. 附帯事項等に対する履行状況等	776
7. その他全般的事項	777

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 有機・高分子化学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	1.29倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	15 (-) [1]	0 (-) [0]	10 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	15 (-) [1]	0 (-) [0]	10 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	15 (-) [1]	0 (-) [0]	10 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	8 (-) [0]	0 (-) [0]	14 (-) [0]	0 (-) [0]	9 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.00		1.75		1.12				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	8 [0] (-)	0 [0] (-)	14 [0] (-)	0 [0] (-)	9 [0] (-)	0 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		8 [0] (-)	0 [0] (-)	14 [0] (-)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		8 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	8 [0] (-)	22 [0] (-)	31 [0] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	22人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	31人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{31} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 有機・高分子化学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	有機化学セミナー 2A	1前		2		4	3		4		1
	有機化学セミナー 2B	1後		2		4	3		4		1
	有機化学セミナー 2C	2前		2		4	3		4		1
	有機化学セミナー 2D	2後		2		4	3		4		1
	有機化学セミナー 2E	3前		2		4	3		4		1
	高分子化学セミナー 2A	1前		2		4	3		4		1
	高分子化学セミナー 2B	1後		2		4	3		4		1
	高分子化学セミナー 2C	2前		2		4	3		4		1
	高分子化学セミナー 2D	2後		2		4	3		4		1
	高分子化学セミナー 2E	3前		2		4	3		4		1
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		8					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		8					
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		4					
小計(13科目)	-	0	28	0	60	30	0	40	0	10	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1					
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1		1					
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		7					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7					1
小計(14科目)	-	0	52	0	60	1	0	0	0	2	
(研究指導)	-	-	-	-	8	8					
合計(27科目)	-	0	80	0	120	31	0	40	0	12	
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	有機化学セミナー 2A	1前		2		4	4	1	6		1
	有機化学セミナー 2B	1後		2		4	4	1	6		1
	有機化学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	6		1
	有機化学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	6		1
	有機化学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	6		1
	高分子化学セミナー 2A	1前		2		4	4	1	3		0
	高分子化学セミナー 2B	1後		2		4	4	1	3		0
	高分子化学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	3		0
	高分子化学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	3		0
	高分子化学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	3		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		8					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		8					
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
小計(13科目)	-	0	28	0	56	40	10	45	0	10	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1		0	1				
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(14科目)	-	0	52	0	40	1	0	0	0	8	
(研究指導)	-	-	-	-	8	8	1				
合計(27科目)	-	0	80	0	96	41	10	45	0	18	
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	有機化学セミナー 2A	1前		2		4	3	1	4		0
	有機化学セミナー 2B	1後		2		4	3	1	4		0
	有機化学セミナー 2C	2前		2		4	3	1	4		0
	有機化学セミナー 2D	2後		2		4	3	1	4		0
	有機化学セミナー 2E	3前		2		4	3	1	4		0
	高分子化学セミナー 2A	1前		2		4	3	2	3		0
	高分子化学セミナー 2B	1後		2		4	3	2	3		0
	高分子化学セミナー 2C	2前		2		4	3	2	3		0
	高分子化学セミナー 2D	2後		2		4	3	2	3		0
	高分子化学セミナー 2E	3前		2		4	3	2	3		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2			7				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4			7				
	医工連携セミナー	1・2・3前		2			0				4
小計(13科目)	-	0	28	0	54	30	15	35	0	4	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2			1				
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3			1				
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4			1				
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6			1				
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8			1				
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2			7				
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3			7				
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4			7				
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6			7				
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8			7				
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1			1				
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1				1			
	実世界データ循環システム特論II	1後		2			0				8
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2			7				0	
小計(14科目)	-	0	52	0	48	1	0	0	0	8	
(研究指導)	-	-	-	-	7	8					
合計(27科目)	-	0	80	0	102	31	15	35	0	12	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	有機化学セミナー 2A	1前		2		4	4	1	5		0
	有機化学セミナー 2B	1後		2		4	4	1	5		0
	有機化学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	5		0
	有機化学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	5		0
	有機化学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	5		0
	高分子化学セミナー 2A	1前		2		4	4	2	3		0
	高分子化学セミナー 2B	1後		2		4	4	2	3		0
	高分子化学セミナー 2C	2前		2		4	4	2	3		0
	高分子化学セミナー 2D	2後		2		4	4	2	3		0
	高分子化学セミナー 2E	3前		2		4	4	2	3		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2			7				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4			7				
	医工連携セミナー	1・2・3前		2			0				4
小計(13科目)	-	0	28	0	54	40	15	40	0	4	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2			1				
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3			1				
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4			1				
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6			1				
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8			1				
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2			7				
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3			7				
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4			7				
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6			7				
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8			7				
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1			1				
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1				1			
	実世界データ循環システム特論II	1後		2			0				2
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2			0				2	
小計(14科目)	-	0	52	0	41	1	0	0	0	4	
(研究指導)	-	-	-	-	7	8	2				
合計(27科目)	-	0	80	0	95	41	15	40	0	8	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「有機化学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「有機化学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教5」から「助教6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子化学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子化学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子化学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子化学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高分子化学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の兼任・兼担の教員を「4」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実習指導体験実習1」の専任教員の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、「講師2」から「講師1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0	27	0	27	0	27	0	27	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{27} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため(元)	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体	
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 47 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 有機・高分子化学専攻			16 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	工学研究科 有機・高分子 化学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0	
計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール(25m×7コース)、陸上競技場(400mトラック)、テニスコート(11面)、野球場(1面)、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場(各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次— 2年次—	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.38		昭和28年度 平成16年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42				
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理 学）	1.01		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.51				
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学） 修士（学術）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学） 修士（学術）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士（学術）			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（数理学）	1.06		平成7年度		
（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（数理学）	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術） 博士（文学） 博士（学術）	—				
国際多元文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術） 博士（文学） 博士（学術）	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 （博士前期課程）	2	53	—	106	修士（環境学）	0.87		平成13年度		
（博士後期課程）	3	24	—	72	修士（理学） 博士（環境学） 博士（理学）	0.57				
都市環境学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（環境学）	1.24		平成13年度		
（博士後期課程）	3	21	—	63	修士（工学） 修士（建築学） 博士（環境学） 博士（工学） 博士（建築学）	0.37				
社会環境学専攻 （博士前期課程）	2	27	—	54	修士（環境学）	0.84		平成13年度		
（博士後期課程）	3	13	—	39	修士（社会学） 修士（地理学） 修士（法学） 修士（経済学） 博士（環境学） 博士（社会学） 博士（地理学） 博士（法学） 博士（経済学）	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
情報システム学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
メディア科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学） 修士（学術） 博士（情報科学） 博士（工学） 博士（学術）	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 有機・高分子化学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	関 隆広 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		(研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山下 誠 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		
専	教授	松下 裕秀 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上垣外 正己
		<平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究インターンシ ップ2 U2
		研究インターンシ ップ2 U3
		研究インターンシ ップ2 U4
		研究インターンシ ップ2 U6
		研究インターンシ ップ2 U8
		研究室ローテーシ ョン2 U2
		研究室ローテーシ ョン2 U3
		研究室ローテーシ ョン2 U4
		研究室ローテーシ ョン2 U6
		研究室ローテーシ ョン2 U8
		実験指導体験実習1 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上垣外 正己
		<平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究インターンシ ップ2 U2
		研究インターンシ ップ2 U3
		研究インターンシ ップ2 U4
		研究インターンシ ップ2 U6
		研究インターンシ ップ2 U8
		研究室ローテーシ ョン2 U2
		研究室ローテーシ ョン2 U3
		研究室ローテーシ ョン2 U4
		研究室ローテーシ ョン2 U6
		研究室ローテーシ ョン2 U8
		実験指導体験実習1 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上垣外 正己
		<平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究インターンシ ップ2 U2
		研究インターンシ ップ2 U3
		研究インターンシ ップ2 U4
		研究インターンシ ップ2 U6
		研究インターンシ ップ2 U8
		研究室ローテーシ ョン2 U2
		研究室ローテーシ ョン2 U3
		研究室ローテーシ ョン2 U4
		研究室ローテーシ ョン2 U6
		研究室ローテーシ ョン2 U8
		実験指導体験実習1 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	上垣外 正己
		<平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
		高分子化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究室ローテーシ ョン2 U2
		研究室ローテーシ ョン2 U3
		研究室ローテーシ ョン2 U4
		研究室ローテーシ ョン2 U6
		研究室ローテーシ ョン2 U8
		研究室ローテーシ ョン2 U2
		研究室ローテーシ ョン2 U3
		研究室ローテーシ ョン2 U4
		研究室ローテーシ ョン2 U6
		研究室ローテーシ ョン2 U8
		実験指導体験実習1 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 一彰
		<平成29年4月>
		工学博士
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
研究室ローテーション 2 U6		
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 一彰
		<平成29年4月>
		工学博士
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
研究室ローテーション 2 U6		
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 一彰
		<平成29年4月>
		工学博士
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
研究室ローテーション 2 U6		
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	石原 一彰
		<平成29年4月>
		工学博士
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
研究室ローテーション 2 U6		
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大井 貴史 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	忍久保 洋
		<平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	忍久保 洋
		<平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
研究室ローテーション 2 U8		
産学官プロジェクト ワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	忍久保 洋
		<平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
研究室ローテーション 2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	忍久保 洋
		<平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーII U2 (JUACEP)
		国際協働プロジェクト セミナーII U4 (JUACEP)
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
研究室ローテーション 2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP) 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP) 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP) 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP) 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 (JUACEP) 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 (JUACEP) 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	八島 栄次 <平成29年4月> 工学博士
		井改 知幸 <平成31年4月> 博士(工学) 高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D (研究指導)
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2D 実験指導体験実習2 (研究指導)
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D (研究指導)
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2D 実験指導体験実習2 (研究指導)
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E 実験指導体験実習2 (研究指導)
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	浦口 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E 実験指導体験実習2 (研究指導)
専	准教授	三宅 由寛 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	竹岡 敬和 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	波多野 学 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	高野 敦志 <平成29年4月> 工学博士
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	大松 亨介 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
		有機化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	野呂 篤史 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E (研究指導)
専	助教	ウヤヌク ムハメット <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	原 光生 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A 高分子化学セミナー 2B 高分子化学セミナー 2C 高分子化学セミナー 2D 高分子化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
有機化学セミナー 2E		
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
有機化学セミナー 2E		
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
有機化学セミナー 2E		
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	荒巻 吉孝 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A
		有機化学セミナー 2B
		有機化学セミナー 2C
		有機化学セミナー 2D
有機化学セミナー 2E		
専	助教	田浦 大輔 <平成29年4月> 博士(理学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		
専	助教	内山 峰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		高分子化学セミナー 2A
		高分子化学セミナー 2B
		高分子化学セミナー 2C
		高分子化学セミナー 2D
高分子化学セミナー 2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	廣戸 聡 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	廣戸 聡 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	福井 識人 <平成30年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	中野 遼 <平成30年7月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	福井 識人 <平成30年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	鈴木 克規 <平成29年4月> 博士(理学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
専	助教	中野 遼 <平成30年7月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀部 貴大 <平成29年4月> 博士(工学)
		有機化学セミナー 2A 有機化学セミナー 2B 有機化学セミナー 2C 有機化学セミナー 2D 有機化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシッ プ2 U2 研究インターンシッ プ2 U3 研究インターンシッ プ2 U4 研究インターンシッ プ2 U6 研究インターンシッ プ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
	担当授業科目名	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
逢坂 直樹, 伊藤 淳一, 野呂 篤史, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 浅沼 浩之, 村上 裕, 渡邊 信久, 馬場 嘉信, 武田 一哉, 柳浦 睦憲

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
逢坂 直樹, 野呂 篤史, 浦口 大輔, 永野 修作, 三宅 由寛, 波多野 学, 高野 敦志, 福井 識人, 鈴木 克規, 堀部 貴大, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 柳浦 睦憲
・以下辞任
廣戸 聡
・以下就任
福井 識人, 中野 遼

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
松下 裕秀, 上垣外 正己, 佐藤 浩太郎
・以下辞任
逢坂 直樹, 河口 信夫, 渡邊 信久
・以下就任
井改 知幸, 生田 博志, 堀 克敏, 本多 裕之
・以下担当種別及び職名の変更
佐藤 浩太郎

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4 名	3 名	3 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	8	0	9	25	8	8	2	9	27
(8)	(8)	(3)	(8)	(27)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
25	0	0			27	0	0		
(27)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
8	8	0	9	25	8	8	0	9	25
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
25	0	0			25	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	助教	廣戸 聡	H30.3	選択	有機化学セミナー 2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任（30）				
				選択	有機化学セミナー 2B	①					
				選択	有機化学セミナー 2C	①					
				選択	有機化学セミナー 2D	①					
				選択	有機化学セミナー 2E	①					
2	准教授	佐藤 浩太郎	H31.3	選択	高分子化学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）				
				選択	高分子化学セミナー2B	①					
				選択	高分子化学セミナー2C	①					
				選択	高分子化学セミナー2D	①					
				選択	高分子化学セミナー2E	①					
				—	研究指導						
3	講師	逢坂 直樹	H30.9	選択	高分子化学セミナー2A	①	H30.9.30付け退職のため辞任（元）				
				選択	高分子化学セミナー2B	①					
				選択	高分子化学セミナー2C	①					
				選択	高分子化学セミナー2D	①					
				選択	高分子化学セミナー2E	①					
				—	研究指導						
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人			必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
				選択	15 科目	選択	15 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	15 科目	計	15 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
3 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	15 科目	選択	15 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	15 科目	計	15 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{25} = \boxed{12} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
		該当なし						
合計					後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 有機・高分子化学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人入入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 応用物質化学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考	
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	1 (-) [-]	8 (-) [-]	1 (-) [-]	3 (-) [-]	2 (-) [-]	8 (-) [-]	0.33倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	3 (-) [2]	2 (-) [0]	() []	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	3 (-) [2]	2 (-) [0]	() []	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	3 (-) [2]	2 (-) [0]	() []	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [0]	1 (-) [0]	1 (-) [0]	2 (-) [1]	2 (-) [0]	() []	() []			
入学定員超過率 B/A					0.37		0.37		0.25					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [0] (-)	1 [0] (-)	1 [0] (-)	2 [1] (-)	2 [0] (-)	2 [1] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		2 [0] (-)	1 [0] (-)	1 [0] (-)	1 [0] (-)	
3年次			/				/		/		2 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [0] (-)	6 [1] (-)	8 [1] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	3人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 応用物質化学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用物理化学セミナー 2A	1前		2		4	3		4		1
	応用物理化学セミナー 2B	1後		2		4	3		4		1
	応用物理化学セミナー 2C	2前		2		4	3		4		1
	応用物理化学セミナー 2D	2後		2		4	3		4		1
	応用物理化学セミナー 2E	3前		2		4	3		4		1
	固体化学セミナー 2A	1前		2		4	2		3		
	固体化学セミナー 2B	1後		2		4	2		3		
	固体化学セミナー 2C	2前		2		4	2		3		
	固体化学セミナー 2D	2後		2		4	2		3		
	固体化学セミナー 2E	3前		2		4	2		3		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		7					1
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		7					1
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		7					
小計(13科目)		-	0	28	0	61	25	0	35	0	7
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1					
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		7					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		7					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		7					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		7					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		7					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1				
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		7					1
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7					1	
小計(14科目)		-	0	52	0	55	1	0	0	0	2
(研究指導)		-	-	-		7	7				
合計(27科目)		-	0	80	0	116	26	0	35	0	9
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用物理化学セミナー 2A(未開講)	1前		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2B(未開講)	1後		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	3		1
	固体化学セミナー 2A	1前		2		4	3		3		0
	固体化学セミナー 2B	1後		2		4	3		3		0
	固体化学セミナー 2C	2前		2		4	3		3		0
	固体化学セミナー 2D	2後		2		4	3		3		0
	固体化学セミナー 2E(未開講)	3前		2		4	3		3		0
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					0
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					0
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
小計(13科目)		-	0	28	0	52	35	5	30	0	10
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		6					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		6					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		6					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		6					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		6					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					1
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1	
小計(14科目)		-	0	52	0	30	0	0	0	0	9
(研究指導)		-	-	-		6	6				
合計(27科目)		-	0	80	0	82	35	5	30	0	19
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用物理化学セミナー 2A	1前		2		4	3	1	3		0
	応用物理化学セミナー 2B	1後		2		4	3	1	3		0
	応用物理化学セミナー 2C	2前		2		4	3	1	3		0
	応用物理化学セミナー 2D	2後		2		4	3	1	3		0
	応用物理化学セミナー 2E	3前		2		4	3	1	3		0
	固体化学セミナー 2A(未開講)	1前		2		3	3		3		
	固体化学セミナー 2B(未開講)	1後		2		3	3		3		
	固体化学セミナー 2C	2前		2		3	3		3		
	固体化学セミナー 2D	2後		2		3	3		3		
	固体化学セミナー 2E	3前		2		3	3		3		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		7					1
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		7					1
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					7
小計(13科目)	-	0	28	0	49	30	5	30	0	9	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		7					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		7					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		7					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		7					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		7					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1		0					1
	実世界データ循環システム特論ⅠⅡ	1後		2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7					0
小計(14科目)	-	0	52	0	42	0	0	0	0	15	
(研究指導)	-	-	-	-	7	7					
合計(27科目)	-	0	80	0	91	30	5	30	0	24	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	応用物理化学セミナー 2A	1前		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2B	1後		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	3		1
	応用物理化学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	3		1
	固体化学セミナー 2A	1前		2		3	2		2		1
	固体化学セミナー 2B	1後		2		3	2		2		1
	固体化学セミナー 2C(未開講)	2前		2		3	2		2		1
	固体化学セミナー 2D	2後		2		3	2		2		1
	固体化学セミナー 2E	3前		2		3	2		2		1
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					0
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					0
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					7
小計(13科目)	-	0	28	0	47	30	5	25	0	17	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		6					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		6					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		6					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		6					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		6					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1		0			0		1
	実世界データ循環システム特論ⅠⅡ	1後		2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					2
小計(14科目)	-	0	52	0	30	0	0	0	0	11	
(研究指導)	-	-	-	-	6	6					
合計(27科目)	-	0	80	0	77	30	5	25	0	28	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「固体化学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授3」に、「助教2」から「助教3」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体化学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授3」に、「助教2」から「助教3」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体化学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授3」に、「助教2」から「助教3」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体化学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授3」に、「助教2」から「助教3」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体化学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授4」に、「准教授2」から「准教授3」に、「助教2」から「助教3」に、兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の兼任・兼任の教員を「7」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼任の教員を「兼任2」から「兼任1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼任の教員を「兼任2」から「兼任1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{27} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	590,883 578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 578,743 ㎡	大学全体		
	(590,883 578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	252 234 室	演習室 232 240 室	実験実習室 1,680 1,326 室	情報処理学習施設 16 17 室 (補助職員 1 人)	語学学習施設 14 室 (補助職員 0 人)	大学全体	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 応用物質化学専攻			19 18 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 応用物質化学 専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 席 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	9,229 ㎡		弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学) 修士(歴史学)	—		昭和28年度 平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学) 博士(学術)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—	平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 応用物質化学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岡崎 進 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	菊田 浩一 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	薩摩 篤 <平成29年4月> 工学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松田 亮太郎
		<平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4
		研究室ローテーション 2 U2
		研究室ローテーション 2 U3
		研究室ローテーション 2 U4
		研究室ローテーション 2 U6
		研究室ローテーション 2 U8
		(研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	長田 実 <平成30年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大槻 主税 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D
		固体化学セミナー 2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	中西 和樹 <平成31年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
専	教授	長田 実 <平成30年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2A
		固体化学セミナー 2B
		固体化学セミナー 2C
		固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	楠 美智子 <平成29年4月> 工学博士
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	楠 美智子 <平成29年4月> 工学博士
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鳥本 司 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	坂本 涉 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	坂本 涉 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	熊谷 純 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	篠田 涉 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D (研究指導)
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学) 応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学) 応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学) 応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 亮 <平成31年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
専	准教授	鳴瀧 彩絵 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 秀士 <平成29年4月> 博士(理学) 応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉井 範行 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	馬 運声 <平成29年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉井 範行 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	馬 運声 <平成29年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉井 範行 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	馬 運声 <平成29年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	吉井 範行 <平成29年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	馬 運声 <平成29年4月> 理学博士
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E (研究指導)
専	講師	沢邊 恭一 <平成29年4月> 理学博士
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	亀山 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		山本 瑛祐 <平成31年4月> 博士(工学)
専	助教	山本 瑛祐 <平成31年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
専	助教	織田 晃 <平成31年4月> 博士(理学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2E
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2E
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大山 順也 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
専	助教	藤本 和士 <平成29年4月> 博士(工学)
		応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D
専	助教	林 幸彦朗 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D
専	助教	林 幸彦朗 <平成29年4月> 博士(工学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
兼任	教授	間瀬 健二 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成30年4月> 博士(工学)
		研究インターンシ ップ2 U2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堀 彰宏 <平成29年4月> 博士(理学)
		固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	森 健策 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	石川 佳治 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成30年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成30年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	柳浦 睦憲 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学) 医工連携セミナー
兼任	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
専	助教	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	講師	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学) 医工連携セミナー
兼任	准教授	清水 一憲 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	准教授	乗松 航 <平成29年4月> 博士(工学) 固体化学セミナー 2A 固体化学セミナー 2B 固体化学セミナー 2C 固体化学セミナー 2D 固体化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								安藤 嘉倫 <平成30年4月> 博士(工学)			安藤 嘉倫 <平成30年4月> 博士(工学)
			兼任	講師	応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E		兼任	准教授	応用物理化学セミナー 2A 応用物理化学セミナー 2B 応用物理化学セミナー 2C 応用物理化学セミナー 2D 応用物理化学セミナー 2E		
					西田 直樹 <平成29年4月> 博士(工学)		兼任	准教授			
					実世界データ循環システム特論II						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

- 以下担当教員の見直しによる変更
坂本 渉、鳴瀧彩絵、馬 運声、沢邊恭一、間瀬健二、関 浩之、上垣外正己、森 健策、石川佳治、浅沼浩之、村上 裕、渡邊信久、馬場嘉信、本多裕之、柳浦睦憲、井手一郎、永野修作、加地範匡、清水一憲、西田直樹

【平成30年度】

- 以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
岡崎 進、菊田浩一、薩摩 篤、松田亮太郎、大槻主税、鳥本 司、熊谷 純、篠田 渉、鈴木秀士、中村 仁、堀 彰宏、間瀬健二、関 浩之、森 健策、石川佳治、柳浦睦憲、井手一郎、河口信夫、武田一哉、安藤嘉倫、加地範匡、乗松 航
- 以下辞任
楠 美智子、坂本 渉、林 幸彦朗
- 以下就任
長田 実
- 以下担当種別及び職名の変更
乗松 航、加地 範匡

【令和元年度】

- 以下辞任
大山 順也、河口 信夫、上垣外 正己、渡邊 信久、加地 範匡、清水 一憲、乗松 航
- 以下就任
中西 和樹、小林 亮、山本 瑛祐、織田 晃、生田 博志、堀 克敏
- 以下担当種別及び職名の変更
安藤嘉倫

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
7	7	0	8	22	8	7	1	6	22
(7)	(7)	(1)	(7)	(22)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
22	0	0			22	0	0		
(22)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	7	0	8	22	7	7	0	8	22
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
22	0	0			22	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{22} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	坂本 渉	H30.3	選択	固体化学セミナー 2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)			
				選択	固体化学セミナー 2B	①				
				選択	固体化学セミナー 2C	①				
				選択	固体化学セミナー 2D	①				
				選択	固体化学セミナー 2E	①				
				(研究指導)						
2	助教	乗松 航	H30.3	選択	固体化学セミナー 2C	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)			
				選択	固体化学セミナー 2D	①				
				選択	固体化学セミナー 2E	①				
3	助教	林 幸彦朗	H29.8	選択	固体化学セミナー 2A	①	H29.8.31付け退職のため辞任 (30)			
				選択	固体化学セミナー 2B	①				
				選択	固体化学セミナー 2D	①				
				選択	固体化学セミナー 2E	①				
4	助教	大山 順也	H30.5	選択	応用物理化学セミナー 2A	①	H30.5.31付け退職のため辞任 (元)			
				選択	応用物理化学セミナー 2B	①				
				選択	応用物理化学セミナー 2C	①				
				選択	応用物理化学セミナー 2D	①				
				選択	応用物理化学セミナー 2E	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
4	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	17	科目	選択	17	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	17	科目	計	17	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)\text{合計(D)}+(F)}{(2)-(2)\text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{22} = 18.18\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	楠 美智子	選択	固体化学セミナー 2A	①	H30.3.31付け定年退職のため辞任 (30)				
			選択	固体化学セミナー 2B	①					
			選択	固体化学セミナー 2C	①					
			選択	固体化学セミナー 2D	①					
			選択	固体化学セミナー 2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーIIU2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーIIU4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U3	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U6	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			選択	産学官プロジェクトワーク	①					
				(研究指導)						
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	13	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 応用物質化学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 生命分子工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	6人	— 年次 人	18人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	6 (-) [-]	1 (-) [-]	6 (-) [-]	1 (-) [-]	2 (-) [-]	0 (-) [-]	0.94倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [2]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [2]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [2]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	7 (-) [1]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [2]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.33		1.16		0.33				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	7 [1] (-)	1 [0] (-)	6 [1] (-)	1 [0] (-)	2 [2] (-)	1 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		7 [1] (-)	1 [0] (-)	5 [1] (-)	1 [0] (-)	
3年次			/				/		/		7 [1] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	8 [1] (-)	15 [2] (-)	16 [4] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	15人	1人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	1人	0人	進路変更(1人)
令和元年度	16人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		1人		1人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{15} = \boxed{6.66} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 生命分子工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	分子生命化学セミナー 2A	1前		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2B	1後		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2C	2前		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2D	2後		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2E	3前		2		3	3		3			
	生命システム工学セミナー 2A	1前		2		4	4		2		1	
	生命システム工学セミナー 2B	1後		2		4	4		2		1	
	生命システム工学セミナー 2C	2前		2		4	4		2		1	
	生命システム工学セミナー 2D	2後		2		4	4		2		1	
	生命システム工学セミナー 2E	3前		2		4	4		2		1	
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		4						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		4						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		5						
小計(13科目)		—	0	28	0	48	35	0	25	0	5	
総合工学科目	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		1						
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		6						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		6						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		6						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		6						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		6						
	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		1						
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			1					
	実世界データ循環システム特論 II U1	1後		2		1						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		6						
小計(14科目)		—	0	52	0	43	1	0	0	0	0	
(研究指導)		—	—	—	—	6	7					
合計(27科目)		—	0	80	0	91	36	0	25	0	5	
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う												

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	分子生命化学セミナー 2A	1前		2		3	4		1		1
	分子生命化学セミナー 2B	1後		2		3	4		1		1
	分子生命化学セミナー 2C	2前		2		3	4		1		1
	分子生命化学セミナー 2D	2後		2		3	4		1		1
	分子生命化学セミナー 2E	3前		2		3	4		1		1
	生命システム工学セミナー 2A (未開講)	1前		2		3	4	1	2		0
	生命システム工学セミナー 2B (未開講)	1後		2		3	4	1	2		0
	生命システム工学セミナー 2C	2前		2		3	4	1	2		0
	生命システム工学セミナー 2D	2後		2		3	4	1	2		0
	生命システム工学セミナー 2E	3前		2		3	4	1	2		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		5					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		5					
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		5					
小計(13科目)		—	0	28	0	45	40	5	15	0	5
総合工学科目	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		5					
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		5					
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		5					
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		5					
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		5					
	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論 II U1	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(14科目)		—	0	52	0	25	0	0	0	0	9
(研究指導)		—	—	—	—	6	7				
合計(27科目)		—	0	80	0	70	40	5	15	0	14
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上 ただし、以下のイ～ハを満たすこと イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上 ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	分子生命化学セミナー 2A	1前		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2B	1後		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2C	2前		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2D	2後		2		3	3		3			
	分子生命化学セミナー 2E	3前		2		3	3		3			
	生命システム工学セミナー 2A	1前		2		4	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2B	1後		2		4	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2C	2前		2		4	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2D	2後		2		4	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2E	3前		2		4	4	1	2		0	
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2			7					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4			7					
	医工連携セミナー	1・2・3前		2			5					
小計(13科目)			0	28	0	54	35	5	25	0	0	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		6						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		6						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		6						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		6						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		6						
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	実世界データ循環システム特論II C	1後		2		0						6
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		6						1
小計(14科目)			0	52	0	36	0	0	0	0	14	
(研究指導)						6	7					
合計(27科目)			0	80	0	90	35	5	25	0	14	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	分子生命化学セミナー 2A	1前		2		3	3		1			1
	分子生命化学セミナー 2B	1後		2		3	3		1			1
	分子生命化学セミナー 2C	2前		2		3	3		1			1
	分子生命化学セミナー 2D	2後		2		3	3		1			1
	分子生命化学セミナー 2E	3前		2		3	3		1			1
	生命システム工学セミナー 2A	1前		2		3	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2B	1後		2		3	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2C	2前		2		3	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2D	2後		2		3	4	1	2		0	
	生命システム工学セミナー 2E	3前		2		3	4	1	2		0	
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2			6					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4			6					
	医工連携セミナー	1・2・3前		2			3					
小計(13科目)			0	28	0	45	35	5	15	0	5	
総合工学科目	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		6						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		6						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		6						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		6						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		6						
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	実世界データ循環システム特論II C	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(14科目)			0	52	0	30	0	0	0	0	11	
(研究指導)						5	7					
合計(27科目)			0	80	0	75	35	5	15	0	16	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目で既修のものを除いた中から8単位以上

ただし、以下のイ～ハを満たすこと

- イ 上記に掲げた専門科目のセミナー科目から4単位以上
- ロ 他専攻等科目から2単位以上を修得すること
- ハ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生命システム工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「6」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「分子生命科学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授6」に変更。

- (注) ・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	0 科目	27 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{27} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）			
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡				
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎	専 用	590,883 -578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 -578,743 ㎡	大学全体			
	(590,883 578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
	演習室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）			
	工学研究科 生命分子工学専攻		2 2 2-0 2-2 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学研究科 生命分子工学 専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0		
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,295 (1,659)	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	24,820 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	修士（歴史学） 修士（学術） 博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	修士（教育） 博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（臨床心理学） 博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学）	0.38		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	修士（比較法学） 修士（現代法学） 博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42		平成16年度		
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学）	1.01		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	修士（経営管理） 博士（経済学）	0.51		平成12年度		
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	修士（学術） 博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
(博士後期課程)	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科								昭和28年度			
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度			
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12					
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学) 修士(建築学) 博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学) 修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 生命分子工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清中 茂樹 <平成31年3月> 博士(工学)
		生命システム工学セミナー 2A 生命システム工学セミナー 2B 生命システム工学セミナー 2C 生命システム工学セミナー 2D 生命システム工学セミナー 2E (研究指導)
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	清中 茂樹 <平成31年3月> 博士(工学)
		生命システム工学セミナー 2A 生命システム工学セミナー 2B 生命システム工学セミナー 2C 生命システム工学セミナー 2D 生命システム工学セミナー 2E (研究指導)
専	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	専 教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	専 教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 医工連携セミナー 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	飯島 信司 <平成29年4月> 農学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	飯島 信司 <平成29年4月> 農学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 座学目ノロンエソト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 克敏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 医工連携セミナー 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)
専	准教授	加地 範匡 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E
専	准教授	櫻田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E
専	准教授	櫻田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	櫻田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	安井 隆雄 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	櫻田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)
専	准教授	神谷 由紀子 <平成29年4月> 博士(薬学)
		分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E (研究指導)
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E (研究指導)
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	林 剛介 <平成31年3月> 博士(理学) 分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミ ナー 2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E (研究指導)
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	林 剛介 <平成31年3月> 博士(理学) 分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミ ナー 2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 淳巨 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E (研究指導)
専	講師	中谷 肇 <平成29年4月> 博士(農学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	金岡 英徳 <平成29年4月> 博士(工学) 生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石川 聖人 <平成29年4月> 博士(工学)
		生命システム工学セ ミナー 2A 生命システム工学セ ミナー 2B 生命システム工学セ ミナー 2C 生命システム工学セ ミナー 2D 生命システム工学セ ミナー 2E
専	助教	村山 恵司 <平成29年4月> 博士(工学)
		分子生命化学セミ ナー 2A 分子生命化学セミ ナー 2B 分子生命化学セミナ ー2C 分子生命化学セミ ナー 2D 分子生命化学セミ ナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術)
専	助教	分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
専	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術) 分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術) 分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	助教	藤野 公茂 <平成29年4月> 修士(学術) 分子生命化学セミナー 2A 分子生命化学セミナー 2B 分子生命化学セミナー 2C 分子生命化学セミナー 2D 分子生命化学セミナー 2E

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
渡邊 信久, 堀 克敏, 本多 裕之, 中谷 肇, 河口 信夫, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
浅沼 浩之, 村上 裕, 渡邊 信久, 馬場 嘉信, 堀 克敏, 本多 裕之, 安井 隆雄, 河口 信夫, 武田 一哉, 加地 範匡, 飯島 信司
・以下辞任
飯島 信司, 加地 範匡, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰
・以下就任
清中 茂樹, 林 剛介
・以下担当種別及び職名の変更
安井 隆雄, 藤野 公茂

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
村上 裕, 堀 克敏
・以下辞任
渡邊 信久, 河口 信夫, 上垣外 正己
・以下就任
生田 博志

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
6	7	0	5	18	6	8	1	3	18
(7)	(7)	(1)	(5)	(20)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
18	0	0			18	0	0		
(20)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
6	7	0	5	18	6	7	0	5	18
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
18	0	0			18	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{18}{18} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	加地 範匡	H29.12	選択	分子生命化学セミナー 2A	①	H29.12.31付け退職のため辞任 (30)				
				選択	分子生命化学セミナー 2B	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2C	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2D	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2E	①					
				—	(研究指導)						
2	助教	藤野 公茂	H30.3	選択	分子生命化学セミナー 2A	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)				
				選択	分子生命化学セミナー 2B	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2C	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2D	①					
				選択	分子生命化学セミナー 2E	①					
3	教授	渡邊 信久	H31.3	選択	生命システム工学セミナー 2A	①	H31.3.26付け退職のため辞任 (元)				
				選択	生命システム工学セミナー 2B	①					
				選択	生命システム工学セミナー 2C	①					
				選択	生命システム工学セミナー 2D	①					
				選択	生命システム工学セミナー 2E	①					
				選択	国際協働プロジェクトセミナー II U2	①					
				選択	国際協働プロジェクトセミナー II U4	①					
				選択	研究室ローテーション 2 U2	①					
				選択	研究室ローテーション 2 U3	①					
				選択	研究室ローテーション 2 U4	①					
				選択	研究室ローテーション 2 U6	①					
				選択	研究室ローテーション 2 U8	①					
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
3 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
				選択	22 科目	選択	22 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	22 科目	計	22 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	22	科目	選択	22	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	22	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{3}{18} = \boxed{16.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	飯島 信司	選択	生命システム工学セミナー 2A	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	生命システム工学セミナー 2B	①					
			選択	生命システム工学セミナー 2C	①					
			選択	生命システム工学セミナー 2D	①					
			選択	生命システム工学セミナー 2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U3	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			選択	産学官プロジェクトワーク	①					
			—	(研究指導)						
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 生命分子工学専攻（博士後期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 応用物理学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	9人	— 年次 人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	0 (-) [-]	9 (-) [-]	0 (-) [-]	9 (-) [-]	0 (-) [-]	0.33倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [0]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.22		0.44		0.33				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [0] (-)	0 [0] (-)	4 [1] (-)	0 [0] (-)	3 [0] (-)	0 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		2 [0] (-)	0 [0] (-)	4 [1] (-)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		2 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [0] (-)	6 [1] (-)	9 [1] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	2人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	9人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 応用物理学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	物性基礎工学セミナー2A	1前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2B	1後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	光物理学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	構造物性工学セミナー2A	1前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2B	1後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2C	2前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2D	2後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2E	3前		2		1	1				
	磁性材料工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2A	1前		2		1	1				
	結晶物性工学セミナー2B	1後		2		1	1				
	結晶物性工学セミナー2C	2前		2		1	1				
	結晶物性工学セミナー2D	2後		2		1	1				
	結晶物性工学セミナー2E	3前		2		1	1				
	ナノ構造解析学セミナー2A	1前		2		1			1		1
	ナノ構造解析学セミナー2B	1後		2		1			1		1
	ナノ構造解析学セミナー2C	2前		2		1			1		1
	ナノ構造解析学セミナー2D	2後		2		1			1		1
	ナノ構造解析学セミナー2E	3前		2		1			1		1
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	40	0	40	0	5

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	物性基礎工学セミナー2A	1前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2B	1後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	光物理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		2		
	構造物性工学セミナー2A	1前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2B	1後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2E	3前		2		1	1				
	磁性材料工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		
	ナノ構造解析学セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		0
	ナノ構造解析学セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		0
	ナノ構造解析学セミナー2C(未開講)	2前		2		1			1		0
	ナノ構造解析学セミナー2D(未開講)	2後		2		1			1		0
	ナノ構造解析学セミナー2E(未開講)	3前		2		1			1		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	40	5	50	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後		2		9						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後		3		9						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後		4		9						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後		6		9						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後		8		9						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		7					1	
	産学官プロジェクトワーク	1前後		2		7					1	
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後		2		9						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後		3		9						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後		4		9						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後		6		9						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後		8		9						
小計(14科目)		-	0	52	0	105	1	0	0	0	2	
(研究指導)		-				9	10					
合計(61科目)		-	0	148	0	168	41	0	40	0	7	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後		8		0						1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前後		2		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後		2		9						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後		3		9						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後		4		9						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後		6		9						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後		8		9						
小計(14科目)		-	0	52	0	45	0	0	0	0	9	
(研究指導)		-				9	8					
合計(61科目)		-	0	148	0	108	40	5	50	0	9	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	物性基礎工学セミナー2A	1前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2B	1後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	光物理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	構造物性工学セミナー2A	1前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2B	1後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2C	2前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2D	2後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2E	3前		2		1	1				
	磁性材料工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	ナノ構造解析学セミナー2A(未開講)	1前		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2B(未開講)	1後		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2C	2前		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2D	2後		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2E	3前		2		1		1	1		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	40	5	45	0	0

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	物性基礎工学セミナー2A	1前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2B	1後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	物性基礎工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	光物理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	光物理学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	量子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	量子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	構造物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2C	2前		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2D	2後		2		1	1				
	構造物性工学セミナー2E	3前		2		1	1				
	磁性材料工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	磁性材料工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	計算数理工学セミナー2A	1前		2		1	1		0		
	計算数理工学セミナー2B	1後		2		1	1		0		
	計算数理工学セミナー2C	2前		2		1	1		0		
	計算数理工学セミナー2D	2後		2		1	1		0		
	計算数理工学セミナー2E	3前		2		1	1		0		
	計算物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	計算物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	結晶物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	ナノ構造解析学セミナー2A(未開講)	1前		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2B(未開講)	1後		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2C	2前		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2D	2後		2		1		1	1		0
	ナノ構造解析学セミナー2E	3前		2		1		1	1		0
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	40	5	45	0	0

総合工 学科目	実験指導体験実習1	1・2前後	1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前後	1		0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後	2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後	3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後	4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後	6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後	8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後	2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前後	2		8					0
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後	2		9					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後	3		9					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後	4		9					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後	6		9					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後	8		9					
小計(14科目)	-	0	52	0	53	0	0	0	0	15
(研究指導)	-	-	-	-	9	9				
合計(61科目)	-	0	148	0	116	40	5	45	0	15

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上

ただし、以下のイ～ロを満たすこと

- イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上
- ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

総合工 学科目	実験指導体験実習1	1・2前後	1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前後	1		0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後	2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後	3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後	4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後	6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後	8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後	2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前後	2		0					2
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後	2		9					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後	3		9					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後	4		9					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後	6		9					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後	8		9					
小計(14科目)	-	0	52	0	45	0	0	0	0	11
(研究指導)	-	-	-	-	9	8				
合計(61科目)	-	0	148	0	108	40	5	45	0	11

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上

ただし、以下のイ～ロを満たすこと

- イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上
- ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「結晶物性工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物性工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物性工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物性工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶物性工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ構造解析学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ構造解析学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ構造解析学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ構造解析学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ構造解析学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授8」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授10」から「准教授9」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「量子物性工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子物性工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子物性工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子物性工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子物性工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授9」から「准教授8」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「計算数理工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	61 科目	0 科目	61 科目	0 科目 [0]	61 科目 [0]	0 科目 [0]	61 科目 [0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。 (記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{61} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学研究科 応用物理学専攻		30 33 37 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 応用物理学 専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡	弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次— 2年次—	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)	—				
					博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセサート大学国際連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オーストラリア大学国際連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 応用物理学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	岸田 英夫	専	教授	岸田 英夫	専	教授	岸田 英夫	専	教授	岸田 英夫
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		博士(理学)			博士(理学)			博士(理学)			博士(理学)
		光物理学セミナー2A			光物理学セミナー2A			光物理学セミナー2A			光物理学セミナー2A
		光物理学セミナー2B			光物理学セミナー2B			光物理学セミナー2B			光物理学セミナー2B
		光物理学セミナー2C			光物理学セミナー2C			光物理学セミナー2C			光物理学セミナー2C
		光物理学セミナー2D			光物理学セミナー2D			光物理学セミナー2D			光物理学セミナー2D
		光物理学セミナー2E			光物理学セミナー2E			光物理学セミナー2E			光物理学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4								
研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6								
研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8								
(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)								

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笹井 理生 <平成29年4月> 理学博士
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笹井 理生 <平成29年4月> 理学博士
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笹井 理生 <平成29年4月> 理学博士
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	笹井 理生 <平成29年4月> 理学博士
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹延 大志
		<平成29年4月>
		博士(材料科学)
		量子物性工学セミナー2A
		量子物性工学セミナー2B
		量子物性工学セミナー2C
		量子物性工学セミナー2D
		量子物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹延 大志
		<平成29年4月>
		博士(材料科学)
		量子物性工学セミナー2A
		量子物性工学セミナー2B
		量子物性工学セミナー2C
		量子物性工学セミナー2D
		量子物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹延 大志
		<平成29年4月>
		博士(材料科学)
		量子物性工学セミナー2A
		量子物性工学セミナー2B
		量子物性工学セミナー2C
		量子物性工学セミナー2D
		量子物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹延 大志
		<平成29年4月>
		博士(材料科学)
		量子物性工学セミナー2A
		量子物性工学セミナー2B
		量子物性工学セミナー2C
		量子物性工学セミナー2D
		量子物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A
		磁性材料工学セミナー2B
		磁性材料工学セミナー2C
		磁性材料工学セミナー2D
		磁性材料工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A
		磁性材料工学セミナー2B
		磁性材料工学セミナー2C
		磁性材料工学セミナー2D
		磁性材料工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A
		磁性材料工学セミナー2B
		磁性材料工学セミナー2C
		磁性材料工学セミナー2D
		磁性材料工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	竹中 康司
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A
		磁性材料工学セミナー2B
		磁性材料工学セミナー2C
		磁性材料工学セミナー2D
		磁性材料工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良 <平成29年4月> 工学博士
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良 <平成29年4月> 工学博士
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良 <平成29年4月> 工学博士
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	張 紹良 <平成29年4月> 工学博士
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫
		<平成29年4月>
		理学博士
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
		物性基礎工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫
		<平成29年4月>
		理学博士
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
		物性基礎工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫
		<平成29年4月>
		理学博士
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
		物性基礎工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田仲 由喜夫
		<平成29年4月>
		理学博士
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
		物性基礎工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>柏谷 聡</p> <p><平成30年4月></p> <p>博士(理学)</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2A</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2B</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2C</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2D</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2E</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U2</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U4</p> <p>研究室ローテーション2 U2</p> <p>研究室ローテーション2 U3</p> <p>研究室ローテーション2 U4</p> <p>研究室ローテーション2 U6</p> <p>研究室ローテーション2 U8</p> <p>(研究指導)</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>柏谷 聡</p> <p><平成30年4月></p> <p>博士(理学)</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2A</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2B</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2C</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2D</p> <p>ナノ構造解析学セミナー2E</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U2</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U4</p> <p>研究室ローテーション2 U2</p> <p>研究室ローテーション2 U3</p> <p>研究室ローテーション2 U4</p> <p>研究室ローテーション2 U6</p> <p>研究室ローテーション2 U8</p> <p>(研究指導)</p>

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博
		<平成29年4月>
		博士(理学)
		構造物性工学セミナー2A
		構造物性工学セミナー2B
		構造物性工学セミナー2C
		構造物性工学セミナー2D
		構造物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博
		<平成29年4月>
		博士(理学)
		構造物性工学セミナー2A
		構造物性工学セミナー2B
		構造物性工学セミナー2C
		構造物性工学セミナー2D
		構造物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博
		<平成29年4月>
		博士(理学)
		構造物性工学セミナー2A
		構造物性工学セミナー2B
		構造物性工学セミナー2C
		構造物性工学セミナー2D
		構造物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	澤 博
		<平成29年4月>
		博士(理学)
		構造物性工学セミナー2A
		構造物性工学セミナー2B
		構造物性工学セミナー2C
		構造物性工学セミナー2D
		構造物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 弥八 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	伊東 裕 <平成29年4月> 理学修士
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 弥八 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	伊東 裕 <平成29年4月> 理学修士
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	
専	准教授	伊東 裕 <平成29年4月> 理学修士
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	
専	准教授	伊東 裕 <平成29年4月> 理学修士
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古 <平成29年4月> 博士(科学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺田 智樹 <平成29年4月> 博士(理学)
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小山 剛史 <平成29年4月> 博士(理学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古 <平成29年4月> 博士(科学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺田 智樹 <平成29年4月> 博士(理学)
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小山 剛史 <平成29年4月> 博士(理学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古 <平成29年4月> 博士(科学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺田 智樹 <平成29年4月> 博士(理学)
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小山 剛史 <平成29年4月> 博士(理学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡本 佳比古 <平成29年4月> 博士(科学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺田 智樹 <平成29年4月> 博士(理学)
		計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小山 剛史 <平成29年4月> 博士(理学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石原 卓 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	川口 由紀 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	曾我部 知広 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	石原 卓 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	川口 由紀 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	曾我部 知広 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	曾我部 知広 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	川口 由紀 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	曾我部 知広 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	片山 尚幸 <平成29年4月> 博士(科学)
		計算数理工学セミナー2A 構造物性工学セミナー2B 構造物性工学セミナー2C 構造物性工学セミナー2D 構造物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	栞原 真人 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E (研究指導)
		安坂 幸師 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	片山 尚幸 <平成29年4月> 博士(科学)
		構造物性工学セミナー2A 構造物性工学セミナー2B 構造物性工学セミナー2C 構造物性工学セミナー2D 構造物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	栞原 真人 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	安坂 幸師 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	片山 尚幸 <平成29年4月> 博士(科学)
		構造物性工学セミナー2A 構造物性工学セミナー2B 構造物性工学セミナー2C 構造物性工学セミナー2D 構造物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	栞原 真人 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	安坂 幸師 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	片山 尚幸 <平成29年4月> 博士(科学)
		構造物性工学セミナー2A 構造物性工学セミナー2B 構造物性工学セミナー2C 構造物性工学セミナー2D 構造物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	栞原 真人 <平成29年4月> 博士(理学)
		結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	安坂 幸師 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範 <平成29年4月> 博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E
専	助教	蒲江 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2B
専	助教	宮武 勇登 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範 <平成29年4月> 博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E
専	助教	蒲江 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2B
専	助教	宮武 勇登 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範 <平成29年4月> 博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E
専	助教	蒲江 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	宮武 勇登 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横山 泰範 <平成29年4月> 博士(工学)
		磁性材料工学セミナー2A 磁性材料工学セミナー2B 磁性材料工学セミナー2C 磁性材料工学セミナー2D 磁性材料工学セミナー2E
専	助教	蒲江 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	宮武 勇登 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	千見寺 浄慈 <平成29年4月> 博士(理学) 計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E
専	助教	中原 仁 <平成29年4月> 博士(工学) ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶物性工学セミナー2A
専	助教	千見寺 浄慈 <平成29年4月> 博士(理学) 計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E
専	助教	中原 仁 <平成29年4月> 博士(工学) ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E
専	助教	千見寺 浄慈 <平成29年4月> 博士(理学) 計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E
専	助教	中原 仁 <平成29年4月> 博士(工学) ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	石田 高史 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶物性工学セミナー2A 結晶物性工学セミナー2B 結晶物性工学セミナー2C 結晶物性工学セミナー2D 結晶物性工学セミナー2E
専	助教	千見寺 浄慈 <平成29年4月> 博士(理学) 計算物性工学セミナー2A 計算物性工学セミナー2B 計算物性工学セミナー2C 計算物性工学セミナー2D 計算物性工学セミナー2E
専	助教	中原 仁 <平成29年4月> 博士(工学) ナノ構造解析学セミナー2A ナノ構造解析学セミナー2B ナノ構造解析学セミナー2C ナノ構造解析学セミナー2D ナノ構造解析学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 優斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E
専	助教	田中 久暁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	矢田 圭司 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 優斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E
専	助教	田中 久暁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	矢田 圭司 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 優斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E
専	助教	田中 久暁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	矢田 圭司 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中村 優斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		光物理学セミナー2A 光物理学セミナー2B 光物理学セミナー2C 光物理学セミナー2D 光物理学セミナー2E
専	助教	田中 久暁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子物性工学セミナー2A 量子物性工学セミナー2B 量子物性工学セミナー2C 量子物性工学セミナー2D 量子物性工学セミナー2E
専	助教	矢田 圭司 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A 物性基礎工学セミナー2B 物性基礎工学セミナー2C 物性基礎工学セミナー2D 物性基礎工学セミナー2E
専	助教	劍持 智哉 <平成31年4月> 博士(数理学)
		計算数理工学セミナー2A 計算数理工学セミナー2B 計算数理工学セミナー2C 計算数理工学セミナー2D 計算数理工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	小林 伸吾 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	小林 伸吾 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
兼担	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	小林 伸吾 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D
兼担	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	小林 伸吾 <平成29年4月> 博士(理学)
		物性基礎工学セミナー2A
		物性基礎工学セミナー2B
		物性基礎工学セミナー2C
		物性基礎工学セミナー2D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U7 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II	兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク	兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
			兼任	教授	柳浦 陸憲 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II						
			兼任	教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2	兼任	教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2	兼任	教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
安坂幸師、石田高史、上垣外正己、河口信夫、関 浩之、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、武田一哉、柳浦睦憲、永野修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
岸田英夫、笹井理生、竹延大志、竹中康司、張 紹良、田仲由喜夫、澤 博、蒲 江、石田高史、田中久暁、藤井俊彰、河口信夫、関 浩之、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、武田一哉、柳浦睦憲、
・以下辞任
齋藤弥八、石原 卓、宮武勇登、
・以下就任
柏谷 聡
・以下職名の変更
蒲 江

【令和元年度】

・以下辞任
河口 信夫、上垣外 正己
・以下就任
剣持 智哉、生田 博志

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	10	0	11	30	9	8	1	10	28
(9)	(9)	(1)	(10)	(29)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
30	0	0			28	0	0		
(29)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
9	10	0	11	30	9	10	0	11	30
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
30	0	0			30	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{30}{30} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	石原 卓	H29.7	—	(研究指導)		H29.7.31付け退職のため辞任 (30)
2	助教	宮武勇登	H30.3	選択	計算数理工学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)
				選択	計算数理工学セミナー2B	①	
				選択	計算数理工学セミナー2C	①	
				選択	計算数理工学セミナー2D	①	
				選択	計算数理工学セミナー2E	①	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）				後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-(3)合計(D)+(F)}{(2)-(2)設置時の計画(A)} = \frac{2}{30} = \boxed{6.66} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
1	教授	齋藤弥八	選択	ナノ構造解析学セミナー2A	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)	
			選択	ナノ構造解析学セミナー2B	①		
			選択	ナノ構造解析学セミナー2C	①		
			選択	ナノ構造解析学セミナー2D	①		
			選択	ナノ構造解析学セミナー2E	①		
			選択	国際協働プロジェクトセミナーII U2	①		
			選択	国際協働プロジェクトセミナーII U4	①		
			選択	産学官プロジェクトワーク	①		
			選択	研究室ローテーション2 U2	①		
			選択	研究室ローテーション2 U3	①		
			選択	研究室ローテーション2 U4	①		
			選択	研究室ローテーション2 U8	①		
			選択	研究室ローテーション2 U8	①		
			-	(研究指導)			
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)	①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	13 科目	選択	13 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 応用物理学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 物質科学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	9人	— 年次 人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	0 (-) [-]	9 (-) [-]	3 (-) [-]	2 (-) [-]	2 (-) [-]	0.33倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	3 (-) [1]	2 (-) [1]	2 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	3 (-) [1]	2 (-) [1]	2 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	3 (-) [1]	2 (-) [1]	2 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	3 (-) [2]	0 (-) [0]	2 (-) [0]	2 (-) [1]	2 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.33		0.44		0.22				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [2] (-)	0 [0] (-)	2 [0] (-)	2 [1] (-)	2 [0] (-)	2 [1] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		3 [2] (-)	0 [0] (-)	2 [0] (-)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		3 [2] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [2] (-)	7 [3] (-)	9 [3] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	3人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	7人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	9人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 物質科学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	高圧力物質科学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	結晶デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		2		1	
	結晶デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		2		1	
	結晶デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		2		1	
	結晶デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		2		1	
	結晶デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		2		1	
	電子物性工学セミナー2A	1前		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2B	1後		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		2			
	フロンティア計算物理セミナー2A	1前		2		1	2		2			
	フロンティア計算物理セミナー2B	1後		2		1	2		2			
	フロンティア計算物理セミナー2C	2前		2		1	2		2			
	フロンティア計算物理セミナー2D	2後		2		1	2		2			
	フロンティア計算物理セミナー2E	3前		2		1	2		2			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	量子ビーム物性工学セミナー2A	1前		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2B	1後		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2C	2前		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2D	2後		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2E	3前		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2A	1前		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2B	1後		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2C	2前		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2D	2後		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2E	3前		2		1			1			
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			11					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			11					
小計(47科目)		-	0	96	0	67	40	0	60	0	5	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	高圧力物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1			
	高圧力物質科学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1			
	スピン物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	材料設計工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1			
	結晶デバイスセミナー2A	1前		2		1	0		1	1		1
	結晶デバイスセミナー2B	1後		2		1	0		1	1		1
	結晶デバイスセミナー2C(未開講)	2前		2		1	0		1	1		1
	結晶デバイスセミナー2D(未開講)	2後		2		1	0		1	1		1
	結晶デバイスセミナー2E	3前		2		1	0		1	1		1
	電子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		2			
	電子物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		2			
	フロンティア計算物理セミナー2A	1前		2		1	1		1		0	
	フロンティア計算物理セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		0	
	フロンティア計算物理セミナー2C	2前		2		1	1		1		0	
	フロンティア計算物理セミナー2D	2後		2		1	1		1		0	
	フロンティア計算物理セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1		0	
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	0		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	0		1			
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	0		1			
	量子ビーム物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1			1			
	量子ビーム物性工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1			1			
	レオロジー物理学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	レオロジー物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1			
	レオロジー物理学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1			
	レオロジー物理学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	レオロジー物理学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		1			
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9					
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9					
小計(47科目)		-	0	96	0	63	30	5	50	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後		2		1						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後		3		1						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後		4		1						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後		6		1						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後		8		1						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前後		2		8						
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後		2		11						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後		3		11						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後		4		11						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後		6		11						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後		8		11						
小計(14科目)		-	0	52	0	77	1	0	0	0	0	
(研究指導)		-				11	9					
合計(61科目)		-	0	148	0	144	41	0	60	0	5	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前後		1		1						0
	実験指導体験実習2	1・2前後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後		2		1						0
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後		3		1						0
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後		4		1						0
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後		6		1						0
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後		8		1						0
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前後		2		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後		2		9						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後		3		9						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後		4		9						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後		6		9						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後		8		9						
小計(14科目)		-	0	52	0	51	0	0	0	0	0	3
(研究指導)		-				9	6	1				
合計(61科目)		-	0	148	0	114	30	5	50	0	8	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	高圧力物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2C	2前		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2D	2後		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2E	3前		2		1	2		0		
	スピン物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	結晶デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	1	2	0	
	結晶デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	1	2	0	
	結晶デバイスセミナー2C	2前		2		1	0	1	2	0	
	結晶デバイスセミナー2D	2後		2		1	0	1	2	0	
	結晶デバイスセミナー2E	3前		2		1	0	1	2	0	
	電子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2C	2前		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2D	2後		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	フロンティア計算物理セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1	2	
	フロンティア計算物理セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1	2	
	フロンティア計算物理セミナー2C	2前		2		1	1		1	2	
	フロンティア計算物理セミナー2D	2後		2		1	1		1	2	
	フロンティア計算物理セミナー2E	3前		2		1	1		1	2	
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2C	2前		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2D	2後		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2E	3前		2		1	0		1		
	量子ビーム物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2C	2前		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2D	2後		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2E	3前		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2C	2前		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2D	2後		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2E	3前		2		1			1		
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	30	5	50	0	10

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	高圧力物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	2		0		
	高圧力物質科学セミナー2E	3前		2		1	2		0		
	スピン物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	スピン物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	材料設計工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	結晶デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	1	1	0	
	結晶デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	1	1	0	
	結晶デバイスセミナー2C	2前		2		1	0	1	1	0	
	結晶デバイスセミナー2D	2後		2		1	0	1	1	0	
	結晶デバイスセミナー2E	3前		2		1	0	1	1	0	
	電子物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		2		
	電子物性工学セミナー2E	3前		2		1	1		2		
	フロンティア計算物理セミナー2A	1前		2		1	1		1	1	
	フロンティア計算物理セミナー2B	1後		2		1	1		1	1	
	フロンティア計算物理セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1	1	
	フロンティア計算物理セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1	1	
	フロンティア計算物理セミナー2E	3前		2		1	1		1	1	
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	0		1		
	ナノ顕微分光物質科学セミナー2E	3前		2		1	0		1		
	量子ビーム物性工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1			1		
	量子ビーム物性工学セミナー2E	3前		2		1			1		
	レオロジー物理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	レオロジー物理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	レオロジー物理学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	レオロジー物理学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	レオロジー物理学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前後		2			9				
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前後		4			9				
小計(47科目)		-	0	96	0	63	35	5	45	0	5

総合工 学科目	実験指導体験実習1	1・2前後	1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前後	1		0	0				1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後	2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後	3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後	4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後	6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後	8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後	2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前後	2		8					
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後	2		9					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後	3		9					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後	4		9					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後	6		9					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後	8		9					
小計(14科目)	-	0	52	0	53	0	0	0	0	15
(研究指導)	-	-	-	-	9	6				
合計(61科目)	-	0	148	0	116	30	5	50	0	25
卒業要件及び履修方法										
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>										

総合工 学科目	実験指導体験実習1	1・2前後	1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前後	1		0	0				1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前後	2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前後	3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前後	4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前後	6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前後	8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後	2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前後	2		0					2
	研究室ローテーション2 U2	1・2前後	2		9					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前後	3		9					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前後	4		9					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前後	6		9					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前後	8		9					
小計(14科目)	-	0	52	0	45	0	0	0	0	11
(研究指導)	-	-	-	-	9	7	1			
合計(61科目)	-	0	148	0	108	35	5	45	0	16
卒業要件及び履修方法										
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ～ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 総合工学科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2A」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2B」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2C」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2D」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2E」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「レオロジー物理工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「レオロジー物理工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「レオロジー物理工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「レオロジー物理工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「レオロジー物理工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に、「講師0」から「講師1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「高圧力物質科学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高圧力物質科学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高圧力物質科学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高圧力物質科学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高圧力物質科学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2A」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2B」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2C」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2D」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「結晶デバイスセミナー 2E」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2A」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2B」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2C」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2D」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フロンティア計算物理セミナー 2E」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実習指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授7」から「准教授6」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	61 科目	0 科目	61 科目	0 科目	61 科目	0 科目	61 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{61} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学研究科 物質科学専攻		37 36 33 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 物質科学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	569 (596)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数					
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席	3,140,500 冊	大学全体				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
	経費の見積り	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—		平成12年度		
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.38		昭和28年度 平成16年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42				
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理 学）	1.01		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.51				
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学） 修士（学術）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学） 修士（学術）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 物質科学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	松永 克志	専	教授	松永 克志	専	教授	松永 克志	専	教授	松永 克志
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A			材料設計工学セミナー2A			材料設計工学セミナー2A			材料設計工学セミナー2A
		材料設計工学セミナー2B			材料設計工学セミナー2B			材料設計工学セミナー2B			材料設計工学セミナー2B
		材料設計工学セミナー2C			材料設計工学セミナー2C			材料設計工学セミナー2C			材料設計工学セミナー2C
		材料設計工学セミナー2D			材料設計工学セミナー2D			材料設計工学セミナー2D			材料設計工学セミナー2D
		材料設計工学セミナー2E			材料設計工学セミナー2E			材料設計工学セミナー2E			材料設計工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4			国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク			産学官プロジェクトワーク
		研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4	研究室ローテーション2 U4								
研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6								
研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8								
(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)								

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生田 博志 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生田 博志 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生田 博志 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生田 博志 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		スピン物性工学セミナー2A
		スピン物性工学セミナー2B
		スピン物性工学セミナー2C
		スピン物性工学セミナー2D
		スピン物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		スピン物性工学セミナー2A
		スピン物性工学セミナー2B
		スピン物性工学セミナー2C
		スピン物性工学セミナー2D
		スピン物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		スピン物性工学セミナー2A
		スピン物性工学セミナー2B
		スピン物性工学セミナー2C
		スピン物性工学セミナー2D
		スピン物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	浅野 秀文
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		スピン物性工学セミナー2A
		スピン物性工学セミナー2B
		スピン物性工学セミナー2C
		スピン物性工学セミナー2D
		スピン物性工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	曾田 一雄 <平成29年4月> 工学博士
		量子ビーム物性工学 セミナー2A 量子ビーム物性工学 セミナー2B 量子ビーム物性工学 セミナー2C 量子ビーム物性工学 セミナー2D 量子ビーム物性工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	曾田 一雄 <平成29年4月> 工学博士
		量子ビーム物性工学 セミナー2A 量子ビーム物性工学 セミナー2B 量子ビーム物性工学 セミナー2C 量子ビーム物性工学 セミナー2D 量子ビーム物性工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	曾田 一雄 <平成29年4月> 工学博士
		量子ビーム物性工学 セミナー2A 量子ビーム物性工学 セミナー2B 量子ビーム物性工学 セミナー2C 量子ビーム物性工学 セミナー2D 量子ビーム物性工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	曾田 一雄 <平成29年4月> 工学博士
		量子ビーム物性工学 セミナー2A 量子ビーム物性工学 セミナー2B 量子ビーム物性工学 セミナー2C 量子ビーム物性工学 セミナー2D 量子ビーム物性工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学 セミナー2A レオロジー物理学 セミナー2B レオロジー物理学 セミナー2C レオロジー物理学 セミナー2D レオロジー物理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学 セミナー2A レオロジー物理学 セミナー2B レオロジー物理学 セミナー2C レオロジー物理学 セミナー2D レオロジー物理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学 セミナー2A レオロジー物理学 セミナー2B レオロジー物理学 セミナー2C レオロジー物理学 セミナー2D レオロジー物理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	増淵 雄一 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学 セミナー2A レオロジー物理学 セミナー2B レオロジー物理学 セミナー2C レオロジー物理学 セミナー2D レオロジー物理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーション 2 U2 研究室ローテーション 2 U3 研究室ローテーション 2 U4 研究室ローテーション 2 U6 研究室ローテーション 2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中塚 理 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中塚 理 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中塚 理 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中塚 理 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 正
		<平成29年4月>
		工学博士
		高圧力物質科学セミナー2A
		高圧力物質科学セミナー2B
		高圧力物質科学セミナー2C
		高圧力物質科学セミナー2D
		高圧力物質科学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 正
		<平成29年4月>
		工学博士
		高圧力物質科学セミナー2A
		高圧力物質科学セミナー2B
		高圧力物質科学セミナー2C
		高圧力物質科学セミナー2D
		高圧力物質科学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 正
		<平成29年4月>
		工学博士
		高圧力物質科学セミナー2A
		高圧力物質科学セミナー2B
		高圧力物質科学セミナー2C
		高圧力物質科学セミナー2D
		高圧力物質科学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 正
		<平成29年4月>
		工学博士
		高圧力物質科学セミナー2A
		高圧力物質科学セミナー2B
		高圧力物質科学セミナー2C
		高圧力物質科学セミナー2D
		高圧力物質科学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	白石 賢二 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武藤 俊介 <平成29年4月> 工学博士 ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		植田 研二 <平成29年4月> 博士(理学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武藤 俊介 <平成29年4月> 工学博士 ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		植田 研二 <平成29年4月> 博士(理学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武藤 俊介 <平成29年4月> 工学博士 ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		植田 研二 <平成29年4月> 博士(理学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	武藤 俊介 <平成29年4月> 工学博士 ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		植田 研二 <平成29年4月> 博士(理学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健 <平成29年4月> 博士(理学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中村 篤智 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丹羽 健 <平成29年4月> 博士(理学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中村 篤智 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	畝山 多加志 <平成30年4月> 博士(理学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	丹羽 健 <平成29年4月> 博士(理学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中村 篤智 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	畝山 多加志 <平成30年4月> 博士(理学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	丹羽 健 <平成29年4月> 博士(理学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中村 篤智 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	芳松 克則 <平成29年4月> 博士(情報学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E (研究指導)
専	准教授	Khujamberdiev Mirabbos <平成29年4月> Ph.D(工学)(ウズベキスタン)
		(研究指導) 高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	芳松 克則 <平成29年4月> 博士(情報学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E (研究指導)
専	准教授	Khujamberdiev Mirabbos <平成29年4月> Ph.D(工学)(ウズベキスタン)
		(研究指導) 高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	芳松 克則 <平成29年4月> 博士(情報学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E (研究指導)
専	准教授	Khujamberdiev Mirabbos <平成29年4月> Ph.D(工学)(ウズベキスタン)
		(研究指導) 高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	飯田 和昌 <平成29年4月> 博士(工学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	芳松 克則 <平成29年4月> 博士(情報学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E (研究指導)
専	准教授	Khujamberdiev Mirabbos <平成29年4月> Ph.D(工学)(ウズベキスタン)
		(研究指導) 高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	羽尻 哲也 <平成29年4月> 博士(工学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E
専	助教	浦田 隆広 <平成29年4月> 博士(理学) 電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	黒澤 昌志 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	羽尻 哲也 <平成29年4月> 博士(工学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E
専	助教	浦田 隆広 <平成29年4月> 博士(理学) 電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	黒澤 昌志 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E (研究指導)
専	助教	羽尻 哲也 <平成29年4月> 博士(工学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E
専	助教	浦田 隆広 <平成29年4月> 博士(理学) 電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	黒澤 昌志 <平成29年4月> 博士(工学) 結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E (研究指導)
専	助教	羽尻 哲也 <平成29年4月> 博士(工学) スピン物性工学セミナー2A スピン物性工学セミナー2B スピン物性工学セミナー2C スピン物性工学セミナー2D スピン物性工学セミナー2E
専	助教	浦田 隆広 <平成29年4月> 博士(理学) 電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横井 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E
専	助教	加藤 政彦 <平成29年4月> 理学博士
		量子ビーム物性工学セミナー2A 量子ビーム物性工学セミナー2B 量子ビーム物性工学セミナー2C 量子ビーム物性工学セミナー2D 量子ビーム物性工学セミナー2E
		佐々木 拓也 <平成29年10月> 博士(工学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横井 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E
専	助教	加藤 政彦 <平成29年4月> 理学博士
		量子ビーム物性工学セミナー2A 量子ビーム物性工学セミナー2B 量子ビーム物性工学セミナー2C 量子ビーム物性工学セミナー2D 量子ビーム物性工学セミナー2E
専	助教	佐々木 拓也 <平成29年10月> 博士(工学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横井 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E
専	助教	加藤 政彦 <平成29年4月> 理学博士
		量子ビーム物性工学セミナー2A 量子ビーム物性工学セミナー2B 量子ビーム物性工学セミナー2C 量子ビーム物性工学セミナー2D 量子ビーム物性工学セミナー2E
専	助教	佐々木 拓也 <平成29年10月> 博士(工学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	横井 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料設計工学セミナー2A 材料設計工学セミナー2B 材料設計工学セミナー2C 材料設計工学セミナー2D 材料設計工学セミナー2E
専	助教	加藤 政彦 <平成29年4月> 理学博士
		量子ビーム物性工学セミナー2A 量子ビーム物性工学セミナー2B 量子ビーム物性工学セミナー2C 量子ビーム物性工学セミナー2D 量子ビーム物性工学セミナー2E
専	助教	佐々木 拓也 <平成29年10月> 博士(工学)
		高圧力物質科学セミナー2A 高圧力物質科学セミナー2B 高圧力物質科学セミナー2C 高圧力物質科学セミナー2D 高圧力物質科学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男 <平成29年4月> 理工学学士
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	山本 哲也 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E
専	助教	洗平 昌晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男 <平成29年4月> 理工学学士
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	山本 哲也 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E
専	助教	洗平 昌晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男 <平成29年4月> 理工学学士
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	山本 哲也 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E
専	助教	洗平 昌晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	坂下 満男 <平成29年4月> 理工学学士
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	山本 哲也 <平成29年4月> 博士(工学)
		レオロジー物理学セミナー2A レオロジー物理学セミナー2B レオロジー物理学セミナー2C レオロジー物理学セミナー2D レオロジー物理学セミナー2E
専	助教	洗平 昌晃 <平成29年4月> 博士(理学)
		フロンティア計算物理セミナー2A フロンティア計算物理セミナー2B フロンティア計算物理セミナー2C フロンティア計算物理セミナー2D フロンティア計算物理セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大塚 真弘 <平成29年4月> 博士(理学)
		ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E
専	助教	竹内 和歌奈 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	畑野 敬史 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大塚 真弘 <平成29年4月> 博士(理学)
		ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E
専	助教	竹内 和歌奈 <平成29年4月> 博士(工学)
		結晶デバイスセミナー2A 結晶デバイスセミナー2B 結晶デバイスセミナー2C 結晶デバイスセミナー2D 結晶デバイスセミナー2E
専	助教	畑野 敬史 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大塚 真弘 <平成29年4月> 博士(理学)
		ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E
専	助教	畑野 敬史 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大塚 真弘 <平成29年4月> 博士(理学)
		ナノ顕微分光物質科学セミナー2A ナノ顕微分光物質科学セミナー2B ナノ顕微分光物質科学セミナー2C ナノ顕微分光物質科学セミナー2D ナノ顕微分光物質科学セミナー2E
専	助教	畑野 敬史 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子物性工学セミナー2A 電子物性工学セミナー2B 電子物性工学セミナー2C 電子物性工学セミナー2D 電子物性工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク
兼担	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)(博工 第5425号) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		石原 卓
		<平成29年4月>
		博士(工学)
	兼担 准教授	フロンティア計算物 理セミナー2A
		フロンティア計算物 理セミナー2B
		フロンティア計算物 理セミナー2C
		フロンティア計算物 理セミナー2D
		フロンティア計算物 理セミナー2E
		岡本 直也
		<平成29年4月>
		博士(工学)
	兼担 助教	フロンティア計算物 理セミナー2A
		フロンティア計算物 理セミナー2B
		フロンティア計算物 理セミナー2C
		フロンティア計算物 理セミナー2D
		フロンティア計算物 理セミナー2E

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		岡本 直也
		<平成29年4月>
		博士(工学)
	兼担 助教	フロンティア計算物 理セミナー2A
		フロンティア計算物 理セミナー2B
		フロンティア計算物 理セミナー2C
		フロンティア計算物 理セミナー2D
		フロンティア計算物 理セミナー2E

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
黒澤 昌志, Khujamberdiev Mirabbos, 河口 信夫, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 井手 一郎, 稲垣 伸吉, 永野 修作, 岡本 直也
・以下就任
佐々木 拓也

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
松永 克志, 生田 博志, 浅野 秀文, 増淵 雄一, 中塚 理, 長谷川 正, 武藤 俊介, 畝山 多加志, 佐々木 拓也, 河口 信夫, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 井手 一郎, 稲垣 伸吉, 石原 卓, 竹内 和歌奈
・以下辞任
竹内 和歌奈
・以下就任
畝山 多加志

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
生田 博志
・以下辞任
Khujamberdiev Mirabbos, 河口 信夫, 上垣外 正己, 岡本 直也

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
11	9	0	14	34	9	6	1	10	26
(9)	(6)	(1)	(10)	(26)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	0	0			26	0	0		
(26)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
11	9	0	14	34	11	9	0	14	34
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
34	0	0			34	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{34} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
		該当なし											
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)							
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	助教	竹内 和歌奈	H30.3	選択	結晶デバイスセミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)						
				選択	結晶デバイスセミナー2B	①							
				選択	結晶デバイスセミナー2C	①							
				選択	結晶デバイスセミナー2D	①							
				選択	結晶デバイスセミナー2E	①							
2	准教授	Khujamberdiev Mirabos	H31.2	選択	高圧力物質科学セミナー2A	①	H31.2.4付け退職のため辞任 (元)						
				選択	高圧力物質科学セミナー2B	①							
				選択	高圧力物質科学セミナー2C	①							
				選択	高圧力物質科学セミナー2D	①							
				選択	高圧力物質科学セミナー2E	①							
				-	(研究指導)								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)						後任補充状況の集計 (E) + (G)							
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D) + (F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{2}{34} = \boxed{5.88} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人		必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 物質科学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 材料デザイン工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	0.16倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	0 (-) [0]	0 (-) [0]	4 (-) [1]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.00		0.50		0.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	0 [0] (-)	0 [0] (-)	4 [1] (0)	0 [0] (-)	0 [0] (-)	0 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		0 [0] (-)	0 [0] (-)	4 [1] (0)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		0 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	0 [0] (-)	4 [1] (-)	4 [1] (0)	4 [1] (0)			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	0人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	4人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	4人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 材料デザイン工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	計算材料設計セミナー2A	1前		2		3			2		1
	計算材料設計セミナー2B	1後		2		3			2		1
	計算材料設計セミナー2C	2前		2		3			2		1
	計算材料設計セミナー2D	2後		2		3			2		1
	計算材料設計セミナー2E	3前		2		3			2		1
	先端計測分析セミナー2A	1前		2		2	2		1		
	先端計測分析セミナー2B	1後		2		2	2		1		
	先端計測分析セミナー2C	2前		2		2	2		1		
	先端計測分析セミナー2D	2後		2		2	2		1		
	先端計測分析セミナー2E	3前		2		2	2		1		
	ナノ構造設計セミナー2A	1前		2		3	1		2		1
	ナノ構造設計セミナー2B	1後		2		3	1		2		1
	ナノ構造設計セミナー2C	2前		2		3	1		2		1
	ナノ構造設計セミナー2D	2後		2		3	1		2		1
	ナノ構造設計セミナー2E	3前		2		3	1		2		1
小計(15科目)		-	0	30	0	40	15	0	25	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1				
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		8					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		8					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		8					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		8					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		8					
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		8					
	産学官プロジェクトワーク	1・2前・後		2		8					
小計(9科目)		-	0	29	0	57	1	0	0	0	0
(研究指導)		-				8	8				
合計(24科目)		-	0	59	0	97	16	0	25	0	10

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	計算材料設計セミナー2A(未開講)	1前		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2B(未開講)	1後		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2C	2前		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2D	2後		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2E(未開講)	3前		2		2	1	0	1		0
	先端計測分析セミナー2A(未開講)	1前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2B(未開講)	1後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2C	2前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2D	2後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2E(未開講)	3前		2		2	1		1		
	ナノ構造設計セミナー2A(未開講)	1前		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2B(未開講)	1後		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2C	2前		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2D	2後		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2E(未開講)	3前		2		3	1	1	1		0
国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		7						
国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		7						
小計(17科目)		-	0	36	0	49	15	5	15	0	0
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1・2前・後		2		0					1
小計(9科目)		-	0	29	0	0	0	0	0	9	
(研究指導)		-				7	3				
合計(26科目)		-	0	65	0	49	15	5	15	0	9

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	計算材料設計セミナー2A(未開講)	1前		2		3	1	1	1		0
	計算材料設計セミナー2B(未開講)	1後		2		3	1	1	1		0
	計算材料設計セミナー2C	2前		2		3	1	1	1		0
	計算材料設計セミナー2D	2後		2		3	1	1	1		0
	計算材料設計セミナー2E	3前		2		3	1	1	1		0
	先端計測分析セミナー2A(未開講)	1前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2B(未開講)	1後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2C	2前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2D	2後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2E	3前		2		2	1		1		
	ナノ構造設計セミナー2A(未開講)	1前		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2B(未開講)	1後		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2C	2前		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2D	2後		2		3	1	1	1		0
	ナノ構造設計セミナー2E	3前		2		3	1	1	1		0
小計(15科目)	-	0	30	0	40	15	10	15	0	0	
総合工学科目	実験指導体験実習1(未開講)	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2(未開講)	1・2前・後		1		0	0				1
	研究インターンシップ2 U2(未開講)	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3(未開講)	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4(未開講)	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6(未開講)	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8(未開講)	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論II(未開講)	1後		2		0					8
	産学官プロジェクトワーク(未開講)	1・2前・後		2		8					
小計(9科目)	-	0	29	0	8	0	0	0	0	15	
(研究指導)	-	-	-	-	8	3					
合計(24科目)	-	0	59	0	48	15	10	15	0	15	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	計算材料設計セミナー2A	1前		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2B	1後		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2C(未開講)	2前		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2D(未開講)	2後		2		2	1	0	1		0
	計算材料設計セミナー2E	3前		2		2	1	0	1		0
	先端計測分析セミナー2A	1前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2B	1後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2C(未開講)	2前		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2D(未開講)	2後		2		2	1		1		
	先端計測分析セミナー2E	3前		2		2	1		1		
	ナノ構造設計セミナー2A	1前		2		3	1	1	2		0
	ナノ構造設計セミナー2B	1後		2		3	1	1	2		0
	ナノ構造設計セミナー2C(未開講)	2前		2		3	1	1	2		0
	ナノ構造設計セミナー2D(未開講)	2後		2		3	1	1	2		0
	ナノ構造設計セミナー2E	3前		2		3	1	1	2		0
	国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		7					
	国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		7					
小計(17科目)	-	0	36	0	49	15	5	20	0	0	
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1		0	0				1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1・2前・後		2		0					2
小計(9科目)	-	0	29	0	0	0	0	0	0	11	
(研究指導)	-	-	-	-	7	3					
合計(26科目)	-	0	65	0	49	15	5	20	0	11	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ構造設計セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ構造設計セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ構造設計セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ構造設計セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「ナノ構造設計セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・ 担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	24 科目	0 科目	24 科目	0 科目	26 科目	0 科目	26 科目	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{24} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡				
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎	専 用	590,883 -578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 -578,743 ㎡	大学全体			
	(590,883 578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)	大学全体		
	演習室								
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	工学研究科 材料デザイン工学専攻			30 -5- 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学研究科 材料デザイン 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0		
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0		
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第 2 号（その 1 の 1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目は AC 対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年 5 月 1 日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学） 修士（歴史学）	—		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（文学） 博士（歴史学）	—				
人文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73		昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度		
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	0.86				
法学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.38		昭和28年度 平成16年度		
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42				
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理 学）	1.01		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.51				
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学） 修士（学術）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学） 修士（学術）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.48				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.84		平成13年度		
					修士(社会学)	0.48				
					修士(地理学)					
					修士(法学)					
					修士(経済学)					
					博士(環境学)					
					博士(社会学)					
					博士(地理学)					
					博士(法学)					
					博士(経済学)					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 材料デザイン工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	山本 剛久 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山本 剛久 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山本 剛久 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	山本 剛久 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)			先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)
専	教授	小山 敏幸 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	小山 敏幸 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	小山 敏幸 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	小山 敏幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)			計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	足立 吉隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	足立 吉隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	足立 吉隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小澤 正邦 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	足立 吉隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村田 純教 <平成29年4月> 工学博士
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	田邊 靖博 <平成29年4月> 工学博士
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	村田 純教 <平成29年4月> 工学博士
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	田邊 靖博 <平成29年4月> 工学博士
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博 <平成29年4月> 工学博士
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	田邊 靖博 <平成29年4月> 工学博士
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	高嶋 圭史 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	高嶋 圭史 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	高嶋 圭史 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入山 恭寿 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	高嶋 圭史 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E (研究指導)
専	准教授	塚田 祐貴 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導) 計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E (研究指導)
専	准教授	塚田 祐貴 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導) 計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E (研究指導)
専	准教授	塚田 祐貴 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導) 計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 孝寛 <平成29年4月> 博士(理学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 徹也 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E (研究指導)
専	准教授	塚田 祐貴 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導) 計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	持箸 晃 <平成29年4月> 博士(理学) 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2D

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	棚橋 満 <平成29年4月> 博士(工学) 計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E
専	講師	本山 宗主 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学) ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E
専	助教	持箸 晃 <平成29年4月> 博士(理学) 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2D

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	本山 宗主 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学) ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E
専	助教	山本 貴之 <平成30年4月> 博士(理学) ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	本山 宗主 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学) ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E
専	助教	徳永 智春 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2E
専	助教	入澤 寿平 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E
専	助教	徳永 智春 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2E
専	助教	入澤 寿平 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E
専	助教	徳永 智春 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E
専	助教	入澤 寿平 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	湯川 宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算材料設計セミナー2A 計算材料設計セミナー2B 計算材料設計セミナー2C 計算材料設計セミナー2D 計算材料設計セミナー2E
専	助教	徳永 智春 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端計測分析セミナー2A 先端計測分析セミナー2B 先端計測分析セミナー2C 先端計測分析セミナー2D 先端計測分析セミナー2E
専	助教	入澤 寿平 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ構造設計セミナー2A ナノ構造設計セミナー2B ナノ構造設計セミナー2C ナノ構造設計セミナー2D ナノ構造設計セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	<p>藤井 俊彰</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>
兼担	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>
兼担	教授	<p>柳浦 睦憲</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p> <p>産学官プロジェクトワーク</p>

専任・ 兼担・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	<p>生田 博志</p> <p><平成31年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実験指導体験実習 1</p> <p>研究インターンシップ 2 U2</p> <p>研究インターンシップ 2 U3</p> <p>研究インターンシップ 2 U4</p> <p>研究インターンシップ 2 U6</p> <p>研究インターンシップ 2 U8</p>
兼担	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p> <p>産学官プロジェクトワーク</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
塚田祐貴、棚橋 満、本山宗主、河口信夫、関 浩之、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、上垣外正己、藤井俊彰、武田一哉、柳浦陸憲、永野修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
山本剛久、小山敏幸、小澤正邦、足立吉隆、田邊靖博、入山恭寿、高嶋圭史、徳永智春、河口信夫、関 浩之、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、藤井俊彰、武田一哉、柳浦陸憲
・以下辞任
村田純教、棚橋 満、持箸 晃、
・以下就任
山本貴之

【令和元年度】

・以下辞任
山本 貴之、河口 信夫、上垣外 正己
・以下就任
生田 博志

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	8	0	7	23	7	3	1	3	14
(8)	(3)	(2)	(4)	(17)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
23	0	0			14	0	0		
(17)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
8	8	0	7	23	8	8	0	7	23
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
23	0	0			23	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	講師	棚橋 満	H30.3	選択	計算材料設計セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任(30)			
				選択	計算材料設計セミナー2B	①				
				選択	計算材料設計セミナー2C	①				
				選択	計算材料設計セミナー2D	①				
				選択	計算材料設計セミナー2E	①				
2	助教	持箸 晃	H29.11	選択	先端計測分析セミナー2B	①	H29.11.30付け退職のため辞任(30)			
				選択	先端計測分析セミナー2D	①				
3	助教	山本 貴之	H31.3	選択	ナノ構造設計セミナー2A	①	H31.3.31付け担当教員見直しのため辞任(元)			
				選択	ナノ構造設計セミナー2B	①				
				選択	ナノ構造設計セミナー2C	①				
				選択	ナノ構造設計セミナー2D	①				
				選択	ナノ構造設計セミナー2E	①				
合計（F）						後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）		
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)			後任補充状況の集計(E) + (G)							
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
3	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{3}{23} = \boxed{13.04} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	村田 純教	選択	計算材料設計セミナー2A	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)				
			選択	計算材料設計セミナー2B	①					
			選択	計算材料設計セミナー2C	①					
			選択	計算材料設計セミナー2D	①					
			選択	計算材料設計セミナー2E	①					
			選択	産学官プロジェクトワーク	①					
			—	(研究指導)						
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	6	科目	選択	6	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	6	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 材料デザイン工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 物質プロセス工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	9人	— 年次 人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	3 (-) [-]	7 (-) [-]	9 (-) [-]	0.70倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	8 (-) [3]	3 (-) [3]	7 (-) [3]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	8 (-) [3]	3 (-) [3]	7 (-) [3]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	8 (-) [3]	2 (-) [2]	7 (-) [3]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	3 (-) [0]	0 (-) [0]	8 (-) [3]	2 (-) [2]	6 (-) [2]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.33		1.11		0.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [0] (-)	0 [0] (-)	8 [3] (-)	2 [2] (-)	6 [2] (-)	2 [2] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		3 [0] (-)	0 [0] (-)	8 [3] (-)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		3 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [0] (-)	13 [5] (-)	19 [7] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	3人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	13人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	19人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{3} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 物質プロセス工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	先端プロセス工学セミナー2A	1前		2		3	3		5		1
	先端プロセス工学セミナー2B	1後		2		3	3		5		1
	先端プロセス工学セミナー2C	2前		2		3	3		5		1
	先端プロセス工学セミナー2D	2後		2		3	3		5		1
	先端プロセス工学セミナー2E	3前		2		3	3		5		1
	物質創製工学セミナー2A	1前		2		5	4		4		1
	物質創製工学セミナー2B	1後		2		5	4		4		1
	物質創製工学セミナー2C	2前		2		5	4		4		1
	物質創製工学セミナー2D	2後		2		5	4		4		1
	物質創製工学セミナー2E	3前		2		5	4		4		1
	小計(10科目)	-	0	20	0	40	35	0	45	0	10
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		5					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1				
	実世界データ循環システム特論11	1後		2		8					
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8					
小計(10科目)	-	0	31	0	27	1	0	0	0	0	
(研究指導)	-	-	-	-	8	8					
合計(20科目)	-	0	51	0	67	36	0	45	0	10	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	先端プロセス工学セミナー2A	1前		2		5	4	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2B	1後		2		5	4	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2C	2前		2		5	4	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2D	2後		2		5	4	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2E	3前		2		5	4	1	5		0
	物質創製工学セミナー2A(未開講)	1前		2		2	2	0	2		0
	物質創製工学セミナー2B(未開講)	1後		2		2	2	0	2		0
	物質創製工学セミナー2C	2前		2		2	2	0	2		0
	物質創製工学セミナー2D	2後		2		2	2	0	2		0
	物質創製工学セミナー2E	3前		2		2	2	0	2		0
	国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		7					
	国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		7					
小計(12科目)	-	0	26	0	49	30	5	35	0	0	
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論11	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(10科目)	-	0	31	0	0	0	0	0	0	14	
(研究指導)	-	-	-	-	7	6					
合計(22科目)	-	0	57	0	49	30	5	35	0	14	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	先端プロセス工学セミナー2A	1前		2		5	3	2	2		0
	先端プロセス工学セミナー2B	1後		2		5	3	2	2		0
	先端プロセス工学セミナー2C	2前		2		5	3	2	2		0
	先端プロセス工学セミナー2D	2後		2		5	3	2	2		0
	先端プロセス工学セミナー2E	3前		2		5	3	2	2		0
	物質創製工学セミナー2A	1前		2		3	1	1	1		0
	物質創製工学セミナー2B	1後		2		3	1	1	1		0
	物質創製工学セミナー2C	2前		2		3	1	1	1		0
	物質創製工学セミナー2D	2後		2		3	1	1	1		0
	物質創製工学セミナー2E	3前		2		3	1	1	1		0
小計(10科目)		-	0	20	0	40	20	15	15	0	0
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論11	1後		2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7					
小計(10科目)		-	0	31	0	7	0	0	0	0	20
(研究指導)		-				8	4				
合計(20科目)		-	0	51	0	47	20	15	15	0	20

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	先端プロセス工学セミナー2A	1前		2		5	3	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2B	1後		2		5	3	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2C	2前		2		5	3	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2D	2後		2		5	3	1	5		0
	先端プロセス工学セミナー2E	3前		2		5	3	1	5		0
	物質創製工学セミナー2A	1前		2		3	2	0	1		0
	物質創製工学セミナー2B	1後		2		3	2	0	1		0
	物質創製工学セミナー2C	2前		2		3	2	0	1		0
	物質創製工学セミナー2D	2後		2		3	2	0	1		0
	物質創製工学セミナー2E	3前		2		3	2	0	1		0
	国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		8					
	国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		8					
小計(12科目)		-	0	26	0	56	25	5	30	0	0
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論11	1後		2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					2
小計(10科目)		-	0	31	0	0	0	0	0	0	16
(研究指導)		-				8	4				
合計(22科目)		-	0	57	0	56	25	5	30	0	16

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端プロセス工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質創製工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質創製工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質創製工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質創製工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「物質創製工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に、「准教授4」から「准教授6」に変更。

- (注) ・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	20 科目	0 科目	20 科目	0 科目	22 科目	0 科目	22 科目	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{20} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	590,883 578,743 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	590,883 578,743 ㎡	大学全体		
	(590,883 578,743 ㎡)	(0 ㎡)	(0 ㎡)	(590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	252 234 室	232 240 室	1,680 1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	大学全体		
	演習室				14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 物質プロセス工学専攻			24 21 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 物質プロセス 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科										
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科										
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	博士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(建築学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(環境学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(情報科学)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	博士(工学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学)	—				
					修士(学術)	—				
					博士(情報科学)	—				
					博士(工学)	—				
					博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 物質プロセス工学専攻（博士後期課程）>

(1) ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	宇佐美 徳隆 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	宇佐美 徳隆 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	宇佐美 徳隆 <平成29年4月> 博士(工学)	専	教授	宇佐美 徳隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)			物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	興戸 正純 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	興戸 正純 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	興戸 正純 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇治原 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	興戸 正純 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	後藤 元信 <平成29年4月> 工学博士
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	後藤 元信 <平成29年4月> 工学博士
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	元廣 友美 <平成29年4月> 工学博士
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)
専	教授	後藤 元信 <平成29年4月> 工学博士
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	後藤 元信 <平成29年4月> 工学博士
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	川尻 喜章 <平成29年6月> Ph.D(工学)(米 国)
		(研究指導) 先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	川尻 喜章 <平成29年6月> Ph.D(工学)(米 国)
		(研究指導) 先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	川尻 喜章 <平成29年6月> Ph.D(工学)(米 国)
		(研究指導) 先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	小橋 眞 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	川尻 喜章 <平成29年6月> Ph.D(工学)(米 国)
		(研究指導) 先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	講師	黒川 康良 <平成29年4月> 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	黒川 康良 <平成29年4月> 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	高見 誠一 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	黒川 康良 <平成29年4月> 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	松岡 辰郎 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	田川 美穂 ＜平成29年4月＞ 博士(学術)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	松岡 辰郎 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	田川 美穂 ＜平成29年4月＞ 博士(学術)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	松岡 辰郎 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	田川 美穂 ＜平成29年4月＞ 博士(学術)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	黒田 健介 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	松岡 辰郎 ＜平成29年4月＞ 博士(工学)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	田川 美穂 ＜平成29年4月＞ 博士(学術)
		先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高田 尚記 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)
専	講師	橋爪 進 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 幸一 <平成30年11月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	高田 尚記 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	藤原 幸一 <平成30年11月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	高田 尚記 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端プロセス工学セ ミナー2A 先端プロセス工学セ ミナー2B 先端プロセス工学セ ミナー2C 先端プロセス工学セ ミナー2D 先端プロセス工学セ ミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山下 誠司 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	原田 俊太 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E
専	助教	後藤 和泰 <平成29年11月> 博士(工学) 物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E
専	助教	山下 誠司 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	原田 俊太 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E
専	助教	NGUYEN Hoang van <平成30年5月> DOCTORAT(工学) (仏国) 物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E
専	助教	後藤 和泰 <平成29年11月> 博士(工学) 物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E
専	助教	山下 誠司 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	原田 俊太 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E
専	助教	NGUYEN Hoang van <平成30年5月> DOCTORAT(工学) (仏国) 物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E
専	助教	後藤 和泰 <平成29年11月> 博士(工学) 物質創製工学セミナー2A 物質創製工学セミナー2B 物質創製工学セミナー2C 物質創製工学セミナー2D 物質創製工学セミナー2E
専	助教	山下 誠司 <平成29年4月> 博士(工学) 先端プロセス工学セミナー2A 先端プロセス工学セミナー2B 先端プロセス工学セミナー2C 先端プロセス工学セミナー2D 先端プロセス工学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	高橋 勲 <平成29年4月> 博士(理学)
		物質創製工学セミナー2A
		物質創製工学セミナー2B
		物質創製工学セミナー2C
		物質創製工学セミナー2D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	高橋 勲 <平成29年4月> 博士(理学)
		物質創製工学セミナー2A
		物質創製工学セミナー2B
		物質創製工学セミナー2C
		物質創製工学セミナー2D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環システム特論11
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	教授	柳浦 陸憲 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論11						
			兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2	兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2	兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
高見 誠一, 原田 俊太, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 渡邊 信久, 藤井 俊彰, 馬場 嘉信, 武田 一哉, 本多 裕之,
柳浦 睦憲, 永野 修作, 橋爪 進
・以下就任
後藤 和泰

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
宇佐美 徳隆, 宇治原 徹, 興戸 正純, 元廣 友美, 後藤 元信, 小橋 眞, 川尻 喜章, 高見 誠一, 後藤 和泰, 山下 誠司, 山口 毅, 神田 英輝, 矢島 智之, 鈴木 飛鳥, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 柳浦 睦憲, 橋爪 進, 高橋 勲
・以下辞任
橋爪 進, 高橋 勲
・以下就任
藤原 幸一, NGUYEN Hoang van
・以下担当種別及び職名の変更
黒川 康良

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
黒川 康良
・以下辞任
元廣 友美, 河口 信夫, 上垣外 正己, 渡邊 信久
・以下就任
生田 博志, 堀 克敏

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ 認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	8	0	9	25	7	6	1	7	21
(7)	(4)	(3)	(6)	(20)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	0	0			21	0	0		
(20)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	8	0	9	25	8	8	0	9	25
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	0	0			25	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	橋爪 進	H30. 3	選択	先端プロセス工学セミナー2A	①	H30. 3. 31付け退職のため辞任(30)
				選択	先端プロセス工学セミナー2B	①	
				選択	先端プロセス工学セミナー2C	①	
				選択	先端プロセス工学セミナー2D	①	
				選択	先端プロセス工学セミナー2E	①	
2	助教	高橋 勲	H29. 7	選択	物質創製工学セミナー2A	①	H29. 7. 31付け退職のため辞任(30)
				選択	物質創製工学セミナー2B	①	
				選択	物質創製工学セミナー2C	①	
				選択	物質創製工学セミナー2D	①	
				選択	物質創製工学セミナー2E	①	
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	10	科目	選択	10	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{25} = \boxed{8} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	元廣 友美	選択	物質創製工学セミナー2A	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)				
			選択	物質創製工学セミナー2B	①					
			選択	物質創製工学セミナー2C	①					
			選択	物質創製工学セミナー2D	①					
			選択	物質創製工学セミナー2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーIIU2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーIIU4	①					
			-	(研究指導)						
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 物質プロセス工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 化学システム工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	1 (-) [-]	8 (-) [-]	4 (-) [-]	4 (-) [-]	8 (-) [-]	0.45倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [1]	5 (-) [1]	4 (-) [3]	4 (-) [3]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [1]	5 (-) [1]	3 (-) [3]	4 (-) [3]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	1 (-) [1]	5 (-) [1]	1 (-) [1]	4 (-) [3]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	1 (-) [1]	1 (-) [1]	4 (-) [1]	1 (-) [1]	4 (-) [3]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.25		0.62		0.50				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	1 [1] (-)	1 [1] (-)	4 [1] (-)	1 [1] (-)	4 [3] (-)	1 [1] (-)	2019年4月 2年次への転入学1名
2年次	/		[] ()	[] ()	/		1 [1] (-)	1 [1] (-)	5 [1] (-)	1 [1] (-)	
3年次			/				/		/		
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [2] (-)	7 [4] (-)	12 [7] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	2人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	7人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	12人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{2} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 化学システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	化学システム工学セミナー2A	1前		2		4	4		4		1
	化学システム工学セミナー2B	1後		2		4	4		4		1
	化学システム工学セミナー2C	2前		2		4	4		4		1
	化学システム工学セミナー2D	2後		2		4	4		4		1
	化学システム工学セミナー2E	3前		2		4	4		4		1
	材料化学セミナー2A	1前		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2B	1後		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2C	2前		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2D	2後		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2E	3前		2		3	4		3		
小計(10科目)		-	0	20	0	35	40	0	35	0	5
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		5					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1					
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1				
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		8					
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8					
小計(15科目)		-	0	54	0	67	1	0	0	0	0
(研究指導)		-	-	-		8	9				
合計(25科目)		-	0	74	0	102	41	0	35	0	5
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	化学システム工学セミナー2A	1前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2B	1後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2C	2前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2D	2後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2E(未開講)	3前		2		3	4	1	4		0
	材料化学セミナー2A	1前		2		3	5		3		
	材料化学セミナー2B	1後		2		3	5		3		
	材料化学セミナー2C	2前		2		3	5		3		
	材料化学セミナー2D	2後		2		3	5		3		
	材料化学セミナー2E	3前		2		3	5		3		
国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		7						
国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		7						
小計(12科目)		-	0	26	0	44	45	5	35	0	0
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		7					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		7					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		7					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		7					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		7					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(15科目)		-	0	54	0	35	0	0	0	0	14
(研究指導)		-	-	-		7	10				
合計(27科目)		-	0	80	0	79	45	5	35	0	14
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	化学システム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2C	2前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2D	2後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2E	3前		2		3	4	1	4		0
	材料化学セミナー2A	1前		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2B	1後		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2C	2前		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2D	2後		2		3	4		3		
	材料化学セミナー2E	3前		2		3	4		3		
	小計(10科目)	-	0	20	0	30	40	5	35	0	0
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					8
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		6						
小計(15科目)	-	0	54	0	46	0	0	0	0	20	
(研究指導)	-	-	-	-	6	8					
合計(25科目)	-	0	74	0	76	40	5	35	0	20	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	化学システム工学セミナー2A	1前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2B	1後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2C(未開講)	2前		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2D(未開講)	2後		2		3	4	1	4		0
	化学システム工学セミナー2E	3前		2		3	4	1	4		0
	材料化学セミナー2A	1前		2		3	4		4		
	材料化学セミナー2B	1後		2		3	4		4		
	材料化学セミナー2C	2前		2		3	4		4		
	材料化学セミナー2D	2後		2		3	4		4		
	材料化学セミナー2E	3前		2		3	4		4		
	国際協働プロジェクトセミナーII U2	1・2前・後		2		6					
	国際協働プロジェクトセミナーII U4	1・2前・後		4		6					
小計(12科目)	-	0	26	0	42	40	5	40	0	0	
総合工学科目	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		6					
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		6					
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		6					
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		6					
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		6					
	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0				1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0					2
産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					2	
小計(15科目)	-	0	54	0	30	0	0	0	0	16	
(研究指導)	-	-	-	-	6	8					
合計(27科目)	-	0	80	0	72	40	5	40	0	16	

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準
上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「化学システム工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学システム工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学システム工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学システム工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「化学システム工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に、「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に、「准教授9」から「准教授8」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教4」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料化学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授5」に、「助教4」から「助教3」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授7」に、「准教授8」から「准教授10」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0	25	0	25	0	27	0	27	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[2]	[0]	[2]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{25} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）			
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	そ の 他	2,507,320-2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 -2,495,186 ㎡				
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）			
	工学研究科 化学システム工学専攻		28 -24 -31 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学研究科 化学システム 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0		
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	794 (969)	0 0		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数						
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席	3,140,500 冊	大学全体					
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	千円
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	千円	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		昭和28年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学)	—		平成12年度		
					博士(文学)					
					博士(歴史学)					
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(歴史学)					
					修士(学術)					
					博士(文学)	0.73	平成29年度			
					博士(歴史学)					
					博士(学術)					
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育)					
					博士(教育学)	0.70				
					博士(教育)					
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(臨床心理学)					
					博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	修士(比較法学)					
					修士(現代法学)					
					博士(法学)	0.42				
					博士(比較法学)					
					博士(現代法学)					
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	修士(経営管理)					
					博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.91				
					博士(学術)					
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	修士(学術)					
					博士(情報学)	0.79				
					博士(学術)					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度 平成7年度		
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度	平成30年10月学生受入開始	
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(看護学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成3年度 平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— — — —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士(学術)			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度		
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57				
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学)	1.24		平成13年度		
(博士後期課程)	3	21	—	63	修士(工学) 修士(建築学) 博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37				
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学)	0.84		平成13年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学) 修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48				
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 化学システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永岡 勝俊
		<平成31年4月>
		博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A
		化学システム工学セ ミナー2B
		化学システム工学セ ミナー2C
		化学システム工学セ ミナー2D
		化学システム工学セ ミナー2E
		国際協働プロジェク トセミナーII U2
		国際協働プロジェク トセミナーII U4
		研究室ローテーショ ン2 U2
		研究室ローテーショ ン2 U3
		研究室ローテーショ ン2 U4
		研究室ローテーショ ン2 U6
		研究室ローテーショ ン2 U6
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	市野 良一 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
		松尾 豊 <平成31年4月> 博士(理学) 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	則永 行庸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	則永 行庸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	則永 行庸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	則永 行庸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司 <平成29年4月> 工学博士
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司 <平成29年4月> 工学博士
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司 <平成29年4月> 工学博士
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	入谷 英司 <平成29年4月> 工学博士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣
		<平成29年4月>
		工学博士
		材料化学セミナー2A
		材料化学セミナー2B
		材料化学セミナー2C
		材料化学セミナー2D
		材料化学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		産学官プロジェクトワーク
(研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣
		<平成29年4月>
		工学博士
		材料化学セミナー2A
		材料化学セミナー2B
		材料化学セミナー2C
		材料化学セミナー2D
		材料化学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		産学官プロジェクトワーク
(研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣
		<平成29年4月>
		工学博士
		材料化学セミナー2A
		材料化学セミナー2B
		材料化学セミナー2C
		材料化学セミナー2D
		材料化学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4		
(研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	平澤 政廣
		<平成29年4月>
		工学博士
		材料化学セミナー2A
		材料化学セミナー2B
		材料化学セミナー2C
		材料化学セミナー2D
		材料化学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	北 英紀 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	准教授	安田 啓司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	准教授	安田 啓司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	安田 啓司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	齋藤 永宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	安田 啓司 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 敬幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	松宮 弘明 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 敬幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	松宮 弘明 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 敬幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	松宮 弘明 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小林 敬幸 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E (研究指導)
専	准教授	松宮 弘明 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	乗松 航 <平成31年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2 A 材料化学セミナー2 B 材料化学セミナー2 C 材料化学セミナー2 D 材料化学セミナー2 E (研究指導)
専	准教授	神本 祐樹 <平成31年4月> 博士(工学)
		(研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹 <平成29年4月> 工学博士
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	稗田 純子 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
		出口 清一 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹 <平成29年4月> 工学博士
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	稗田 純子 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	講師	出口 清一 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹 <平成29年4月> 工学博士
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	稗田 純子 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	講師	出口 清一 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	湯川 伸樹 <平成29年4月> 工学博士
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	稗田 純子 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E (研究指導)
専	講師	出口 清一 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セミナー2A 化学システム工学セミナー2B 化学システム工学セミナー2C 化学システム工学セミナー2D 化学システム工学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	谷 春樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E
専	助教	町田 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	谷 春樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E
専	助教	町田 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	谷 春樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2A 材料化学セミナー2B 材料化学セミナー2C 材料化学セミナー2D 材料化学セミナー2E
専	助教	町田 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E
専	助教	萩尾 健史 <平成30年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2 A 材料化学セミナー2 B 材料化学セミナー2 C 材料化学セミナー2 D 材料化学セミナー2 E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	町田 洋 <平成29年4月> 博士(工学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E
専	助教	萩尾 健史 <平成30年4月> 博士(工学)
		材料化学セミナー2 A 材料化学セミナー2 B 材料化学セミナー2 C 材料化学セミナー2 D 材料化学セミナー2 E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	片桐 誠之 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	片桐 誠之 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	片桐 誠之 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	片桐 誠之 <平成29年4月> 博士(農学)
		化学システム工学セ ミナー2A 化学システム工学セ ミナー2B 化学システム工学セ ミナー2C 化学システム工学セ ミナー2D 化学システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永野 修作
	兼任 准教授	<平成29年4月>
		博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永野 修作
	兼任 准教授	<平成29年4月>
		博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永野 修作
	兼任 准教授	<平成29年4月>
		博士(工学)
		実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
出口清一、河口信夫、関 浩之、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、上垣外正己、浅沼浩之、村上 裕、渡邊信久、藤井俊彰、馬場嘉信、武田一哉、
本多裕之、稲垣伸吉

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
市野良一、則永行庸、入谷英司、平澤政廣、北 英紀、齋藤永宏、河口信夫、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、藤井俊彰、武田一哉、稲垣伸吉
・以下就任
萩尾 健史

【令和元年度】

・以下辞任
入谷 英司、谷 春樹、河口 信夫、上垣外 正己、渡邊 信久
・以下就任
永岡 勝俊、松尾 豊、乗松 航、神本 祐樹、生田 博志、堀 克敏

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	9	0	8	25	7	10	1	7	25
(6)	(8)	(1)	(7)	(22)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	0	0			25	0	0		
(22)	(0)	(0)			(22)	(0)	(0)		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	9	0	8	25	8	9	0	8	25
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
25	0	0			25	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	谷 春樹	H31.3	選択	材料化学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）
				選択	材料化学セミナー2B	①	
				選択	材料化学セミナー2C	①	
				選択	材料化学セミナー2D	①	
				選択	材料化学セミナー2E	①	
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）		
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	入谷 英司	選択	化学システム工学セミナー2A	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)				
			選択	化学システム工学セミナー2B	①					
			選択	化学システム工学セミナー2C	①					
			選択	化学システム工学セミナー2D	①					
			選択	化学システム工学セミナー2E	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U3	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U6	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①					
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	12	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	12	科目	計	12	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 化学システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名 名古屋大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601
愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 電気工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	9人	— 年次 人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	7 (-) [-]	9 (-) [-]	5 (-) [-]	2 (-) [-]	6 (-) [-]	—	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [1]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	6 (-) [0]	() []	0.88倍	—	
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [1]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	6 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	7 (-) [1]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	6 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	4 (-) [2]	7 (-) [1]	5 (-) [2]	2 (-) [2]	6 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.22		0.77		0.66				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	4 [2] (-)	7 [1] (-)	5 [2] (-)	2 [2] (-)	6 [0] (-)	2 [2] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		4 [2] (-)	7 [1] (-)	5 [2] (-)	7 [1] (-)	
3年次			/				/		/		4 [2] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	11 [3] (-)	18 [7] (-)	24 [7] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	11人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	18人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	24人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{11} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 電気工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	大電流エネルギー工学セミナー2A	1前	2			1	1						
	大電流エネルギー工学セミナー2B	1後	2			1	1						
	大電流エネルギー工学セミナー2C	2前	2			1	1						
	大電流エネルギー工学セミナー2D	2後	2			1	1						
	大電流エネルギー工学セミナー2E	3前	2			1	1						
	エネルギー環境システムセミナー2A	1前	2			2				2			2
	エネルギー環境システムセミナー2B	1後	2			2				2			2
	エネルギー環境システムセミナー2C	2前	2			2				2			2
	エネルギー環境システムセミナー2D	2後	2			2				2			2
	エネルギー環境システムセミナー2E	3前	2			2				2			2
	機能電気・情報材料セミナー2A	1前	2				1						
	機能電気・情報材料セミナー2B	1後	2				1						
	機能電気・情報材料セミナー2C	2前	2				1						
	機能電気・情報材料セミナー2D	2後	2				1						
	機能電気・情報材料セミナー2E	3前	2				1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A	1前	2			1	1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B	1後	2			1	1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C	2前	2			1	1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D	2後	2			1	1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E	3前	2			1	1						
	プラズマエネルギーセミナー2A	1前	2			1	1			1			
	プラズマエネルギーセミナー2B	1後	2			1	1			1			
	プラズマエネルギーセミナー2C	2前	2			1	1			1			
	プラズマエネルギーセミナー2D	2後	2			1	1			1			
	プラズマエネルギーセミナー2E	3前	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2A	1前	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2B	1後	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2C	2前	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2D	2後	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2E	3前	2			1	1			1			
	宇宙電磁観測セミナー2A	1前	2			1	1			2			
	宇宙電磁観測セミナー2B	1後	2			1	1			2			
	宇宙電磁観測セミナー2C	2前	2			1	1			2			
	宇宙電磁観測セミナー2D	2後	2			1	1			2			
	宇宙電磁観測セミナー2E	3前	2			1	1			2			
宇宙情報処理セミナー2A	1前	2			1	1			1			1	
宇宙情報処理セミナー2B	1後	2			1	1			1			1	
宇宙情報処理セミナー2C	2前	2			1	1			1			1	
宇宙情報処理セミナー2D	2後	2			1	1			1			1	
宇宙情報処理セミナー2E	3前	2			1	1			1			1	
国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後	2			2	8							
国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後	4			4	8							
グローバルチャレンジII	1・2前・後	2			2	8							
フォローアップビジット	2・3前・後	2			2	8							
小計(44科目)		-	0	90	0	72	35	0	35	0			15

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	大電流エネルギー工学セミナー2A(未開講)	1前	2			1	0						
	大電流エネルギー工学セミナー2B(未開講)	1後	2			1	0						
	大電流エネルギー工学セミナー2C	2前	2			1	0						
	大電流エネルギー工学セミナー2D	2後	2			1	0						
	大電流エネルギー工学セミナー2E	3前	2			1	0						
	エネルギー環境システムセミナー2A	1前	2			2					1		0
	エネルギー環境システムセミナー2B	1後	2			2					1		0
	エネルギー環境システムセミナー2C	2前	2			2					1		0
	エネルギー環境システムセミナー2D	2後	2			2					1		0
	エネルギー環境システムセミナー2E	3前	2			2					1		0
	機能電気・情報材料セミナー2A	1前	2				1	2					
	機能電気・情報材料セミナー2B	1後	2				1	2					
	機能電気・情報材料セミナー2C	2前	2				1	2					
	機能電気・情報材料セミナー2D	2後	2				1	2					
	機能電気・情報材料セミナー2E	3前	2				1	2					
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A	1前	2			2	1				1		
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B	1後	2			2	1				1		
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C(未開講)	2前	2			2	1				1		
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D(未開講)	2後	2			2	1				1		
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E	3前	2			2	1				1		
	プラズマエネルギーセミナー2A	1前	2			1	1			1			1
	プラズマエネルギーセミナー2B(未開講)	1後	2			1	1			1			1
	プラズマエネルギーセミナー2C	2前	2			1	1			1			1
	プラズマエネルギーセミナー2D	2後	2			1	1			1			1
	プラズマエネルギーセミナー2E	3前	2			1	1			1			1
	低温エネルギー材料セミナー2A	1前	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2B	1後	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2C	2前	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2D	2後	2			1	1			1			
	低温エネルギー材料セミナー2E(未開講)	3前	2			1	1			1			
	宇宙電磁観測セミナー2A(未開講)	1前	2			1	2			1			
	宇宙電磁観測セミナー2B(未開講)	1後	2			1	2			1			
	宇宙電磁観測セミナー2C(未開講)	2前	2			1	2			1			
	宇宙電磁観測セミナー2D(未開講)	2後	2			1	2			1			
	宇宙電磁観測セミナー2E	3前	2			1	2			1			
宇宙情報処理セミナー2A(未開講)	1前	2			1	1			1	0		0	
宇宙情報処理セミナー2B(未開講)	1後	2			1	1			1	0		0	
宇宙情報処理セミナー2C(未開講)	2前	2			1	1			1	0		0	
宇宙情報処理セミナー2D(未開講)	2後	2			1	1			1	0		0	
宇宙情報処理セミナー2E(未開講)	3前	2			1	1			1	0		0	
パワーエレクトロニクスセミナー2A	1前	2				1				1			
パワーエレクトロニクスセミナー2B	1後	2				1				1			
パワーエレクトロニクスセミナー2C	2前	2				1				1			
パワーエレクトロニクスセミナー2D	2後	2				1				1			
パワーエレクトロニクスセミナー2E	3前	2				1				1			
国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後	2			2	9							
国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後	4			4	9							
グローバルチャレンジII	1・2前・後	2			2								2
フォローアップビジット	2・3前・後	2			2								2
小計(49科目)		-	0	100	0	68	40	5	30	0			9

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1						
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(14科目)		-	0	52	0	62	1	0	0	0	0	
(研究指導)		-				8	7					
合計(58科目)		-	0	142	0	134	36	0	35	0	15	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		9						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		9						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		9						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		9						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		9						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(14科目)		-	0	52	0	45	0	0	0	0	9	
(研究指導)		-				10	8					
合計(63科目)		-	0	152	0	113	40	5	30	0	18	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	大電力エネルギー工学セミナー2A	1前		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2B	1後		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2C	2前		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2D	2後		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2E	3前		2		1	0						
	エネルギー環境システムセミナー2A	1前		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2B	1後		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2C	2前		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2D	2後		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2E	3前		2		1			0			0	
	機能電気・情報材料セミナー2A	1前		2			1						
	機能電気・情報材料セミナー2B	1後		2			1						
	機能電気・情報材料セミナー2C	2前		2			1						
	機能電気・情報材料セミナー2D	2後		2			1						
	機能電気・情報材料セミナー2E	3前		2			1						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A	1前		2		1	0		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B	1後		2		1	0		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C	2前		2		1	0		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D	2後		2		1	0		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E	3前		2		1	0		1				
	プラズマエネルギーセミナー2A	1前		2		1	1		1				
	プラズマエネルギーセミナー2B	1後		2		1	1		1				
	プラズマエネルギーセミナー2C	2前		2		1	1		1				
	プラズマエネルギーセミナー2D	2後		2		1	1		1				
	プラズマエネルギーセミナー2E	3前		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2C	2前		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2D	2後		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2E	3前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2A	1前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2B	1後		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2C	2前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2D	2後		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2E	3前		2		1	1		1				
	宇宙情報処理セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1	1	1			0	
	宇宙情報処理セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1	1	1			0	
	宇宙情報処理セミナー2C	2前		2		1	1	1	1			0	
	宇宙情報処理セミナー2D	2後		2		1	1	1	1			0	
	宇宙情報処理セミナー2E	3前		2		1	1	1	1			0	
	国際協働プロジェクトセミナーII U2	1:2前・後		2			7						
	国際協働プロジェクトセミナーII U4	1:2前・後		4			7						
グローバルチャレンジII	1:2前・後		2			7						2	
フォローアップビジット	2:3前・後		2			7						2	
小計(44科目)	-	0	90	0	63	25	5	25	0	0			
総合工学科目	実験指導体験実習1	1:2前・後		1		0						1	
	実験指導体験実習2	1:2前・後		1			0					1	
	研究インターンシップ2 U2	1:2前・後		2		0						1	
	研究インターンシップ2 U3	1:2前・後		3		0						1	
	研究インターンシップ2 U4	1:2前・後		4		0						1	
	研究インターンシップ2 U6	1:2前・後		6		0						1	
	研究インターンシップ2 U8	1:2前・後		8		0						1	
	研究室ローテーション2 U2	1:2前・後		2		7							
	研究室ローテーション2 U3	1:2前・後		3		7							
	研究室ローテーション2 U4	1:2前・後		4		7							
	研究室ローテーション2 U6	1:2前・後		6		7							
	研究室ローテーション2 U8	1:2前・後		8		7							
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						8	
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7							
	小計(14科目)	-	0	52	0	42	0	0	0	0	0	15	
	(研究指導)	-	-	-	-	8	6						
合計(58科目)	-	0	142	0	105	25	5	25	0	15			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門科目	大電力エネルギー工学セミナー2A	1前		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2B	1後		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2C	2前		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2D	2後		2		1	0						
	大電力エネルギー工学セミナー2E	3前		2		1	0						
	エネルギー環境システムセミナー2A	1前		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2B	1後		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2C	2前		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2D	2後		2		1			0			0	
	エネルギー環境システムセミナー2E	3前		2		1			0			0	
	機能電気・情報材料セミナー2A	1前		2		1	2						
	機能電気・情報材料セミナー2B	1後		2		1	2						
	機能電気・情報材料セミナー2C	2前		2		1	2						
	機能電気・情報材料セミナー2D	2後		2		1	2						
	機能電気・情報材料セミナー2E	3前		2		1	2						
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A(未開講)	1前		2		2	1		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B(未開講)	1後		2		2	1		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C	2前		2		2	1		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D	2後		2		2	1		1				
	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E	3前		2		2	1		1				
	プラズマエネルギーセミナー2A	1前		2		1	1		1				1
	プラズマエネルギーセミナー2B	1後		2		1	1		1				1
	プラズマエネルギーセミナー2C	2前		2		1	1		1				1
	プラズマエネルギーセミナー2D	2後		2		1	1		1				1
	プラズマエネルギーセミナー2E	3前		2		1	1		1				1
	低温エネルギー材料セミナー2A	1前		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2B	1後		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2D	2後		2		1	1		1				
	低温エネルギー材料セミナー2E	3前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2C	2前		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2D	2後		2		1	1		1				
	宇宙電磁観測セミナー2E	3前		2		1	1		1				
	宇宙情報処理セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	2	0			0	
	宇宙情報処理セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	2	0			0	
	宇宙情報処理セミナー2C(未開講)	2前		2		1	0	2	0			0	
	宇宙情報処理セミナー2D(未開講)	2後		2		1	0	2	0			0	
	宇宙情報処理セミナー2E	3前		2		1	0	2	0			0	
	パワーエレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1				
	パワーエレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1				
パワーエレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1					
パワーエレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1					
パワーエレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1					
国際協働プロジェクトセミナーII U2	1:2前・後		2			7							
国際協働プロジェクトセミナーII U4	1:2前・後		4			7							
グローバルチャレンジII	1:2前・後		2			0						2	
フォローアップビジット	2:3前・後		2			0						2	
小計(49科目)	-	0	100	0	64	30	10	25	0	9			
総合工学科目	実験指導体験実習1	1:2前・後		1		0						1	
	実験指導体験実習2	1:2前・後		1			0					1	
	研究インターンシップ2 U2	1:2前・後		2		0						1	
	研究インターンシップ2 U3	1:2前・後		3		0						1	
	研究インターンシップ2 U4	1:2前・後		4		0						1	
	研究インターンシップ2 U6	1:2前・後		6		0						1	
	研究インターンシップ2 U8	1:2前・後		8		0						1	
	研究室ローテーション2 U2	1:2前・後		2		7							
	研究室ローテーション2 U3	1:2前・後		3		7							
	研究室ローテーション2 U4	1:2前・後		4		7							
	研究室ローテーション2 U6	1:2前・後		6		7							
	研究室ローテーション2 U8	1:2前・後		8		7							
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						2	
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7							2
	小計(14科目)	-	0	52	0	42	0	0	0	0	11		
	(研究指導)	-	-	-	-	8	6						
合計(63科目)	-	0	152	0	106	30	10	25	0	20			

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

卒業要件及び履修方法

博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。

履修基準

上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上
ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「機能電気・情報材料セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機能電気・情報材料セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機能電気・情報材料セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機能電気・情報材料セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「機能電気・情報材料セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境調和型電気エネルギーシステムセミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境調和型電気エネルギーシステムセミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境調和型電気エネルギーシステムセミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境調和型電気エネルギーシステムセミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「環境調和型電気エネルギーシステムセミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プラズマエネルギーセミナー 2A」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プラズマエネルギーセミナー 2B」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プラズマエネルギーセミナー 2C」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プラズマエネルギーセミナー 2D」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「プラズマエネルギーセミナー 2E」の兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「講師1」から「講師2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「パワーエレクトロニクスセミナー 2A」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「パワーエレクトロニクスセミナー 2B」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「パワーエレクトロニクスセミナー 2C」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「パワーエレクトロニクスセミナー 2D」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「パワーエレクトロニクスセミナー 2E」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「グローバルチャレンジII」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フォローアップビジット」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー環境システムセミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー環境システムセミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー環境システムセミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー環境システムセミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー環境システムセミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙電磁観測セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙電磁観測セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙電磁観測セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙電磁観測セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙電磁観測セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「宇宙情報処理セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師2」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授9」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼任の教員を「2」から「1」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼任の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授10」に、「准教授6」から「准教授8」に変更。

- (注) ・ 2 (1) -① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	58 科目	0 科目	58 科目	0 科目	63 科目	0 科目	63 科目	
				[0]	[5]	[0]	[5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{58} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）			
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡				
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体				
	590,883 578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)					
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体			
	252 234 室	232 240 室	1,680 1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	工学研究科 電気工学専攻		20 室						
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点		
	工学研究科 電気工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0		
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0		
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数	大学全体					
	24,829 28,681 ㎡	2,031 2,195 席	3,140,500 冊						
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
		共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.04		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				405		1.03	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	1.04	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	114	学士(情報学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	177	学士(情報学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.05		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,494				昭和24年度		3年次編入20人を含む。保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.01	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	832	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				2,040		1.02		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		
化学生命工学科	4	99	—	297	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	249	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	330	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	354	学士(工学)	1.01	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	450	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	120	学士(工学)	1.04	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
環境土木・建築学科	4	80	—	240	学士（工学）	1.01	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
農学部				680		1.07		昭和26年度		
生物環境科学科	4	35	—	140	学士（農学）	1.08		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士（農学）	1.06		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士（農学）	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 55 2年次 — 年次	7,979						
文学研究科									愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		昭和28年度 平成12年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（歴史学） 博士（文学） 博士（歴史学）	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 （博士前期課程）	2	104	—	208	修士（文学） 修士（歴史学） 修士（学術）	0.99	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	61	—	183	博士（文学） 博士（歴史学） 博士（学術）	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 （平成12年度名称変更） 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 （博士前期課程）	2	32	—	64	修士（教育学） 修士（教育）	0.73				
（博士後期課程）	3	16	—	48	博士（教育学） 博士（教育）	0.70				
心理発達科学専攻 （博士前期課程）	2	22	—	44	修士（心理学） 修士（臨床心理学）	0.88		平成12年度		
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（心理学）	0.86				
法学研究科								昭和28年度 平成16年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 （博士前期課程）	2	35	—	70	修士（法学） 修士（比較法学） 修士（現代法学）	0.38				
（博士後期課程）	3	17	—	51	博士（法学） 博士（比較法学） 博士（現代法学）	0.42				
実務法曹養成専攻 （専門職学位課程）	3	50	—	150	法務博士 （専門職）	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 （博士前期課程）	2	30	—	60	修士（経済学） 修士（経営管理 学）	1.01				
（博士後期課程）	3	15	—	45	博士（経済学）	0.51				
産業経営システム専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（経済学）	1.06		平成12年度		
（博士後期課程）	3	7	—	21	博士（経済学）	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 （博士前期課程）	2	14	—	28	修士（情報学） 修士（学術）	1.13	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	4	—	12	博士（情報学） 博士（学術）	0.91				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	36	—	72	修士（情報学） 修士（学術）	1.19	平成29年度	平成29年度		
（博士後期課程）	3	8	—	24	博士（情報学） 博士（学術）	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地		
<u>社会情報学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(情報学)	0.88	平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1		
<u>(博士後期課程)</u>	3	5	—	15	修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.66					
<u>心理・認知科学専攻</u> (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99					
<u>情報システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55					
<u>知能システム学専攻</u> (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83					
理学研究科											
<u>素粒子宇宙物理学専攻</u> (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		昭和28年度 平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	30	—	90	博士(理学)	0.88					
<u>物質理学専攻</u> (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	22	—	66	博士(理学)	0.66					
<u>生命理学専攻</u> (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度			
<u>(博士後期課程)</u>	3	18	—	54	博士(理学)	0.42					
<u>名古屋大学・エディンバラ大学国際連携理学専攻</u> (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度			
医学系研究科											
<u>総合医学専攻</u> (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12		昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)	
<u>名古屋大学・アデレード大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度			
<u>名古屋大学・ルンド大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度			
<u>名古屋大学・フライブルク大学国際連携総合医学専攻</u> (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始	
<u>医科学専攻</u> (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度			
<u>医療行政コース</u>	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00					
<u>看護学専攻</u> (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止	
<u>(博士後期課程)</u>	3	6	—	18	博士(看護学)	—					

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
医療技術学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(医療技術学)	—				
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	10	—	20	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				
生命分子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03				
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18				
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94				
(博士後期課程)	3	5	—	15	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97				
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87				
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年度名称変更) 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻										
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 6	— —	54 12	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 16	— —	132 32	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科 国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度 平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
多元数理科学研究科					博士（学術）			平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	修士（数理学）	1.06		平成7年度		
（博士後期課程）	3	30	—	90	博士（数理学）	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（学術）	—				
国際多元文化専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	博士（文学）	—		平成10年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	博士（学術）	—				
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
地球環境科学専攻 （博士前期課程）	2	53	—	106	修士（環境学）	0.87		平成13年度		
（博士後期課程）	3	24	—	72	修士（理学）	0.57				
都市環境学専攻 （博士前期課程）	2	47	—	94	博士（環境学）	1.24		平成13年度		
（博士後期課程）	3	21	—	63	修士（工学）	0.37				
					修士（建築学）					
博士（環境学）					博士（工学）					
博士（建築学）					博士（建築学）					
社会環境学専攻 （博士前期課程）	2	27	—	54	修士（環境学）	0.84		平成13年度		
（博士後期課程）	3	13	—	39	修士（社会学）	0.48				
					修士（地理学）					
					修士（法学）					
					修士（経済学）					
博士（環境学）					博士（環境学）					
博士（社会学）					博士（社会学）					
博士（地理学）					博士（地理学）					
博士（法学）					博士（法学）					
博士（経済学）					博士（経済学）					
情報科学研究科								平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
情報システム学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
メディア科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				
複雑系科学専攻 （博士前期課程）	2	—	—	—	修士（情報科学）	—		平成15年度		
（博士後期課程）	3	—	—	—	修士（工学）	—				
					修士（学術）	—				
博士（情報科学）					博士（情報科学）	—				
博士（工学）					博士（工学）	—				
博士（学術）					博士（学術）	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学)	—		平成15年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(工学) 修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—				
創薬科学研究科 基盤創薬学専攻								平成24年度		
(博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学)	1.13		平成24年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(創薬科学)	0.66		平成26年度		
合計										
博士前期課程		1,604	0	3,208						
博士後期課程		568	0	1,638						
博士課程		161	—	644						
修士課程		30	—	50						
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 電気工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	舟橋 俊久 <平成29年4月> 博士(工学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	舟橋 俊久 <平成29年4月> 博士(工学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	杉本 重幸 <平成30年4月> 博士(工学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	杉本 重幸 <平成30年4月> 博士(工学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	塩川 和夫 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横水 康伸 <平成29年4月> 工学博士
		大電流エネルギー工学セミナー2A 大電流エネルギー工学セミナー2B 大電流エネルギー工学セミナー2C 大電流エネルギー工学セミナー2D 大電流エネルギー工学セミナー2E エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B エネルギー環境システムセミナー2C エネルギー環境システムセミナー2D エネルギー環境システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横水 康伸 <平成29年4月> 工学博士
		大電流エネルギー工学セミナー2A 大電流エネルギー工学セミナー2B 大電流エネルギー工学セミナー2C 大電流エネルギー工学セミナー2D 大電流エネルギー工学セミナー2E エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B エネルギー環境システムセミナー2C エネルギー環境システムセミナー2D エネルギー環境システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横水 康伸 <平成29年4月> 工学博士
		大電流エネルギー工学セミナー2A 大電流エネルギー工学セミナー2B 大電流エネルギー工学セミナー2C 大電流エネルギー工学セミナー2D 大電流エネルギー工学セミナー2E エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B エネルギー環境システムセミナー2C エネルギー環境システムセミナー2D エネルギー環境システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	横水 康伸 <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B エネルギー環境システムセミナー2C エネルギー環境システムセミナー2D エネルギー環境システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 文佳 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 文佳 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 文佳 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 文佳 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	吉田 隆 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三好 由純 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三好 由純 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三好 由純 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	三好 由純 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真義
		<平成30年4月> 博士 (工学)
		パワーエレクトロニクスセミナー2A パワーエレクトロニクスセミナー2B パワーエレクトロニクスセミナー2C パワーエレクトロニクスセミナー2D パワーエレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真義
		<平成30年4月> 博士 (工学)
		パワーエレクトロニクスセミナー2A パワーエレクトロニクスセミナー2B パワーエレクトロニクスセミナー2C パワーエレクトロニクスセミナー2D パワーエレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 直樹 <平成29年4月> 工学博士
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 直樹 <平成29年4月> 工学博士
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 直樹 <平成29年4月> 工学博士
		機能電気・情報材料セミナー2A 機能電気・情報材料セミナー2B 機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	早川 直樹 <平成29年4月> 工学博士
		機能電気・情報材料セミナー2A 機能電気・情報材料セミナー2B 機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 哲靖 <平成29年4月> 理学修士
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 グローバルチャレ ンジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 哲靖 <平成29年4月> 理学修士
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 グローバルチャレ ンジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 哲靖 <平成29年4月> 理学修士
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 哲靖 <平成29年4月> 理学修士
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	町田 忍 <平成29年4月> 理学博士
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	町田 忍 <平成29年4月> 理学博士
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	栗本 宗明 <平成29年4月> 博士(工学) エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	栗本 宗明 <平成29年4月> 博士(工学) エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福塚 友和 <平成30年10月> 博士(工学) 大電流エネルギー工学セミナー2B 大電流エネルギー工学セミナー2C 大電流エネルギー工学セミナー2D 大電流エネルギー工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	栗本 宗明 <平成29年4月> 博士(工学) エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福塚 友和 <平成30年10月> 博士(工学) 大電流エネルギー工学セミナー2B 大電流エネルギー工学セミナー2C 大電流エネルギー工学セミナー2D 大電流エネルギー工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	栗本 宗明 <平成29年4月> 博士(工学) エネルギー環境システムセミナー2A エネルギー環境システムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一野 祐亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料 セミナー2A 低温エネルギー材料 セミナー2B 低温エネルギー材料 セミナー2C 低温エネルギー材料 セミナー2D 低温エネルギー材料 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	梶田 信 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小島 寛樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料 セミナー2A 機能電気・情報材料 セミナー2B (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一野 祐亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料 セミナー2A 低温エネルギー材料 セミナー2B 低温エネルギー材料 セミナー2C 低温エネルギー材料 セミナー2D 低温エネルギー材料 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	梶田 信 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小島 寛樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料 セミナー2A 機能電気・情報材料 セミナー2B (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一野 祐亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料 セミナー2A 低温エネルギー材料 セミナー2B 低温エネルギー材料 セミナー2C 低温エネルギー材料 セミナー2D 低温エネルギー材料 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	梶田 信 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小島 寛樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料 セミナー2A 機能電気・情報材料 セミナー2B 機能電気・情報材料 セミナー2C 機能電気・情報材料 セミナー2D 機能電気・情報材料 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	一野 祐亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料 セミナー2A 低温エネルギー材料 セミナー2B 低温エネルギー材料 セミナー2C 低温エネルギー材料 セミナー2D 低温エネルギー材料 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	梶田 信 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E (研究指導)
専	准教授	小島 寛樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料 セミナー2A 機能電気・情報材料 セミナー2B 機能電気・情報材料 セミナー2C 機能電気・情報材料 セミナー2D 機能電気・情報材料 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西谷 望 <平成29年4月> 理学修士
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西谷 望 <平成29年4月> 理学修士
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西谷 望 <平成29年4月> 理学修士
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)
専	准教授	能勢 正仁 <平成30年8月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	西谷 望 <平成29年4月> 理学修士
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)
専	准教授	能勢 正仁 <平成30年8月> 博士(理学)
		宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田畑 彰守 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E (研究指導)
専	講師	梅田 隆行 <平成29年4月> 博士(情報学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E
専	助教	今田 晋亮 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田畑 彰守 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E (研究指導)
専	講師	梅田 隆行 <平成29年4月> 博士(情報学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E
専	助教	今田 晋亮 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田畑 彰守 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料セミナー2A 機能電気・情報材料セミナー2B 機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E (研究指導)
専	講師	梅田 隆行 <平成29年4月> 博士(情報学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E
専	講師	今田 晋亮 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田畑 彰守 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能電気・情報材料セミナー2A 機能電気・情報材料セミナー2B 機能電気・情報材料セミナー2C 機能電気・情報材料セミナー2D 機能電気・情報材料セミナー2E (研究指導)
専	准教授	梅田 隆行 <平成29年4月> 博士(情報学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E (研究指導)
専	講師	今田 晋亮 <平成29年4月> 博士(理学)
		宇宙情報処理セミナー2A 宇宙情報処理セミナー2B 宇宙情報処理セミナー2C 宇宙情報処理セミナー2D 宇宙情報処理セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学) 宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学) 宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	今中 政輝 <平成30年4月> 博士(科学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E
専	助教	今岡 淳 <平成30年4月> 博士(工学) パワーエレクトロニクスセミナー2A パワーエレクトロニクスセミナー2B パワーエレクトロニクスセミナー2C パワーエレクトロニクスセミナー2D パワーエレクトロニクスセミナー2E
専	助教	中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学) 宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	今中 政輝 <平成30年4月> 博士(科学) 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2A 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2B 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2C 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D 環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E
専	助教	今岡 淳 <平成30年4月> 博士(工学) パワーエレクトロニクスセミナー2A パワーエレクトロニクスセミナー2B パワーエレクトロニクスセミナー2C パワーエレクトロニクスセミナー2D パワーエレクトロニクスセミナー2E
専	助教	中島 拓 <平成29年4月> 博士(理学) 宇宙電磁観測セミナー2A 宇宙電磁観測セミナー2B 宇宙電磁観測セミナー2C 宇宙電磁観測セミナー2D 宇宙電磁観測セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 宏彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギーセミナー2B プラズマエネルギーセミナー2C プラズマエネルギーセミナー2D プラズマエネルギーセミナー2E
専	助教	土屋 雄司 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 宏彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギーセミナー2B プラズマエネルギーセミナー2C プラズマエネルギーセミナー2D プラズマエネルギーセミナー2E
専	助教	土屋 雄司 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 宏彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギーセミナー2B プラズマエネルギーセミナー2C プラズマエネルギーセミナー2D プラズマエネルギーセミナー2E
専	助教	土屋 雄司 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	田中 宏彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエネルギーセミナー2B プラズマエネルギーセミナー2C プラズマエネルギーセミナー2D プラズマエネルギーセミナー2E
専	助教	土屋 雄司 <平成29年4月> 博士(工学)
		低温エネルギー材料セミナー2A 低温エネルギー材料セミナー2B 低温エネルギー材料セミナー2C 低温エネルギー材料セミナー2D 低温エネルギー材料セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	<p>河口 信夫</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>
兼任	教授	<p>関 浩之</p> <p><平成29年4月></p> <p>工学博士</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>
兼任	教授	<p>古橋 武</p> <p><平成29年4月></p> <p>工学博士</p> <p>実世界データ循環システム特論II</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	<p>児玉 直人</p> <p><平成30年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>大電流エネルギー工学セミナー2A</p> <p>大電流エネルギー工学セミナー2B</p> <p>大電流エネルギー工学セミナー2C</p> <p>大電流エネルギー工学セミナー2D</p> <p>大電流エネルギー工学セミナー2E</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2A</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2B</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2C</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2D</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2E</p>
兼任	教授	<p>河口 信夫</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>産学官プロジェクトワーク</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	<p>児玉 直人</p> <p><平成30年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2A</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2B</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2C</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2D</p> <p>エネルギー環境システムセミナー2E</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップビジット 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップビジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップビジット 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップビジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 浩章
		<平成30年4月> 博士(工学) プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	中村 浩章
		<平成30年4月> 博士(工学) プラズマエネルギー セミナー2A プラズマエネルギー セミナー2B プラズマエネルギー セミナー2C プラズマエネルギー セミナー2D プラズマエネルギー セミナー2E

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
栗本 宗明, 梅田 孝行, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 稲垣 伸吉, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
杉本 重幸, 栗本 宗明, 今中 政輝, 塩川 和夫, 横水 康伸, 加藤 丈佳, 吉田 隆, 三好 由純, 山本 真義, 早川 直樹, 大野 哲靖, 今岡 淳, 兒玉 直人, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 井手 一郎, 中村 浩章, 舟橋 俊久, 町田 忍
・以下辞任
舟橋 俊久, 町田 忍
・以下就任
杉本 重幸, 今中 政輝, 山本 真義, 今岡 淳, 兒玉 直人, 井手 一郎, 中村 浩章, 福塚 友和, 能勢 正仁
・以下担当種別及び職名の変更
栗本 宗明, 今田 晋亮

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
横水 康伸, 山本 真義, 梅田 隆行, 兒玉 直人
・以下辞任
河口 信夫, 上垣外 正己
・以下就任
生田 博志
・以下職名の変更
梅田 隆行

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、**大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	7	0	10	25	10	8	1	6	25
(8)	(6)	(1)	(5)	(20)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
25	0	0			25	0	0		
(20)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
8	7	0	10	25	8	7	0	10	25
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
25	0	0			25	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{25} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	教授	舟橋 俊久	H30.3	選択	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2D	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任 (30)
				選択	環境調和型電気エネルギーシステムセミナー2E	①	
				—	(研究指導)		
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)		
辞任等した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{25} = \boxed{4} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	町田 忍	選択	宇宙情報処理セミナー2A	①	H30. 3. 31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	宇宙情報処理セミナー2B	①					
			選択	宇宙情報処理セミナー2C	①					
			選択	宇宙情報処理セミナー2D	①					
			選択	宇宙情報処理セミナー2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①					
			選択	グローバルチャレンジII	①					
			選択	フォローアップビジット	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U3	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U6	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			選択	産学官プロジェクトワーク	①					
		—	(研究指導)							
合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	15	科目	選択	15	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 電気工学専攻（博士後期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 電子工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	13人	— 年次人	39人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	13 (-) [-]	7 (-) [-]	11 (-) [-]	4 (-) [-]	6 (-) [-]	() []	0.71倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [1]	11 (-) [2]	4 (-) [1]	6 (-) [4]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [1]	11 (-) [2]	3 (-) [1]	6 (-) [4]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	7 (-) [1]	11 (-) [2]	2 (-) [0]	5 (-) [3]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 (-) [3]	7 (-) [1]	10 (-) [2]	2 (-) [0]	4 (-) [2]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.92		0.92		0.30				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [3] (-)	7 [1] (-)	10 [2] (-)	2 [0] (-)	4 [2] (-)	2 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		5 [3] (-)	7 [1] (-)	10 [2] (-)	7 [1] (-)	
3年次			/				/		/		5 [3] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	12 [4] (-)	24 [6] (-)	28 [8] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	12人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	24人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	28人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 電子工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プラズマエレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1			
	ナノプロセスセミナー2A	1前		2		3	1		1			
	ナノプロセスセミナー2B	1後		2		3	1		1			
	ナノプロセスセミナー2C	2前		2		3	1		1			
	ナノプロセスセミナー2D	2後		2		3	1		1			
	ナノプロセスセミナー2E	3前		2		3	1		1			
	光エレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1			
	ナノ情報デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	ナノ情報デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	ナノ情報デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	ナノ情報デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	ナノ情報デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1			
	知能デバイスセミナー2A	1前		2		1	1				1	
	知能デバイスセミナー2B	1後		2		1	1				1	
	知能デバイスセミナー2C	2前		2		1	1				1	
	知能デバイスセミナー2D	2後		2		1	1				1	
	知能デバイスセミナー2E	3前		2		1	1				1	
	量子光エレクトロニクスセミナー2A	1前		2		2			2			
	量子光エレクトロニクスセミナー2B	1後		2		2			2			
	量子光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		2			2			
	量子光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		2			2			
	量子光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		2			2			
	量子集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1				1	
	量子集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1				1	
	量子集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1				1	
	量子集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1				1	
	量子集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1				1	
	機能集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1			
量子スピン情報セミナー2A	1前		2		1	1		1				
量子スピン情報セミナー2B	1後		2		1	1		1				
量子スピン情報セミナー2C	2前		2		1	1		1				
量子スピン情報セミナー2D	2後		2		1	1		1				
量子スピン情報セミナー2E	3前		2		1	1		1				
電子線応用工学セミナー2A	1前		2			1						
電子線応用工学セミナー2B	1後		2			1						
電子線応用工学セミナー2C	2前		2			1						
電子線応用工学セミナー2D	2後		2			1						
電子線応用工学セミナー2E	3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プラズマエレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1			
	プラズマエレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1			
	ナノプロセスセミナー2A	1前		2		2	1		1			
	ナノプロセスセミナー2B	1後		2		2	1		1			
	ナノプロセスセミナー2C	2前		2		2	1		1			
	ナノプロセスセミナー2D	2後		2		2	1		1			
	ナノプロセスセミナー2E	3前		2		2	1		1			
	光エレクトロニクスセミナー2A(未開講)	1前		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2B(未開講)	1後		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1			
	光エレクトロニクスセミナー2E(未開講)	3前		2		1			1			
	ナノ情報デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		2			
	ナノ情報デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		2			
	ナノ情報デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		2			
	ナノ情報デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		2			
	ナノ情報デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		2			
	知能デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		0	2	0				0
	知能デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		0	2	0				0
	知能デバイスセミナー2C	2前		2		0	2	0				0
	知能デバイスセミナー2D	2後		2		0	2	0				0
	知能デバイスセミナー2E	3前		2		0	2	0				0
	量子光エレクトロニクスセミナー2A(未開講)	1前		2		1			1			
	量子光エレクトロニクスセミナー2B(未開講)	1後		2		1			1			
	量子光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1			
	量子光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1			
	量子光エレクトロニクスセミナー2E(未開講)	3前		2		1			1			
	量子集積デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		2			0
	量子集積デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		2			0
	量子集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		2			0
	量子集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		2			0
	量子集積デバイスセミナー2E(未開講)	3前		2		1	1		2			0
	機能集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	機能集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1			
先端デバイスセミナー2A	1前		2		2	1	1					
先端デバイスセミナー2B	1後		2		2	1	1					
先端デバイスセミナー2C	2前		2		2	1	1					
先端デバイスセミナー2D	2後		2		2	1	1					
先端デバイスセミナー2E	3前		2		2	1	1					
量子スピン情報セミナー2A	1前		2		1	1		0			0	
量子スピン情報セミナー2B	1後		2		1	1		0			0	
量子スピン情報セミナー2C	2前		2		1	1		0			0	
量子スピン情報セミナー2D	2後		2		1	1		0			0	
量子スピン情報セミナー2E	3前		2		1	1		0			0	
電子線応用工学セミナー2A(未開講)	1前		2			1						
電子線応用工学セミナー2B(未開講)	1後		2			1						
電子線応用工学セミナー2C(未開講)	2前		2			1						
電子線応用工学セミナー2D(未開講)	2後		2			1						
電子線応用工学セミナー2E(未開講)	3前		2			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		13						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		13						
	グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		8						
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		8						
	小計(54科目)	-	0	110	0	102	35	0	40	0	10	
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1						
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		13						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		13						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		13						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		13						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		13						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(14科目)	-	0	52	0	87	1	0	0	0	0		
(研究指導)	-				13	11						
合計(68科目)	-	0	162	0	189	36	0	40	0	10		
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ナノ電子デバイスセミナー2A	1前		2		1				2		
	ナノ電子デバイスセミナー2B	1後		2		1				2		
	ナノ電子デバイスセミナー2C(未開講)	2前		2		1				2		
	ナノ電子デバイスセミナー2D	2後		2		1				2		
	ナノ電子デバイスセミナー2E(未開講)	3前		2		1				2		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		11						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		11						
グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		0						2	
フォローアップビジット	2・3前・後		2		0						2	
小計(64科目)	-	0	130	0	82	45	5	55	0	4		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		11						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		11						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		11						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		11						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		11						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(14科目)	-	0	52	0	55	0	0	0	0	9		
(研究指導)	-				11	9						
合計(78科目)	-	0	182	0	137	45	5	55	0	13		
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	プラズマエレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1		
	ナノプロセスセミナー2A	1前		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2B	1後		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2C	2前		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2D	2後		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2E	3前		2		2	1		1		
	光エレクトロニクスセミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		
	光エレクトロニクスセミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		
	光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1		
	光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1		
	光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1		
	ナノ情報デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1		
	ナノ情報デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1		
	ナノ情報デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1		
	ナノ情報デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1		
	ナノ情報デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1		
	知能デバイスセミナー2A	1前		2		1	1	1			0
	知能デバイスセミナー2B	1後		2		1	1	1			0
	知能デバイスセミナー2C	2前		2		1	1	1			0
	知能デバイスセミナー2D	2後		2		1	1	1			0
	知能デバイスセミナー2E	3前		2		1	1	1			0
	量子光エレクトロニクスセミナー2A(未開講)	1前		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2B(未開講)	1後		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1		
	量子集積デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		1	0		2		0
	量子集積デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		1	0		2		0
	量子集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	0		2		0
	量子集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	0		2		0
	量子集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	0		2		0
	機能集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1		
	量子スピン情報セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	量子スピン情報セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	量子スピン情報セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	量子スピン情報セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	量子スピン情報セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	電子線応用工学セミナー2A(未開講)	1前		2			1				
	電子線応用工学セミナー2B(未開講)	1後		2			1				
	電子線応用工学セミナー2C	2前		2			1				
	電子線応用工学セミナー2D	2後		2			1				
	電子線応用工学セミナー2E	3前		2			1				
	ナノ電子デバイスセミナー2A(未開講)	1前		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2B(未開講)	1後		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2C	2前		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2D	2後		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2E	3前		2		1			2		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		12					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		12					
	グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		8					2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		8					2
	小計(59科目)	-	0	120	0	95	30	5	55	0	0

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	プラズマエレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2C	2前		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2D	2後		2		1			1		
	プラズマエレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1		
	ナノプロセスセミナー2A	1前		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2B	1後		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2C	2前		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2D	2後		2		2	1		1		
	ナノプロセスセミナー2E	3前		2		2	1		1		
	光エレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1		1	1		
	光エレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1		1	1		
	光エレクトロニクスセミナー2C(未開講)	2前		2		1		1	1		
	光エレクトロニクスセミナー2D(未開講)	2後		2		1		1	1		
	光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1		1	1		
	ナノ情報デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		2		
	ナノ情報デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		2		
	ナノ情報デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		2		
	ナノ情報デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		2		
	ナノ情報デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		2		
	知能デバイスセミナー2A	1前		2		0	1	1			0
	知能デバイスセミナー2B	1後		2		0	1	1			0
	知能デバイスセミナー2C	2前		2		0	1	1			0
	知能デバイスセミナー2D	2後		2		0	1	1			0
	知能デバイスセミナー2E	3前		2		0	1	1			0
	量子光エレクトロニクスセミナー2A	1前		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2B	1後		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2C(未開講)	2前		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2D(未開講)	2後		2		1			1		
	量子光エレクトロニクスセミナー2E	3前		2		1			1		
	量子集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		2		0
	量子集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		2		0
	量子集積デバイスセミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		2		0
	量子集積デバイスセミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		2		0
	量子集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		2		0
	機能集積デバイスセミナー2A	1前		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2B	1後		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2C	2前		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2D	2後		2		1	1		1		
	機能集積デバイスセミナー2E	3前		2		1	1		1		
	先端デバイスセミナー2A	1前		2		1			2		
	先端デバイスセミナー2B	1後		2		1			2		
	先端デバイスセミナー2C	2前		2		1			2		
	先端デバイスセミナー2D	2後		2		1			2		
	先端デバイスセミナー2E	3前		2		1			2		
	量子スピン情報セミナー2A	1前		2		1	1		0		1
	量子スピン情報セミナー2B	1後		2		1	1		0		1
	量子スピン情報セミナー2C	2前		2		1	1		0		1
	量子スピン情報セミナー2D	2後		2		1	1		0		1
	量子スピン情報セミナー2E	3前		2		1	1		0		1
	電子線応用工学セミナー2A(未開講)	1前		2			1				
	電子線応用工学セミナー2B(未開講)	1後		2			1				
	電子線応用工学セミナー2C(未開講)	2前		2			1				
	電子線応用工学セミナー2D(未開講)	2後		2			1				
	電子線応用工学セミナー2E	3前		2			1				
	ナノ電子デバイスセミナー2A	1前		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2B	1後		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2C(未開講)	2前		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2D	2後		2		1			2		
	ナノ電子デバイスセミナー2E	3前		2		1			2		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		11					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		11					
	グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		0					2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		0					2
	小計(64科目)	-	0	130	0	82	35	10	55	0	9

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		12						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		12						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		12						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		12						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		12						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(14科目)	-		0	52	0	68	0	0	0	0	0	15
(研究指導)	-					12	6					
合計(73科目)	-		0	172	0	163	30	5	55	0		15
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		11						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		11						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		11						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		11						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		11						
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(14科目)	-		0	52	0	55	0	0	0	0	0	11
(研究指導)	-					11	6					
合計(78科目)	-		0	182	0	137	35	10	55	0		20
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。												
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「知能デバイスセミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能デバイスセミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能デバイスセミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能デバイスセミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能デバイスセミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端デバイスセミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端デバイスセミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端デバイスセミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端デバイスセミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「先端デバイスセミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子スピン情報セミナー 2A」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子スピン情報セミナー 2B」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子スピン情報セミナー 2C」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子スピン情報セミナー 2D」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「量子スピン情報セミナー 2E」の兼任・兼任教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授9」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	68 科目	0 科目	68 科目	0 科目	78 科目	0 科目	78 科目	
				[0]	[10]	[0]	[10]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{68} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考			
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）			
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡				
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡				
	小計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡				
	その他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡				
	合計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡				
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等		講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
		252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数			平成31年4月 室用途変更のため（元）		
		工学研究科 電子工学専攻		35 -31 -34 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料	機械・器具	標本		
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	点	点	点		
	工学研究科 電子工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0		
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0		
(6) 図書館		面積	閲覧座席数	収納可能冊数			大学全体		
		24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席	3,140,500 冊					
(7) 体育館		面積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
		9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円	
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円		
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—		—		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科									昭和28年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20			平成7年度	
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05			平成8年度	
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87			平成13年度	
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—			平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				平成32年度より学生募集停止
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—			平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				平成32年度より学生募集停止
リハビリテーション療法学専攻							平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
森林・資材科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.09	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
(博士後期課程)	3	7	—	13	博士(農学)	0.46				
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.11	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(農学)	0.60				
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	0.98	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	7	—	14	博士(農学)	0.21				
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.04	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
(博士後期課程)	3	17	—	33	博士(農学)	0.57				
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	44	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61				
多元数理科学研究科								平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 電子工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岩田 聡 <平成29年4月> 工学博士
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
		量子スピン情報セミナー2D
		量子スピン情報セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岩田 聡 <平成29年4月> 工学博士
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
		量子スピン情報セミナー2D
		量子スピン情報セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岩田 聡 <平成29年4月> 工学博士
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
		量子スピン情報セミナー2D
		量子スピン情報セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	岩田 聡 <平成29年4月> 工学博士
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
		量子スピン情報セミナー2D
		量子スピン情報セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 誠一 <平成29年4月> 工学博士
		機能集積デバイスセ ミナー2A 機能集積デバイスセ ミナー2B 機能集積デバイスセ ミナー2C 機能集積デバイスセ ミナー2D 機能集積デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 誠一 <平成29年4月> 工学博士
		機能集積デバイスセ ミナー2A 機能集積デバイスセ ミナー2B 機能集積デバイスセ ミナー2C 機能集積デバイスセ ミナー2D 機能集積デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 誠一 <平成29年4月> 工学博士
		機能集積デバイスセ ミナー2A 機能集積デバイスセ ミナー2B 機能集積デバイスセ ミナー2C 機能集積デバイスセ ミナー2D 機能集積デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宮崎 誠一 <平成29年4月> 工学博士
		機能集積デバイスセ ミナー2A 機能集積デバイスセ ミナー2B 機能集積デバイスセ ミナー2C 機能集積デバイスセ ミナー2D 機能集積デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 信行 <平成29年4月> 博士(理学)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 信行 <平成29年4月> 博士(理学)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 信行 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	五十嵐 信行 <平成29年4月> 博士(理学)
		電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端デバイスセミナー2A 先端デバイスセミナー2B 先端デバイスセミナー2C 先端デバイスセミナー2D 先端デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	須田 淳 <平成29年4月> 博士(工学)
		先端デバイスセミナー2A 先端デバイスセミナー2B 先端デバイスセミナー2C 先端デバイスセミナー2D 先端デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 典彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジ11 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 典彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジ11 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 典彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	西澤 典彦 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川瀬 晃道 <平成29年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクス セミナー2A 光エレクトロニクス セミナー2B 光エレクトロニクス セミナー2C 光エレクトロニクス セミナー2D 光エレクトロニクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 グローバルチャレン ジII 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川瀬 晃道 <平成29年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクス セミナー2A 光エレクトロニクス セミナー2B 光エレクトロニクス セミナー2C 光エレクトロニクス セミナー2D 光エレクトロニクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 グローバルチャレン ジII 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川瀬 晃道 <平成29年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクス セミナー2A 光エレクトロニクス セミナー2B 光エレクトロニクス セミナー2C 光エレクトロニクス セミナー2D 光エレクトロニクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	川瀬 晃道 <平成29年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクス セミナー2A 光エレクトロニクス セミナー2B 光エレクトロニクス セミナー2C 光エレクトロニクス セミナー2D 光エレクトロニクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 雄高 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセ ミナー2A ナノ電子デバイスセ ミナー2B ナノ電子デバイスセ ミナー2C ナノ電子デバイスセ ミナー2D ナノ電子デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 雄高 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセ ミナー2A ナノ電子デバイスセ ミナー2B ナノ電子デバイスセ ミナー2C ナノ電子デバイスセ ミナー2D ナノ電子デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 雄高 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセ ミナー2A ナノ電子デバイスセ ミナー2B ナノ電子デバイスセ ミナー2C ナノ電子デバイスセ ミナー2D ナノ電子デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	大野 雄高 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセ ミナー2A ナノ電子デバイスセ ミナー2B ナノ電子デバイスセ ミナー2C ナノ電子デバイスセ ミナー2D ナノ電子デバイスセ ミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中里 和郎 <平成29年4月> 理学博士
		知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中里 和郎 <平成29年4月> 理学博士
		知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	天野 浩
		<平成29年4月>
		工学博士
		ナノ情報デバイスセ ミナー2A
		ナノ情報デバイスセ ミナー2B
		ナノ情報デバイスセ ミナー2C
		ナノ情報デバイスセ ミナー2D
		ナノ情報デバイスセ ミナー2E
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4
		フォローアップビ ジット
		研究室ローテーショ ン2 U2
		研究室ローテーショ ン2 U3
研究室ローテーショ ン2 U4		
研究室ローテーショ ン2 U6		
研究室ローテーショ ン2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	天野 浩
		<平成29年4月>
		工学博士
		ナノ情報デバイスセ ミナー2A
		ナノ情報デバイスセ ミナー2B
		ナノ情報デバイスセ ミナー2C
		ナノ情報デバイスセ ミナー2D
		ナノ情報デバイスセ ミナー2E
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4
		フォローアップビ ジット
		研究室ローテーショ ン2 U2
		研究室ローテーショ ン2 U3
研究室ローテーショ ン2 U4		
研究室ローテーショ ン2 U6		
研究室ローテーショ ン2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	天野 浩
		<平成29年4月>
		工学博士
		ナノ情報デバイスセ ミナー2A
		ナノ情報デバイスセ ミナー2B
		ナノ情報デバイスセ ミナー2C
		ナノ情報デバイスセ ミナー2D
		ナノ情報デバイスセ ミナー2E
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4
		研究室ローテーショ ン2 U2
		研究室ローテーショ ン2 U3
		研究室ローテーショ ン2 U4
研究室ローテーショ ン2 U6		
研究室ローテーショ ン2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	天野 浩
		<平成29年4月>
		工学博士
		ナノ情報デバイスセ ミナー2A
		ナノ情報デバイスセ ミナー2B
		ナノ情報デバイスセ ミナー2C
		ナノ情報デバイスセ ミナー2D
		ナノ情報デバイスセ ミナー2E
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4
		研究室ローテーショ ン2 U2
		研究室ローテーショ ン2 U3
		研究室ローテーショ ン2 U4
研究室ローテーショ ン2 U6		
研究室ローテーショ ン2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤巻 朗 <平成29年4月> 工学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤巻 朗 <平成29年4月> 工学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤巻 朗 <平成29年4月> 工学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤巻 朗 <平成29年4月> 工学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	豊田 浩孝 <平成29年4月> 工学博士
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	豊田 浩孝 <平成29年4月> 工学博士
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	豊田 浩孝 <平成29年4月> 工学博士
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	豊田 浩孝 <平成29年4月> 工学博士
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝 <平成29年4月> 工学博士
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	石川 健治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝 <平成29年4月> 工学博士
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	石川 健治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝 <平成29年4月> 工学博士
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	石川 健治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	堀 勝 <平成29年4月> 工学博士
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	教授	関根 誠 <平成31年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A 量子スピン情報セミナー2B 量子スピン情報セミナー2C 量子スピン情報セミナー2D 量子スピン情報セミナー2E (研究指導)
専	准教授	近藤 博基 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A 量子スピン情報セミナー2B 量子スピン情報セミナー2C 量子スピン情報セミナー2D 量子スピン情報セミナー2E (研究指導)
専	准教授	近藤 博基 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A 量子スピン情報セミナー2B 量子スピン情報セミナー2C 量子スピン情報セミナー2D 量子スピン情報セミナー2E (研究指導)
専	准教授	近藤 博基 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E (研究指導)
専	准教授	山下 太郎 <平成30年2月> 理学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	加藤 剛志 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A 量子スピン情報セミナー2B 量子スピン情報セミナー2C 量子スピン情報セミナー2D 量子スピン情報セミナー2E (研究指導)
専	准教授	近藤 博基 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E (研究指導)
専	准教授	山下 太郎 <平成30年2月> 理学博士
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	長尾 全寛 <平成29年4月> 博士(工学) 電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	内山 剛 <平成29年4月> 工学博士 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	新津 葵一 <平成29年4月> 博士(工学) 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E
専	准教授	長尾 全寛 <平成29年4月> 博士(工学) 電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	内山 剛 <平成29年4月> 工学博士 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	新津 葵一 <平成29年4月> 博士(工学) 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E
専	准教授	長尾 全寛 <平成29年4月> 博士(工学) 電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	内山 剛 <平成29年4月> 工学博士 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	新津 葵一 <平成29年4月> 博士(工学) 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E (研究指導)
専	准教授	長尾 全寛 <平成29年4月> 博士(工学) 電子線応用工学セミナー2A 電子線応用工学セミナー2B 電子線応用工学セミナー2C 電子線応用工学セミナー2D 電子線応用工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	内山 剛 <平成29年4月> 工学博士 知能デバイスセミナー2A 知能デバイスセミナー2B 知能デバイスセミナー2C 知能デバイスセミナー2D 知能デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	牧原 克典 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	牧原 克典 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	牧原 克典 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	牧原 克典 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E (研究指導)
専	准教授	堀田 昌宏 <平成30年10月> 博士(工学)
		先端デバイスセミナー2A 先端デバイスセミナー2B 先端デバイスセミナー2C 先端デバイスセミナー2D 先端デバイスセミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E (研究指導)
専	助教	竹家 啓 <平成29年4月> 博士(理学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E (研究指導)
専	助教	竹家 啓 <平成29年4月> 博士(理学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E (研究指導)
専	講師	竹家 啓 <平成29年4月> 博士(理学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	本田 善央 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E (研究指導)
専	講師	竹家 啓 <平成29年4月> 博士(理学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士
		量子光エレクトロニクスセミナー2C
専	助教	久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	山中 真仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士
		量子光エレクトロニクスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	山中 真仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士
		ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	山中 真仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岸本 茂 <平成29年4月> 理工学学士
		ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	久志本 真希 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	山中 真仁 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子光エレクトロニクスセミナー2C 量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出来 真斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2D
専	助教	大田 晃生 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出来 真斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2D
専	助教	大田 晃生 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出来 真斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	村手 宏輔 <平成30年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E
専	助教	大田 晃生 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	出来 真斗 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ情報デバイスセミナー2A ナノ情報デバイスセミナー2B ナノ情報デバイスセミナー2C ナノ情報デバイスセミナー2D ナノ情報デバイスセミナー2E
専	助教	村手 宏輔 <平成30年4月> 博士(工学)
		光エレクトロニクスセミナー2A 光エレクトロニクスセミナー2B 光エレクトロニクスセミナー2C 光エレクトロニクスセミナー2D 光エレクトロニクスセミナー2E
専	助教	大田 晃生 <平成29年4月> 博士(工学)
		機能集積デバイスセミナー2A 機能集積デバイスセミナー2B 機能集積デバイスセミナー2C 機能集積デバイスセミナー2D 機能集積デバイスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E
専	助教	田中 雅光 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B
専	助教	鈴木 陽香 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E
専	助教	田中 雅光 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2A 量子光エレクトロニクスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E
専	助教	鈴木 陽香 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E
専	助教	田中 雅光 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E
専	助教	鈴木 陽香 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	堤 隆嘉 <平成29年5月> 博士(工学)
		ナノプロセスセミナー2A ナノプロセスセミナー2B ナノプロセスセミナー2C ナノプロセスセミナー2D ナノプロセスセミナー2E
専	助教	田中 雅光 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E
専	助教	鈴木 陽香 <平成29年4月> 博士(工学)
		プラズマエレクトロニクスセミナー2A プラズマエレクトロニクスセミナー2B プラズマエレクトロニクスセミナー2C プラズマエレクトロニクスセミナー2D プラズマエレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	廣谷 潤 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	廣谷 潤 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子光エレクトロニクスセミナー2D 量子光エレクトロニクスセミナー2E ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	佐野 京佑 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	廣谷 潤 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	佐野 京佑 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	廣谷 潤 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ電子デバイスセミナー2A ナノ電子デバイスセミナー2B ナノ電子デバイスセミナー2C ナノ電子デバイスセミナー2D ナノ電子デバイスセミナー2E
専	助教	佐野 京佑 <平成29年4月> 博士(工学)
		量子集積デバイスセミナー2A 量子集積デバイスセミナー2B 量子集積デバイスセミナー2C 量子集積デバイスセミナー2D 量子集積デバイスセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士 (工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士 (工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシッ プ2 U2 研究インターンシッ プ2 U3 研究インターンシッ プ2 U4 研究インターンシッ プ2 U6 研究インターンシッ プ2 U8
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士 (工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士 (工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシッ プ2 U2 研究インターンシッ プ2 U3 研究インターンシッ プ2 U4 研究インターンシッ プ2 U6 研究インターンシッ プ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士 (工学) 研究インターンシッ プ2 U2 研究インターンシッ プ2 U3 研究インターンシッ プ2 U4 研究インターンシッ プ2 U6 研究インターンシッ プ2 U8 実験指導体験実習1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップピジット 産学官プロジェクトワーク 実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップピジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップピジット 産学官プロジェクトワーク 実世界データ循環システム特論II
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレンジII フォローアップピジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大島 大輝
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
量子スピン情報セミナー2D		
量子スピン情報セミナー2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	大島 大輝
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
量子スピン情報セミナー2D		
量子スピン情報セミナー2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	助教	大島 大輝
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		量子スピン情報セミナー2A
		量子スピン情報セミナー2B
		量子スピン情報セミナー2C
量子スピン情報セミナー2D		
量子スピン情報セミナー2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
大野雄高、新津葵一、岸本 茂、田中雅光、廣谷 潤、佐野京佑、河口信夫、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、藤井俊彰、武田一哉、井手一郎、
稲垣伸吉

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
岩田 聡、五十嵐信行、須田 淳、西澤典彦、川瀬晃道、大野雄高、天野 浩、豊田浩孝、堀 勝、岸本 茂、久志本真希、出来真斗、田中雅光、
廣谷 潤、河口信夫、古橋 武、佐藤理史、山田陽滋、藤井俊彰、武田一哉、井手一郎、稲垣伸吉
・以下辞任
中里和郎
・以下就任
山下太郎、村手宏輔
・以下担当種別及び職名の変更
竹家 啓、大島大輝

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
山下 太郎、新津 葵一
・以下辞任
石川 健治、河口 信夫、上垣外 正己、大島 大輝
・以下就任
堀田 昌宏、関根 誠、生田 博志
・以下担当種別及び(又は)職名の変更
新津 葵一

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
5	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
13	11	0	11	35	12	9	1	11	33
(13)	(6)	(1)	(11)	(31)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
35	0	0			33	0	0		
(31)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
13	11	0	11	35	13	11	0	11	35
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
35	0	0			35	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{35}{35} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{33} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	助教	大島 大輝	H30.3	選択	量子スピン情報セミナー2A	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任（30）				
				選択	量子スピン情報セミナー2B	①					
				選択	量子スピン情報セミナー2C	①					
				選択	量子スピン情報セミナー2D	①					
				選択	量子スピン情報セミナー2E	①					
2	教授	石川 健治	H31.3	選択	ナノプロセスセミナー2A	①	H31.3.31付け担当教員見直しのため辞任（元）				
				選択	ナノプロセスセミナー2B	①					
				選択	ナノプロセスセミナー2C	①					
				選択	ナノプロセスセミナー2D	①					
				選択	ナノプロセスセミナー2E	①					
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）						後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	10	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{0}{35} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由						
1	教授	中里和郎		選択	知能デバイスセミナー2A	①	H30.3.31付け65歳で定年退職(30)						
				選択	知能デバイスセミナー2B	①							
				選択	知能デバイスセミナー2C	①							
				選択	知能デバイスセミナー2D	①							
				選択	知能デバイスセミナー2E	①							
				選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①							
				選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①							
				選択	グローバルチャレンジI	①							
				選択	フォローアップビジット	①							
				選択	研究室ローテーション2 U2	①							
				選択	研究室ローテーション2 U3	①							
				選択	研究室ローテーション2 U4	①							
				選択	研究室ローテーション2 U6	①							
				選択	研究室ローテーション2 U8	①							
						産学官プロジェクトワーク		①					
合計				後任補充状況の集計									
辞任した教員数				担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)				①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	15	科目	選択	15	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	15	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 電子工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。

・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 情報・通信工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	1 (-) [-]	8 (-) [-]	1 (-) [-]	8 (-) [-]	2 (-) [-]	0.62倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [1]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [1]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [1]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 (-) [0]	1 (-) [0]	6 (-) [1]	1 (-) [0]	2 (-) [1]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.75		0.87		0.25				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [0] (-)	1 [0] (-)	6 [1] (-)	1 [0] (-)	2 [1] (-)	1 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		5 [0] (-)	1 [0] (-)	6 [1] (-)	1 [0] (-)	
3年次			/				/		/		5 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [0] (-)	13 [1] (-)	15 [2] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	13人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	15人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{13} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	画像情報学セミナー2A	1前		2		1	1					
	画像情報学セミナー2B	1後		2		1	1					
	画像情報学セミナー2C	2前		2		1	1					
	画像情報学セミナー2D	2後		2		1	1					
	画像情報学セミナー2E	3前		2		1	1					
	情報システムセミナー2A	1前		2		1			1			
	情報システムセミナー2B	1後		2		1			1			
	情報システムセミナー2C	2前		2		1			1			
	情報システムセミナー2D	2後		2		1			1			
	情報システムセミナー2E	3前		2		1			1			
	情報ネットワークセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2E	3前		2		1	1		1			
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2A	1前		2		1			1			
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2B	1後		2		1			1			
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2C	2前		2		1			1			
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2D	2後		2		1			1			
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2E	3前		2		1			1			
	インテリジェントシステムセミナー2A	1前		2		1	1					
	インテリジェントシステムセミナー2B	1後		2		1	1					
	インテリジェントシステムセミナー2C	2前		2		1	1					
	インテリジェントシステムセミナー2D	2後		2		1	1					
	インテリジェントシステムセミナー2E	3前		2		1	1					
	情報制御工学セミナー2A	1前		2		1	1					
	情報制御工学セミナー2B	1後		2		1	1					
	情報制御工学セミナー2C	2前		2		1	1					
	情報制御工学セミナー2D	2後		2		1	1					
	情報制御工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	数理情報工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	数理情報工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	数理情報工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	数理情報工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	数理情報工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	無線通信システムセミナー2A	1前		2		2	1		1			
	無線通信システムセミナー2B	1後		2		2	1		1			
	無線通信システムセミナー2C	2前		2		2	1		1			
	無線通信システムセミナー2D	2後		2		2	1		1			
	無線通信システムセミナー2E	3前		2		2	1		1			
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		8						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		8						
	グローバルチャレンジ II	1・2前・後		2		8						
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		8						
小計(44科目)		-	0	90	0	77	30	0	25	0	0	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	画像情報学セミナー2A	1前		2		1	2					
	画像情報学セミナー2B	1後		2		1	2					
	画像情報学セミナー2C	2前		2		1	2					
	画像情報学セミナー2D	2後		2		1	2					
	画像情報学セミナー2E	3前		2		1	2					
	情報システムセミナー2A	1前		2		1				1		
	情報システムセミナー2B	1後		2		1				1		
	情報システムセミナー2C	2前		2		1				1		
	情報システムセミナー2D	2後		2		1				1		
	情報システムセミナー2E	3前		2		1				1		
	情報ネットワークセミナー2A(未開講)	1前		2		0	1			1		
	情報ネットワークセミナー2B(未開講)	1後		2		0	1			1		
	情報ネットワークセミナー2C(未開講)	2前		2		0	1			1		
	情報ネットワークセミナー2D(未開講)	2後		2		0	1			1		
	情報ネットワークセミナー2E(未開講)	3前		2		0	1			1		
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2A(未開講)	1前		2		1	0			0		
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2B(未開講)	1後		2		1	0			0		
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2C(未開講)	2前		2		1	0			0		
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2D(未開講)	2後		2		1	0			0		
	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2E(未開講)	3前		2		1	0			0		
	インテリジェントシステムセミナー2A(未開講)	1前		2		1	0			1		
	インテリジェントシステムセミナー2B(未開講)	1後		2		1	0			1		
	インテリジェントシステムセミナー2C	2前		2		1	0			1		
	インテリジェントシステムセミナー2D	2後		2		1	0			1		
	インテリジェントシステムセミナー2E(未開講)	3前		2		1	0			1		
	情報制御工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			0		
	情報制御工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			0		
	情報制御工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			0		
	情報制御工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1			0		
	情報制御工学セミナー2E	3前		2		1	1			0		
	数理情報工学セミナー2A	1前		2		1	2			1		
	数理情報工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	2			1		
	数理情報工学セミナー2C	2前		2		1	2			1		
	数理情報工学セミナー2D	2後		2		1	2			1		
	数理情報工学セミナー2E	3前		2		1	2			1		
	無線通信システムセミナー2A	1前		2		2	1			1		
	無線通信システムセミナー2B	1後		2		2	1			1		
	無線通信システムセミナー2C	2前		2		2	1			1		
	無線通信システムセミナー2D	2後		2		2	1			1		
	無線通信システムセミナー2E(未開講)	3前		2		2	1			1		
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		7						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		7						
	グローバルチャレンジ II	1・2前・後		2		0						2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		0						2
小計(44科目)		-	0	90	0	54	35	0	25	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1						
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(14科目)		-	0	52	0	62	1	0	0	0	0	
(研究指導)		-				8	8					
合計(58科目)		-	0	142	0	139	31	0	25	0	0	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		7						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		7						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		7						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		7						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		7						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(14科目)		-	0	52	0	35	0	0	0	0	9	
(研究指導)		-				7	7					
合計(58科目)		-	0	142	0	89	35	0	25	0	13	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	画像情報学セミナー2A	1前		2		1	1					
	画像情報学セミナー2B	1後		2		1	1					
	画像情報学セミナー2C	2前		2		1	1					
	画像情報学セミナー2D	2後		2		1	1					
	画像情報学セミナー2E	3前		2		1	1					
	情報システムセミナー2A	1前		2		1			1			
	情報システムセミナー2B	1後		2		1			1			
	情報システムセミナー2C	2前		2		1			1			
	情報システムセミナー2D	2後		2		1			1			
	情報システムセミナー2E	3前		2		1			1			
	情報ネットワークセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	情報ネットワークセミナー2E	3前		2		1	1		1			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2C	2前		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2D	2後		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2E	3前		2		1	1	0	0			
	インテリジェントシステムセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1	1	1			
	インテリジェントシステムセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1	1	1			
	インテリジェントシステムセミナー2C	2前		2		1	1	1	1			
	インテリジェントシステムセミナー2D	2後		2		1	1	1	1			
	インテリジェントシステムセミナー2E	3前		2		1	1	1	1			
	情報制御工学セミナー2A	1前		2		1	1	1	1			
	情報制御工学セミナー2B	1後		2		1	1	1	1			
	情報制御工学セミナー2C	2前		2		1	1	1	1			
	情報制御工学セミナー2D	2後		2		1	1	1	1			
	情報制御工学セミナー2E	3前		2		1	1	1	1			
	数理情報工学セミナー2A	1前		2		1	1	1	1			
	数理情報工学セミナー2B	1後		2		1	1	1	1			
	数理情報工学セミナー2C	2前		2		1	1	1	1			
	数理情報工学セミナー2D	2後		2		1	1	1	1			
	数理情報工学セミナー2E	3前		2		1	1	1	1			
	無線通信システムセミナー2A(未開講)	1前		2		2	1	1	1			
	無線通信システムセミナー2B(未開講)	1後		2		2	1	1	1			
	無線通信システムセミナー2C	2前		2		2	1	1	1			
	無線通信システムセミナー2D	2後		2		2	1	1	1			
	無線通信システムセミナー2E	3前		2		2	1	1	1			
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		8						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		8						
	グローバルチャレンジ II	1・2前・後		2		8						2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		8						2
小計(44科目)		-	0	90	0	77	35	0	30	0	0	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	画像情報学セミナー2A	1前		2		1	3					
	画像情報学セミナー2B	1後		2		1	3					
	画像情報学セミナー2C	2前		2		1	3					
	画像情報学セミナー2D	2後		2		1	3					
	画像情報学セミナー2E	3前		2		1	3					
	情報システムセミナー2A	1前		2		1				1		
	情報システムセミナー2B	1後		2		1				1		
	情報システムセミナー2C	2前		2		1				1		
	情報システムセミナー2D	2後		2		1				1		
	情報システムセミナー2E	3前		2		1				1		
	情報ネットワークセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	情報ネットワークセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	情報ネットワークセミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			1		
	情報ネットワークセミナー2D(未開講)	2後		2		1	1			1		
	情報ネットワークセミナー2E	3前		2		1	1			1		
	コンピュータアーキテクチャセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2C(未開講)	2前		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2D(未開講)	2後		2		1	1	0	0			
	コンピュータアーキテクチャセミナー2E	3前		2		1	1	0	0			
	インテリジェントシステムセミナー2A	1前		2		1	1	1	1	1		
	インテリジェントシステムセミナー2B	1後		2		1	1	1	1	1		
	インテリジェントシステムセミナー2C(未開講)	2前		2		1	1	1	1	1		
	インテリジェントシステムセミナー2D(未開講)	2後		2		1	1	1	1	1		
	インテリジェントシステムセミナー2E	3前		2		1	1	1	1	1		
	情報制御工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1	0	0			
	情報制御工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1	0	0			
	情報制御工学セミナー2C	2前		2		1	1	0	0			
	情報制御工学セミナー2D	2後		2		1	1	0	0			
	情報制御工学セミナー2E	3前		2		1	1	0	0			
	数理情報工学セミナー2A	1前		2		1	1	1	1	1		
	数理情報工学セミナー2B	1後		2		1	1	1	1	1		
	数理情報工学セミナー2C	2前		2		1	1	1	1	1		
	数理情報工学セミナー2D	2後		2		1	1	1	1	1		
	数理情報工学セミナー2E	3前		2		1	1	1	1	1		
	無線通信システムセミナー2A	1前		2		2	1	1	1	1		
	無線通信システムセミナー2B	1後		2		2	1	1	1	1		
	無線通信システムセミナー2C(未開講)	2前		2		2	1	1	1	1		
	無線通信システムセミナー2D	2後		2		2	1	1	1	1		
	無線通信システムセミナー2E	3前		2		2	1	1	1	1		
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		8						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		8						
	グローバルチャレンジ II	1・2前・後		2		8						2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		8						2
小計(44科目)		-	0	90	0	61	45	0	20	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		4						4
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(14科目)		-	0	52	0	52	0	0	0	0	0	11
(研究指導)		-				8	8					
合計(58科目)		-	0	142	0	129	35	0	30	0	0	11
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション2 U8	1・2前・後		8		8						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		1						1
小計(14科目)		-	0	52	0	41	0	0	0	0	0	10
(研究指導)		-				8	8					
合計(58科目)		-	0	142	0	102	45	0	20	0	0	14
卒業要件及び履修方法												
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。 履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「画像情報学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「画像情報学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「画像情報学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「画像情報学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「画像情報学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「情報ネットワークセミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「情報ネットワークセミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「情報ネットワークセミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「情報ネットワークセミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「情報ネットワークセミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピュータ・アーキテクチャセミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピュータ・アーキテクチャセミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピュータ・アーキテクチャセミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピュータ・アーキテクチャセミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「コンピュータ・アーキテクチャセミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インテリジェントシステムセミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インテリジェントシステムセミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インテリジェントシステムセミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インテリジェントシステムセミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「インテリジェントシステムセミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数理情報工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数理情報工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数理情報工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数理情報工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「数理情報工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授7」に、「准教授8」から「准教授7」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	58 科目	0 科目	58 科目	0 科目	58 科目	0 科目	58 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{58} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学研究科 情報・通信工学専攻			4 5 -4-3 -4-2 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 情報・通信 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,109 (1,216)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

（注）・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)		昭和24年度			
経営学科	4	65		260	学士(経済学)		昭和24年度			
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報文化学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報文化学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報文化学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数理学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—		—		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 7	— —	54 13	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 17	— —	132 33	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学) 修士(学術)	—	平成3年度	平成30年度より学生募集停止		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学) 修士(学術)	—	平成4年度	平成30年度より学生募集停止		
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —	平成5年度	平成29年度より学生募集停止		
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学) 修士(学術)	1.13	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	44	博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61				
多元数理科学研究科 多元数理科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	47 30	— —	94 90	修士(数理学) 博士(数理学)	1.06 0.49	平成7年度	平成7年度		愛知県名古屋市千種区不老町1
国際言語文化研究科								平成10年度		愛知県名古屋市千種区不老町1
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学) 修士(学術)	—	平成10年度			
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —	平成10年度			

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 秀樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 21 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 22 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 23 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 24 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 25 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 26 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 秀樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 21 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 22 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 23 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 24 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 25 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 26 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 秀樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 21 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 22 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 23 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 24 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 25 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 26 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	安藤 秀樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 21 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 22 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 23 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 24 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 25 コンピュータ・ネットワーク キテクチャセミナー 26 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セ ミナー2A 数理情報工学セ ミナー2B 数理情報工学セ ミナー2C 数理情報工学セ ミナー2D 数理情報工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セ ミナー2A 数理情報工学セ ミナー2B 数理情報工学セ ミナー2C 数理情報工学セ ミナー2D 数理情報工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セ ミナー2A 数理情報工学セ ミナー2B 数理情報工学セ ミナー2C 数理情報工学セ ミナー2D 数理情報工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セ ミナー2A 数理情報工学セ ミナー2B 数理情報工学セ ミナー2C 数理情報工学セ ミナー2D 数理情報工学セ ミナー2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 実世界データ循環システム特論II 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		情報ネットワークセ ミナー2A 情報ネットワークセ ミナー2B 情報ネットワークセ ミナー2C 情報ネットワークセ ミナー2D 情報ネットワークセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅠⅠ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		情報ネットワークセ ミナー2A 情報ネットワークセ ミナー2B 情報ネットワークセ ミナー2C 情報ネットワークセ ミナー2D 情報ネットワークセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅠⅠ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		情報ネットワークセ ミナー2A 情報ネットワークセ ミナー2B 情報ネットワークセ ミナー2C 情報ネットワークセ ミナー2D 情報ネットワークセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 健一 <平成29年4月> 工学博士
		情報ネットワークセ ミナー2A 情報ネットワークセ ミナー2B 情報ネットワークセ ミナー2C 情報ネットワークセ ミナー2D 情報ネットワークセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 理史
		<平成29年4月> 博士(工学)
		インテリジェントシ ステムセミナー2A インテリジェントシ ステムセミナー2B インテリジェントシ ステムセミナー2C インテリジェントシ ステムセミナー2D インテリジェントシ ステムセミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論Ⅱ 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 理史
		<平成29年4月> 博士(工学)
		インテリジェントシ ステムセミナー2A インテリジェントシ ステムセミナー2B インテリジェントシ ステムセミナー2C インテリジェントシ ステムセミナー2D インテリジェントシ ステムセミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論Ⅱ 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 理史
		<平成29年4月> 博士(工学)
		インテリジェントシ ステムセミナー2A インテリジェントシ ステムセミナー2B インテリジェントシ ステムセミナー2C インテリジェントシ ステムセミナー2D インテリジェントシ ステムセミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐藤 理史
		<平成29年4月> 博士(工学)
		インテリジェントシ ステムセミナー2A インテリジェントシ ステムセミナー2B インテリジェントシ ステムセミナー2C インテリジェントシ ステムセミナー2D インテリジェントシ ステムセミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山里 敬也
		<平成29年4月>
		博士(工学)
専	教授	無線通信システムセ ミナー2A 無線通信システムセ ミナー2B 無線通信システムセ ミナー2C 無線通信システムセ ミナー2D 無線通信システムセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U4 グローバルチャレン ジII 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山里 敬也
		<平成29年4月>
		博士(工学)
専	教授	無線通信システムセ ミナー2A 無線通信システムセ ミナー2B 無線通信システムセ ミナー2C 無線通信システムセ ミナー2D 無線通信システムセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		山里 敬也
		<平成29年4月>
		博士(工学)
専	教授	無線通信システムセ ミナー2A 無線通信システムセ ミナー2B 無線通信システムセ ミナー2C 無線通信システムセ ミナー2D 無線通信システムセ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー 2A 画像情報学セミナー 2B 画像情報学セミナー 2C 画像情報学セミナー 2D 画像情報学セミナー 2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 グローバルチャレ ンジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー 2A 画像情報学セミナー 2B 画像情報学セミナー 2C 画像情報学セミナー 2D 画像情報学セミナー 2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 グローバルチャレ ンジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー 2A 画像情報学セミナー 2B 画像情報学セミナー 2C 画像情報学セミナー 2D 画像情報学セミナー 2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー 2A 画像情報学セミナー 2B 画像情報学セミナー 2C 画像情報学セミナー 2D 画像情報学セミナー 2E 国際協働プロジェ クトセミナーII U2 国際協働プロジェ クトセミナーII U4 研究室ローテーシ ョン2 U2 研究室ローテーシ ョン2 U3 研究室ローテーシ ョン2 U4 研究室ローテーシ ョン2 U6 研究室ローテーシ ョン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	道木 慎二 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 正昭 <平成29年4月> 工学博士 無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
		塩谷 亮太 <平成29年4月> 博士(情報理工学) (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 正昭 <平成29年4月> 工学博士 無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
		塩谷 亮太 <平成29年4月> 博士(情報理工学) コンピュータ・アーキテクチャセミナー2A コンピュータ・アーキテクチャセミナー2B コンピュータ・アーキテクチャセミナー2C コンピュータ・アーキテクチャセミナー2D コンピュータ・アーキテクチャセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 正昭 <平成29年4月> 工学博士 無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)
		塩谷 亮太 <平成29年4月> 博士(情報理工学) コンピュータ・アーキテクチャセミナー2A コンピュータ・アーキテクチャセミナー2B コンピュータ・アーキテクチャセミナー2C コンピュータ・アーキテクチャセミナー2D コンピュータ・アーキテクチャセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	片山 正昭 <平成29年4月> 工学博士 無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	岩田 哲 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	吉川 大弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	岩田 哲 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	吉川 大弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	岩田 哲 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	吉川 大弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	岡田 啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	岩田 哲 <平成29年4月> 博士(工学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	吉川 大弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報制御工学セミナー2A 情報制御工学セミナー2B 情報制御工学セミナー2C 情報制御工学セミナー2D 情報制御工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松崎 拓也 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		インテリジェントシステムセミナー2A インテリジェントシステムセミナー2B インテリジェントシステムセミナー2C インテリジェントシステムセミナー2D インテリジェントシステムセミナー2E (研究指導)
		松本 隆太郎 <平成29年4月> 博士(学術)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	長谷川 浩 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松崎 拓也 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		インテリジェントシステムセミナー2A インテリジェントシステムセミナー2B インテリジェントシステムセミナー2C インテリジェントシステムセミナー2D インテリジェントシステムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	松本 隆太郎 <平成29年4月> 博士(学術)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	長谷川 浩 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松崎 拓也 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		インテリジェントシステムセミナー2A インテリジェントシステムセミナー2B インテリジェントシステムセミナー2C インテリジェントシステムセミナー2D インテリジェントシステムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	松本 隆太郎 <平成29年4月> 博士(学術)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	長谷川 浩 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松本 隆太郎 <平成29年4月> 博士(学術)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	長谷川 浩 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 桂太 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺谷 メヘルダド <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D
専	助教	ジメネス フェリックス <平成29年4月> 博士(工学)
		未定

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 桂太 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺谷 メヘルダド <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D
専	助教	ジメネス フェリックス <平成29年4月> 博士(工学)
		情報制御工学セミナー2A

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 桂太 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	寺谷 メヘルダド <平成29年4月> 博士(工学)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E
専	助教	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	高橋 桂太 <平成29年4月> 博士(情報理工学)
		画像情報学セミナー2A 画像情報学セミナー2B 画像情報学セミナー2C 画像情報学セミナー2D 画像情報学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	米澤 拓郎 <平成31年3月> 博士(政策・メディア)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E (研究指導)
専	助教	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 玲 <平成29年4月> 博士(教育学)
		未定
専	助教	舟洞 佑記 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E
専	助教	小林 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 玲 <平成29年4月> 博士(教育学)
		インテリジェントシステムセミナー2E
専	助教	舟洞 佑記 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E
専	助教	小林 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 玲 <平成29年4月> 博士(教育学)
		インテリジェントシステムセミナー2A インテリジェントシステムセミナー2B インテリジェントシステムセミナー2C インテリジェントシステムセミナー2D インテリジェントシステムセミナー2E
専	助教	舟洞 佑記 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E
専	助教	小林 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 玲 <平成29年4月> 博士(教育学)
		インテリジェントシステムセミナー2A インテリジェントシステムセミナー2B インテリジェントシステムセミナー2C インテリジェントシステムセミナー2D インテリジェントシステムセミナー2E
専	助教	舟洞 佑記 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報システムセミナー2A 情報システムセミナー2B 情報システムセミナー2C 情報システムセミナー2D 情報システムセミナー2E
専	助教	小林 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		無線通信システムセミナー2A 無線通信システムセミナー2B 無線通信システムセミナー2C 無線通信システムセミナー2D 無線通信システムセミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 洋二郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E
専	助教	櫻田 健 <平成29年4月> 博士(情報科学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2E
専	助教	廣井 慧 <平成29年4月> 博士(メディアデザイン学)
		数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 洋二郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E
専	助教	櫻田 健 <平成29年4月> 博士(情報科学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2E
専	助教	廣井 慧 <平成29年4月> 博士(メディアデザイン学)
		数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2D
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 洋二郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E
兼任	助教	廣井 慧 <平成29年4月> 博士(メディアデザイン学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	森 洋二郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		情報ネットワークセミナー2A 情報ネットワークセミナー2B 情報ネットワークセミナー2C 情報ネットワークセミナー2D 情報ネットワークセミナー2E
専	助教	廣井 慧 <平成29年4月> 博士(メディアデザイン学)
		数理情報工学セミナー2A 数理情報工学セミナー2B 数理情報工学セミナー2C 数理情報工学セミナー2D 数理情報工学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学)
		グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		稲垣 伸吉 兼担 准教授 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
		永野 修作 兼担 准教授 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永野 修作 兼担 准教授 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		永野 修作 兼担 准教授 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注)
- ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
山里 敬也, 塩谷 亮太, 松本 隆太郎, ジメネス フェリックス, 宮田 玲, 関 浩之, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 武田 一哉, 稲垣 伸吉, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
安藤 秀樹, 河口 信夫, 古橋 武, 佐藤 健一, 佐藤 理史, 山里 敬也, 藤井 俊彰, 道木 慎二, 片山 正昭, 塩谷 亮太, 松本 隆太郎, 高橋 桂太, PANAHPOUR TEHRANI Mehrdad, 宮田 玲, 廣井 慧, 武田 一哉
・以下辞任
ジメネス フェリックス, 櫻田 健, 関 浩之, 山田 陽滋, 稲垣 伸吉
・以下就任
井手 一郎

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
河口 信夫
・以下辞任
佐藤 健一, 塩谷 亮太, 松崎 拓也, 寺谷 メヘルダド, 上垣外 正己
・以下就任
米澤 拓郎, 生田 博志
・以下担当種別の変更
廣井 慧

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
8	8	0	7	23	8	7	0	5	20
(9)	(9)	()	(7)	(25)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
23	0	0			20	0	0		
(25)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
8	8	0	7	23	8	8	0	7	23
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
23	0	0			23	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{20} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3)-① 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由			
		該当なし								
合計(D)						後任補充状況の集計(E)				
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

--

(3)-② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	ジメネス フェリックス	H30.3	選択	情報制御工学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任(30)			
2	助教	櫻田 健	H30.3	選択	数理情報工学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任(30)			
				選択	数理情報工学セミナー2C	①				
				選択	数理情報工学セミナー2E	①				
3	助教	廣井 慧	H30.3	選択	数理情報工学セミナー2B	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任(30)			
				選択	数理情報工学セミナー2D	①				
4	准教授	塩谷 亮太	H30.5	選択	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2A	①	H30.5.31付け退職のため辞任(元)			
				選択	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2B	①				
				選択	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2C	①				
				選択	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2D	①				
				選択	コンピュータ・アーキテクチャセミナー2E	①				
				—	(研究指導)					
5	准教授	寺谷 メヘルダド	H31.1	選択	画像情報学セミナー2A	①	H31.1.31付け担当教員見直しのため辞任(元)			
				選択	画像情報学セミナー2B	①				
				選択	画像情報学セミナー2C	①				
				選択	画像情報学セミナー2D	①				
				選択	画像情報学セミナー2E	①				
6	准教授	松崎 拓也	H31.3	選択	インテリジェントシステムセミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)			
				選択	インテリジェントシステムセミナー2B	①				
				選択	インテリジェントシステムセミナー2C	①				
				選択	インテリジェントシステムセミナー2D	①				
				選択	インテリジェントシステムセミナー2E	①				
				—	(研究指導)					
合計(F)						後任補充状況の集計(G)				
辞任した教員数				担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)	②の合計数(b)	③の合計数(c)		
6	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	21	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	21	科目	計	21	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
6 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	21 科目	選択	21 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	21 科目	計	21 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{6}{23} = 26.08 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
1	教授	佐藤 健一	選択	情報ネットワークセミナー2A	①	H31.3.31付け定年退職のため辞任(元)		
			選択	情報ネットワークセミナー2B	①			
			選択	情報ネットワークセミナー2C	①			
			選択	情報ネットワークセミナー2D	①			
			選択	情報ネットワークセミナー2E	①			
			選択	国際協働プロジェクトセミナー II U2	①			
			選択	国際協働プロジェクトセミナー II U4	①			
			選択	研究室ローテーション2 U2	①			
			選択	研究室ローテーション2 U3	①			
			選択	研究室ローテーション2 U4	①			
			選択	研究室ローテーション2 U6	①			
			選択	研究室ローテーション2 U8	①			
			—	(研究指導)				
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
1 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	12 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	12 科目	計	12 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 情報・通信工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人入入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 機械システム工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	14人	— 年次人	42人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	14 (-) [-]	7 (-) [-]	14 (-) [-]	7 (-) [-]	14 (-) [-]	6 (-) [-]	0.61倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [4]	11 (-) [4]	7 (-) [3]	6 (-) [3]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	7 (-) [4]	8 (-) [2]	7 (-) [3]	5 (-) [2]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	5 (-) [2]	7 (-) [2]	7 (-) [3]	5 (-) [2]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 (-) [3]	4 (-) [1]	6 (-) [2]	7 (-) [3]	4 (-) [1]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.64		0.92		0.28				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [3] (-)	4 [1] (-)	6 [2] (-)	7 [3] (-)	4 [1] (-)	7 [3] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		5 [3] (-)	4 [1] (-)	6 [2] (-)	4 [1] (-)	
3年次			/				/		/		5 [3] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [4] (-)		22 [9] (-)		26 [10] (0)		

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	9人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	22人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	26人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{22} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{26} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 機械システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	固体力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	固体力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	固体力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	固体力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	固体力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	安全知能学セミナー2 A	1前		2		1			1		1	
	安全知能学セミナー2 B	1後		2		1			1		1	
	安全知能学セミナー2 C	2前		2		1			1		1	
	安全知能学セミナー2 D	2後		2		1			1		1	
	安全知能学セミナー2 E	3前		2		1			1		1	
ヒューマンメカニクスセミナー2 A	1前		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 B	1後		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 C	2前		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 D	2後		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 E	3前		2		1			1				
システム制御セミナー2 A	1前		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 B	1後		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 C	2前		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 E	3前		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 A	1前		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 B	1後		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 C	2前		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 E	3前		2		1	1		1				

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	固体力学セミナー2 A (未開講)	1前		2		1	0		0			
	固体力学セミナー2 B (未開講)	1後		2		1	0		0			
	固体力学セミナー2 C (未開講)	2前		2		1	0		0			
	固体力学セミナー2 D (未開講)	2後		2		1	0		0			
	固体力学セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	0		0			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 A (未開講)	1前		2		1	2		0			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 B (未開講)	1後		2		1	2		0			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 C (未開講)	2前		2		1	2		0			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 D (未開講)	2後		2		1	2		0			
	高温エネルギー変換工学セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	2		0			
	統計流体工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 C (未開講)	2前		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 D (未開講)	2後		2		1	1		1			
	統計流体工学セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	伝熱・燃焼工学セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	1		1			
	バイオメカニクスセミナー2 A (未開講)	1前		2		1	0		1			
	バイオメカニクスセミナー2 B (未開講)	1後		2		1	0		1			
	バイオメカニクスセミナー2 C (未開講)	2前		2		1	0		1			
	バイオメカニクスセミナー2 D (未開講)	2後		2		1	0		1			
	バイオメカニクスセミナー2 E (未開講)	3前		2		1	0		1			
	計算力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 B (未開講)	1後		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 C (未開講)	2前		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	計算力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
	機械力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
	安全知能学セミナー2 A	1前		2		1	1	0	1	0		0
	安全知能学セミナー2 B	1後		2		1	1	0	1	0		0
	安全知能学セミナー2 C	2前		2		1	1	0	1	0		0
	安全知能学セミナー2 D	2後		2		1	1	0	1	0		0
	安全知能学セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	1	0	1	0		0
ヒューマンメカニクスセミナー2 A	1前		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 B	1後		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 C (未開講)	2前		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 D (未開講)	2後		2		1			1				
ヒューマンメカニクスセミナー2 E (未開講)	3前		2		1			1				
システム制御セミナー2 A	1前		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 B (未開講)	1後		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 C	2前		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		1				
システム制御セミナー2 E (未開講)	3前		2		1	1		1				
生体システム制御セミナー2 A (未開講)	1前		2		0	1		0				
生体システム制御セミナー2 B (未開講)	1後		2		0	1		0				
生体システム制御セミナー2 C (未開講)	2前		2		0	1		0				
生体システム制御セミナー2 D (未開講)	2後		2		0	1		0				
生体システム制御セミナー2 E (未開講)	3前		2		0	1		0				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	モビリティシステムセミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 B	1後		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2			13				
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4			13				
	グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2			8				
	フォローアップビジット	2・3前・後		2			8				
小計(64科目)		—	0	130	0	102	50	0	60	0	5
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			1				
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		1					
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2			13				
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3			13				
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4			13				
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6			13				
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8			13				
	医工連携セミナー	1・2・3前		2			5				
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2			8				
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2			8				
小計(15科目)		—	0	54	0	92	1	0	0	0	0
(研究指導)		—		—		13	11				
合計(79科目)		—	0	184	0	194	51	0	60	0	5
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士學位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	モビリティシステムセミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 B (未開講)	1後		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	モビリティシステムセミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2			11				
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4			11				
	グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2			0				2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2			0				2
小計(64科目)		—	0	130	0	77	50	0	45	0	4
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2			11				
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3			11				
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4			11				
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6			11				
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8			11				
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0					5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0	0				1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(15科目)		—	0	54	0	55	0	0	0	0	14
(研究指導)		—		—		11	10				
合計(79科目)		—	0	184	0	132	50	0	45	0	18
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士學位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>											

【平成29年度】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	固体力学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	0		0		
	固体力学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	0		0		
	固体力学セミナー2 C	2前		2		1	0		0		
	固体力学セミナー2 D	2後		2		1	0		0		
	固体力学セミナー2 E	3前		2		1	0		0		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	機械力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	機械力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1		
機械力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
機械力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
機械力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
安全知能学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1		1	1		0	
安全知能学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1		1	1		0	
安全知能学セミナー2 C	2前		2		1		1	1		0	
安全知能学セミナー2 D	2後		2		1		1	1		0	
安全知能学セミナー2 E	3前		2		1		1	1		0	
ヒューマンメカニクスセミナー2 A(未開講)	1前		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 B(未開講)	1後		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 C	2前		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 D	2後		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 E	3前		2		1		1	1			
システム制御セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
生体システム制御セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		0			
生体システム制御セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		0			
生体システム制御セミナー2 C	2前		2		1	1		0			
生体システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		0			
生体システム制御セミナー2 E	3前		2		1	1		0			
モビリティシステムセミナー2 A	1前		2		1	1		1			
モビリティシステムセミナー2 B	1後		2		1	1		1			
モビリティシステムセミナー2 C	2前		2		1	1		1			
モビリティシステムセミナー2 D	2後		2		1	1		1			
モビリティシステムセミナー2 E	3前		2		1	1		1			
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2			11					
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4			11					
グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2			8					2
フォローアップビジット	2・3前・後		2			8					2
小計(64科目)			0	130	0	98	45	5	50	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	固体力学セミナー2 A(未開講)	1前		2		0	1		0		
	固体力学セミナー2 B(未開講)	1後		2		0	1		0		
	固体力学セミナー2 C(未開講)	2前		2		0	1		0		
	固体力学セミナー2 D(未開講)	2後		2		0	1		0		
	固体力学セミナー2 E	3前		2		0	1		0		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	高温エネルギー変換工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	統計流体工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 B	1後		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	伝熱・燃焼工学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	バイオメカニクスセミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1		
	計算力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1		
	機械力学セミナー2 A	1前		2		1	1		1		
	機械力学セミナー2 B	1後		2		1	1		1		
機械力学セミナー2 C	2前		2		1	1		1			
機械力学セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
機械力学セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
安全知能学セミナー2 A	1前		2		1	1	0	1		0	
安全知能学セミナー2 B	1後		2		1	1	0	1		0	
安全知能学セミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1	0	1		0	
安全知能学セミナー2 D	2後		2		1	1	0	1		0	
安全知能学セミナー2 E	3前		2		1	1	0	1		0	
ヒューマンメカニクスセミナー2 A(未開講)	1前		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 B(未開講)	1後		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 C(未開講)	2前		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 D(未開講)	2後		2		1		1	1			
ヒューマンメカニクスセミナー2 E	3前		2		1		1	1			
システム制御セミナー2 A(未開講)	1前		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 B(未開講)	1後		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 C(未開講)	2前		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 D	2後		2		1	1		1			
システム制御セミナー2 E	3前		2		1	1		1			
生体システム制御セミナー2 A(未開講)	1前		2			1		0			
生体システム制御セミナー2 B(未開講)	1後		2			1		0			
生体システム制御セミナー2 C(未開講)	2前		2			1		0			
生体システム制御セミナー2 D(未開講)	2後		2			1		0			
生体システム制御セミナー2 E	3前		2			1		0			
モビリティシステムセミナー2 A	1前		2			1	1	1			
モビリティシステムセミナー2 B	1後		2			1	1	1			
モビリティシステムセミナー2 C	2前		2			1	1	1			
モビリティシステムセミナー2 D	2後		2			1	1	1			
モビリティシステムセミナー2 E	3前		2			1	1	1			
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2				10				
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4				10				
グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2				0				2
フォローアップビジット	2・3前・後		2				0				2
小計(64科目)			0	130	0	70	55	0	50	0	4

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		11						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		11						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		11						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		11						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		11						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		1	1					6
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(15科目)			0	54	0	64	1	0	0	0	0	18
(研究指導)						11	9					
合計(79科目)			0	184	0	162	46	5	50	0	0	18
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		10						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		10						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		10						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		10						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		10						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0	0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(15科目)			0	54	0	50	0	0	0	0	0	16
(研究指導)						10	9					
合計(79科目)			0	184	0	120	55	0	50	0	0	20
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に、兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授5」に、兼任・兼担の教員を「0」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授1」に、「准教授0」から「准教授1」に、兼任・兼担の教員を「0」から「6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授13」から「教授11」に、「准教授11」から「准教授9」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「安全知能学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生体システム制御セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「グローバルチャレンジⅡ」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フォローアップビジット」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「6」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授11」から「教授10」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「固体力学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授0」から「教授1」に、「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高温エネルギー変換工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高温エネルギー変換工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高温エネルギー変換工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高温エネルギー変換工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「高温エネルギー変換工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授2」に、「助教1」から「助教0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオメカニクスセミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオメカニクスセミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオメカニクスセミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオメカニクスセミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「バイオメカニクスセミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授10」から「教授11」に、「准教授9」から「准教授10」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	79 科目	0 科目	79 科目	0 科目	79 科目	0 科目	79 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{79} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考	
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡		
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡		
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡		
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡		
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡		
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)		
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		大学全体
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）
	工学研究科 機械システム工学専攻			60 -58 -59 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点
	工学研究科 機械システム 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数			大学全体
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次
		千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科									昭和28年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
森林・資材科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.09	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
(博士後期課程)	3	7	—	13	博士(農学)	0.46				
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.11	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(農学)	0.60				
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	0.98	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	7	—	14	博士(農学)	0.21				
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.04	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
(博士後期課程)	3	17	—	33	博士(農学)	0.57				
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	44	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61				
多元数理科学研究科								平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 機械システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	井上 剛志	専	教授	井上 剛志	専	教授	井上 剛志	専	教授	井上 剛志
		<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>			<平成29年4月>
		博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)			博士(工学)
		機械力学セミナー2A			機械力学セミナー2A			機械力学セミナー2A			機械力学セミナー2A
		機械力学セミナー2B			機械力学セミナー2B			機械力学セミナー2B			機械力学セミナー2B
		機械力学セミナー2C			機械力学セミナー2C			機械力学セミナー2C			機械力学セミナー2C
		機械力学セミナー2D			機械力学セミナー2D			機械力学セミナー2D			機械力学セミナー2D
		機械力学セミナー2E			機械力学セミナー2E			機械力学セミナー2E			機械力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2			国際協働プロジェクトセミナーII U2			国際協働プロジェクトセミナーII U2			国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4			国際協働プロジェクトセミナーII U4			国際協働プロジェクトセミナーII U4			国際協働プロジェクトセミナーII U4
		グローバルチャレンジII			グローバルチャレンジII			グローバルチャレンジII			グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット			フォローアップビジット			フォローアップビジット			フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2			研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3			研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4			研究室ローテーション2 U4			研究室ローテーション2 U4			研究室ローテーション2 U4
研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6	研究室ローテーション2 U6								
研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8	研究室ローテーション2 U8								
産学官プロジェクトワーク	産学官プロジェクトワーク	産学官プロジェクトワーク	産学官プロジェクトワーク								
(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)	(研究指導)								

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇野 洋二 <平成29年4月> 0 生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	宇野 洋二 <平成29年4月> 0 生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	奥村 大 <平成30年4月> 博士(工学) 固体力学セミナー2A 固体力学セミナー2B 固体力学セミナー2C 固体力学セミナー2D 固体力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	奥村 大 <平成30年4月> 博士(工学) 固体力学セミナー2A 固体力学セミナー2B 固体力学セミナー2C 固体力学セミナー2D 固体力学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		安全知能学セミナー2A 安全知能学セミナー2B 安全知能学セミナー2C 安全知能学セミナー2D 安全知能学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 実世界データ循環システム特論Ⅱ 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		安全知能学セミナー2A 安全知能学セミナー2B 安全知能学セミナー2C 安全知能学セミナー2D 安全知能学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 実世界データ循環システム特論Ⅱ 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		安全知能学セミナー2A 安全知能学セミナー2B 安全知能学セミナー2C 安全知能学セミナー2D 安全知能学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士
		安全知能学セミナー2A 安全知能学セミナー2B 安全知能学セミナー2C 安全知能学セミナー2D 安全知能学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	酒井 康彦 <平成29年4月> 工学博士
		統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	酒井 康彦 <平成29年4月> 工学博士
		統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	酒井 康彦 <平成29年4月> 工学博士
		統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	酒井 康彦 <平成29年4月> 工学博士
		統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 健郎
		<平成29年4月> 工学博士
		固体力学セミナー2A
		固体力学セミナー2B
		固体力学セミナー2C
		固体力学セミナー2D
		固体力学セミナー2E
		バイオメカニクスセミナー2A
		バイオメカニクスセミナー2B
		バイオメカニクスセミナー2C
		バイオメカニクスセミナー2D
		バイオメカニクスセミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 健郎
		<平成29年4月> 工学博士
		固体力学セミナー2A
		固体力学セミナー2B
		固体力学セミナー2C
		固体力学セミナー2D
		固体力学セミナー2E
		バイオメカニクスセミナー2A
		バイオメカニクスセミナー2B
		バイオメカニクスセミナー2C
		バイオメカニクスセミナー2D
		バイオメカニクスセミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 健郎
		<平成29年4月> 工学博士
		バイオメカニクスセミナー2A
		バイオメカニクスセミナー2B
		バイオメカニクスセミナー2C
		バイオメカニクスセミナー2D
		バイオメカニクスセミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 健郎
		<平成29年4月> 工学博士
		バイオメカニクスセミナー2A
		バイオメカニクスセミナー2B
		バイオメカニクスセミナー2C
		バイオメカニクスセミナー2D
		バイオメカニクスセミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎
		<平成29年4月>
		工学博士
		計算力学セミナー2A
		計算力学セミナー2B
		計算力学セミナー2C
		計算力学セミナー2D
		計算力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎
		<平成29年4月>
		工学博士
		計算力学セミナー2A
		計算力学セミナー2B
		計算力学セミナー2C
		計算力学セミナー2D
		計算力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎
		<平成29年4月>
		工学博士
		計算力学セミナー2A
		計算力学セミナー2B
		計算力学セミナー2C
		計算力学セミナー2D
		計算力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	松本 敏郎
		<平成29年4月>
		工学博士
		計算力学セミナー2A
		計算力学セミナー2B
		計算力学セミナー2C
		計算力学セミナー2D
		計算力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水野 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水野 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水野 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水野 幸治 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成瀬 一郎
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A
		高温エネルギー変換工学セミナー2B
		高温エネルギー変換工学セミナー2C
		高温エネルギー変換工学セミナー2D
		高温エネルギー変換工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
フォローアップビジット		
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成瀬 一郎
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A
		高温エネルギー変換工学セミナー2B
		高温エネルギー変換工学セミナー2C
		高温エネルギー変換工学セミナー2D
		高温エネルギー変換工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
フォローアップビジット		
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成瀬 一郎
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A
		高温エネルギー変換工学セミナー2B
		高温エネルギー変換工学セミナー2C
		高温エネルギー変換工学セミナー2D
		高温エネルギー変換工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
フォローアップビジット		
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	成瀬 一郎
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A
		高温エネルギー変換工学セミナー2B
		高温エネルギー変換工学セミナー2C
		高温エネルギー変換工学セミナー2D
		高温エネルギー変換工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
フォローアップビジット		
研究室ローテーション2 U2		
研究室ローテーション2 U3		
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長野 方星 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	東 俊一 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	東 俊一 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	東 俊一 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	東 俊一 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 達也 <平成29年4月> 工学博士 モビリティシステムセミナー2A モビリティシステムセミナー2B モビリティシステムセミナー2C モビリティシステムセミナー2D モビリティシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		伊藤 靖仁 <平成29年4月> 博士(工学) 統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 達也 <平成29年4月> 工学博士 モビリティシステムセミナー2A モビリティシステムセミナー2B モビリティシステムセミナー2C モビリティシステムセミナー2D モビリティシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		伊藤 靖仁 <平成29年4月> 博士(工学) 統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 達也 <平成29年4月> 工学博士 モビリティシステムセミナー2A モビリティシステムセミナー2B モビリティシステムセミナー2C モビリティシステムセミナー2D モビリティシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		伊藤 靖仁 <平成29年4月> 博士(工学) 統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	鈴木 達也 <平成29年4月> 工学博士 モビリティシステムセミナー2A モビリティシステムセミナー2B モビリティシステムセミナー2C モビリティシステムセミナー2D モビリティシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
		伊藤 靖仁 <平成29年4月> 博士(工学) 統計流体工学セミナー2A 統計流体工学セミナー2B 統計流体工学セミナー2C 統計流体工学セミナー2D 統計流体工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		モビリティシステム セミナー2A モビリティシステム セミナー2B モビリティシステム セミナー2C モビリティシステム セミナー2D モビリティシステム セミナー2E 実世界データ循環シ ステム特論II (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		モビリティシステム セミナー2A モビリティシステム セミナー2B モビリティシステム セミナー2C モビリティシステム セミナー2D モビリティシステム セミナー2E 実世界データ循環シ ステム特論II (研究指導)
専	講師	岡本 正吾 <平成29年4月> 博士(情報科学)
		安全知能学セミナー 2A 安全知能学セミナー 2B 安全知能学セミナー 2C 安全知能学セミナー 2D 安全知能学セミナー 2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		モビリティシステム セミナー2A モビリティシステム セミナー2B モビリティシステム セミナー2C モビリティシステム セミナー2D モビリティシステム セミナー2E (研究指導)
専	准教授	岡本 正吾 <平成29年4月> 博士(情報科学)
		安全知能学セミナー 2A 安全知能学セミナー 2B 安全知能学セミナー 2C 安全知能学セミナー 2D 安全知能学セミナー 2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	稲垣 伸吉 <平成29年4月> 博士(工学)
		モビリティシステム セミナー2A モビリティシステム セミナー2B モビリティシステム セミナー2C モビリティシステム セミナー2D モビリティシステム セミナー2E (研究指導)
専	准教授	岡本 正吾 <平成29年4月> 博士(情報科学)
		安全知能学セミナー 2A 安全知能学セミナー 2B 安全知能学セミナー 2C 安全知能学セミナー 2D 安全知能学セミナー 2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高橋 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 和弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高橋 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 和弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高橋 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 和弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	義家 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高橋 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山本 和弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		伝熱・燃焼工学セミナー2A 伝熱・燃焼工学セミナー2B 伝熱・燃焼工学セミナー2C 伝熱・燃焼工学セミナー2D 伝熱・燃焼工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	植木 保昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E
専	准教授	浅井 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	村瀬 晃平 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	植木 保昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E
専	准教授	浅井 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	村瀬 晃平 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	植木 保昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E
専	准教授	浅井 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	村瀬 晃平 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	植木 保昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		高温エネルギー変換工学セミナー2A 高温エネルギー変換工学セミナー2B 高温エネルギー変換工学セミナー2C 高温エネルギー変換工学セミナー2D 高温エネルギー変換工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	浅井 徹 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	村瀬 晃平 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E (研究指導)
専	助教	伊藤 大輔 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E (研究指導)
専	助教	伊藤 大輔 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E (研究指導)
専	助教	伊藤 大輔 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	田地 宏一 <平成29年4月> 博士(工学)
		生体システム制御セミナー2A 生体システム制御セミナー2B 生体システム制御セミナー2C 生体システム制御セミナー2D 生体システム制御セミナー2E (研究指導)
専	准教授	高木 賢太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E (研究指導)
専	助教	伊藤 大輔 <平成29年4月> 博士(工学)
		ヒューマンメカニクスセミナー2A ヒューマンメカニクスセミナー2B ヒューマンメカニクスセミナー2C ヒューマンメカニクスセミナー2D ヒューマンメカニクスセミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	前田 英次郎 <平成29年4月> Ph. D. (工学) (英国)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E
専	助教	飯盛 浩司 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	前田 英次郎 <平成29年4月> Ph. D. (工学) (英国)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E
専	助教	飯盛 浩司 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	前田 英次郎 <平成29年4月> Ph. D. (工学) (英国)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E
専	助教	飯盛 浩司 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	前田 英次郎 <平成29年4月> Ph. D. (工学) (英国)
		バイオメカニクスセミナー2A バイオメカニクスセミナー2B バイオメカニクスセミナー2C バイオメカニクスセミナー2D バイオメカニクスセミナー2E
専	助教	飯盛 浩司 <平成29年4月> 博士(工学)
		計算力学セミナー2A 計算力学セミナー2B 計算力学セミナー2C 計算力学セミナー2D 計算力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E
専	助教	藪井 将太 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E
専	助教	藪井 将太 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E
兼担	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環システム特論II

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E
専	助教	藪井 将太 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E
兼担	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		産学官プロジェクトワーク

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	有泉 亮 <平成29年4月> 博士(工学)
		システム制御セミナー2A システム制御セミナー2B システム制御セミナー2C システム制御セミナー2D システム制御セミナー2E
専	助教	藪井 将太 <平成29年4月> 博士(工学)
		機械力学セミナー2A 機械力学セミナー2B 機械力学セミナー2C 機械力学セミナー2D 機械力学セミナー2E

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環システム特論II
兼担	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8
兼担	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼担	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8
兼担	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼担	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼担	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシップ2 U2 研究インターンシップ2 U3 研究インターンシップ2 U4 研究インターンシップ2 U6 研究インターンシップ2 U8 実験指導体験実習1
兼担	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼担	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学) 医工連携セミナー
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	井手 一郎 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
岡本 正吾, 河口 信夫, 古橋 武, 佐藤 理史, 上垣外 正己, 浅沼 浩之, 村上 裕, 渡邊 信久, 藤井 俊彰, 馬場 嘉信, 武田 一哉, 本多 裕之, 井手 一郎, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
井上 剛志, 山田 陽滋, 酒井 康彦, 松本 健郎, 松本 敏郎, 水野 幸治, 成瀬 一郎, 長野 方星, 東 俊一, 鈴木 達也, 稲垣 伸吉, 河口 信夫, 武田 一哉, 井手 一郎
・以下辞任
宇野 洋二, 古橋 武, 佐藤 理史, 藤井 俊彰
・以下就任
奥村 大

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
奥村 大, 岡本 正吾, 植木 保昭
・以下辞任
村瀬 晃平, 河口 信夫, 上垣外 正己, 渡邊 信久
・以下就任
生田 博志, 堀 克敏
・以下担当種別及び職名の変更
奥村 大, 植木 保昭

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
5	4	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
13	11	0	13	37	11	10	0	9	30
(11)	(9)	(1)	(10)	(31)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
37	0	0			30	0	0		
(31)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
13	11	0	13	37	13	11	0	13	37
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
37	0	0			37	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{37}{37} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{30} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	村瀬 晃平	H31.3	選択	バイオメカニクスセミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）
				選択	バイオメカニクスセミナー2B	①	
				選択	バイオメカニクスセミナー2C	①	
				選択	バイオメカニクスセミナー2D	①	
				選択	バイオメカニクスセミナー2E	①	
				-	(研究指導)		
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{37} = \boxed{2.7} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	宇野 洋二	選択	生体システム制御セミナー2A	①	H30.3.31付け65歳で定年退職 (30)				
			選択	生体システム制御セミナー2B	①					
			選択	生体システム制御セミナー2C	①					
			選択	生体システム制御セミナー2D	①					
			選択	生体システム制御セミナー2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①					
			選択	フォローアップビジット	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U3	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U6	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			—	(研究指導)						
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	13	科目	選択	13	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 機械システム工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 1日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 マイクロ・ナノ 機械理工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	8 (-) [-]	0 (-) [-]	0.49倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	6 (-) [3]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	3 (-) [2]	() []			
入学定員超過率 B/A					0.75		0.37		0.37				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [3] (-)	0 [0] (-)	3 [2] (-)	0 [0] (-)	3 [2] (-)	0 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		6 [3] (-)	0 [0] (-)	3 [2] (-)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		6 [3] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	6 [3] (-)	9 [5] (-)	12 [7] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	6人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	9人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	12人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{12} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ナノ計測工学セミナー2A	1前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2B	1後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2C	2前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2D	2後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2A	1前		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2B	1後		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2C	2前		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2D	2後		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2E	3前		2		1	2					
	バイオロボティクスセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2E	3前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		7						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		7						
	グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		7						1
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		7						1
小計(39科目)		-	0	80	0	63	40	0	25	0	2	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ナノ計測工学セミナー2A (未開講)	1前		2		1	1				1	
	ナノ計測工学セミナー2B (未開講)	1後		2		1	1				1	
	ナノ計測工学セミナー2C (未開講)	2前		2		1	1				1	
	ナノ計測工学セミナー2D (未開講)	2後		2		1	1				1	
	ナノ計測工学セミナー2E	3前		2		1	1				1	
	マイクロ熱流体工学セミナー2A (未開講)	1前		2		0	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2B (未開講)	1後		2		0	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2C (未開講)	2前		2		0	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2D (未開講)	2後		2		0	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2E (未開講)	3前		2		0	1					
	バイオロボティクスセミナー2A	1前		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2B	1後		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2C (未開講)	2前		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2D (未開講)	2後		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2E	3前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A (未開講)	1前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B (未開講)	1後		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C (未開講)	2前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D (未開講)	2後		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E (未開講)	3前		2		1	1			1		
	材料強度・評価学セミナー2A	1前		2		1	0		1		1	
	材料強度・評価学セミナー2B	1後		2		1	0		1		1	
	材料強度・評価学セミナー2C	2前		2		1	0		1		1	
	材料強度・評価学セミナー2D	2後		2		1	0		1		1	
	材料強度・評価学セミナー2E	3前		2		1	0		1		1	
	生産プロセス工学セミナー2A (未開講)	1前		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2B (未開講)	1後		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2A (未開講)	1前		2		1	0			1		
	知能ロボット学セミナー2B (未開講)	1後		2		1	0			1		
	知能ロボット学セミナー2C	2前		2		1	0			1		
	知能ロボット学セミナー2D	2後		2		1	0			1		
	知能ロボット学セミナー2E	3前		2		1	0			1		
	国際協働プロジェクトセミナー II U2	1・2前・後		2		6						
	国際協働プロジェクトセミナー II U4	1・2前・後		4		6						
	グローバルチャレンジII	1・2前・後		2		0						2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		0						2
小計(39科目)		-	0	80	0	42	25	5	30	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1-2前・後		1		1						
	実験指導体験実習 2	1-2前・後		1			1					
	研究インターンシップ 2 U2	1-2前・後		2		1						
	研究インターンシップ 2 U3	1-2前・後		3		1						
	研究インターンシップ 2 U4	1-2前・後		4		1						
	研究インターンシップ 2 U6	1-2前・後		6		1						
	研究インターンシップ 2 U8	1-2前・後		8		1						
	研究室ローテーション 2 U2	1-2前・後		2		7						
	研究室ローテーション 2 U3	1-2前・後		3		7						
	研究室ローテーション 2 U4	1-2前・後		4		7						
	研究室ローテーション 2 U6	1-2前・後		6		7						
	研究室ローテーション 2 U8	1-2前・後		8		7						
	医工連携セミナー	1-2-3前		2		5						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		7					1	
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7						1
小計(15科目)		-	0	54	0	60	1	0	0	0	2	
(研究指導)		-				7	8					
合計(54科目)		-	0	134	0	123	41	0	25	0	4	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1-2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1-2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1-2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1-2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1-2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1-2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1-2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1-2前・後		2		6						
	研究室ローテーション 2 U3	1-2前・後		3		6						
	研究室ローテーション 2 U4	1-2前・後		4		6						
	研究室ローテーション 2 U6	1-2前・後		6		6						
	研究室ローテーション 2 U8	1-2前・後		8		6						
	医工連携セミナー	1-2-3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(15科目)		-	0	54	0	30	0	0	0	0	14	
(研究指導)		-				6	5					
合計(54科目)		-	0	134	0	72	25	5	30	0	18	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ナノ計測工学セミナー2A	1前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2B	1後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2C	2前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2D	2後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2C	2前		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2D	2後		2		1	2					
	マイクロ熱流体工学セミナー2E	3前		2		1	2					
	バイオロボティクスセミナー2A	1前		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2B	1後		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2C	2前		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2D	2後		2		1	1		1			
	バイオロボティクスセミナー2E	3前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	材料強度・評価学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	生産プロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2A	1前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2B	1後		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2C	2前		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2D	2後		2		1	1		1			
	知能ロボット学セミナー2E	3前		2		1	1		1			
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		7						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		7						
	グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2		7						0
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		7						0
小計(39科目)		-	0	80	0	63	40	0	25	0	0	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	ナノ計測工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2C	2前		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2D	2後		2		1	1					
	ナノ計測工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1					
	マイクロ熱流体工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	バイオロボティクスセミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2C	2前		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2D	2後		2		1	1			1		
	バイオロボティクスセミナー2E	3前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1			1		
	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	材料強度・評価学セミナー2A	1前		2		1	1		0		1	
	材料強度・評価学セミナー2B	1後		2		1	1		0		1	
	材料強度・評価学セミナー2C	2前		2		1	1		0		1	
	材料強度・評価学セミナー2D	2後		2		1	1		0		1	
	材料強度・評価学セミナー2E	3前		2		1	1		0		1	
	生産プロセス工学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	生産プロセス工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	知能ロボット学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		7						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		7						
	グローバルチャレンジⅡ	1・2前・後		2		0						2
	フォローアップビジット	2・3前・後		2		0						2
小計(39科目)		-	0	80	0	49	30	0	25	0	4	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1-2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1-2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1-2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1-2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1-2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1-2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1-2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1-2前・後		2		7						
	研究室ローテーション 2 U3	1-2前・後		3		7						
	研究室ローテーション 2 U4	1-2前・後		4		7						
	研究室ローテーション 2 U6	1-2前・後		6		7						
	研究室ローテーション 2 U8	1-2前・後		8		7						
	医工連携セミナー	1-2-3前		2		5						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		7						0
小計(15科目)		-	0	54	0	47	0	0	0	0	15	
(研究指導)		-				7	8					
合計(54科目)		-	0	134	0	110	40	0	25	0	15	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1-2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1-2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1-2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1-2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1-2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1-2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1-2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1-2前・後		2		7						
	研究室ローテーション 2 U3	1-2前・後		3		7						
	研究室ローテーション 2 U4	1-2前・後		4		7						
	研究室ローテーション 2 U6	1-2前・後		6		7						
	研究室ローテーション 2 U8	1-2前・後		8		7						
	医工連携セミナー	1-2-3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(15科目)		-	0	54	0	35	0	0	0	0	16	
(研究指導)		-				7	6					
合計(54科目)		-	0	134	0	84	30	0	25	0	20	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「グローバルチャレンジⅡ」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フォローアップビジット」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「1」から「8」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「1」から「0」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授2」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「グローバルチャレンジⅡ」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「フォローアップビジット」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「医工連携セミナー」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授8」から「准教授6」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「ナノ計算工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ計算工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ計算工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ計算工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「ナノ計算工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「マイクロ熱流体工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「材料強度・評価学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師0」から「講師1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能ロボット学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能ロボット学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能ロボット学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能ロボット学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「知能ロボット学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U2」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U3」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U4」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U6」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究室ローテーション2 U8」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授7」から「教授6」に、「准教授6」から「准教授5」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	54 科目	0 科目	54 科目	0 科目	54 科目	0 科目	54 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{54} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）	
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計		大学全体		
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻		23 22 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 マイクロ・ナノ 機械理工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体	
	9,229 ㎡	弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

（注）・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「（5）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部 人文学科	4	125	3年次 10	520 520	学士(文学)	1.02		昭和24年度 平成8年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育学部 人間発達科学科	4	65	3年次 10	280 280	学士(教育学)	1.09		昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法学部 法律・政治学科	4	150	3年次 10	620 620	学士(法学)	1.05		昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
経済学部 経済学科 経営学科 学部共通	4 4	140 65	3年次 10	840 560 260 20	学士(経済学) 学士(経済学)	1.01		昭和24年度 昭和24年度 昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
情報文化学部 自然情報学科 社会システム情報学科 学部共通	4 4	— —	3年次 10	— — 20	学士(情報文化学) 学士(情報文化学)	— —		平成5年度 平成5年度 平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
情報学部 自然情報学科 人間・社会情報学科 コンピュータ科学科	4 4 4	38 38 59	— — —	270 76 76 118	学士(情報学) 学士(情報学) 学士(情報学)	1.05 1.00 1.06	平成29年度 平成29年度 平成29年度	平成29年度 平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
理学部 数学科 物理学科 化学科 生命理学科 地球惑星科学科	4 4 4 4 4	55 90 50 50 25	— — — — —	1,080 220 360 200 200 100	学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学) 学士(理学)	1.03		昭和24年度 平成7年度 昭和24年度 昭和24年度 平成8年度 平成4年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
医学部 医学科 保健学科	6 4	107 200	3年次 5 3年次 — 2年次 —	1,520 662 858	学士(医学) 学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.02 1.03	平成30年度	昭和24年度 昭和24年度 平成9年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65 愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	3年次編入20人を含む。 保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
工学部 化学・生物工学科 物理工学科 電気電子・情報工学科 機械・航空工学科 環境土木・建築学科 化学生命工学科 物理工学科 マテリアル工学科 電気電子情報工学科 機械・航空宇宙工学科 エネルギー理工学科 環境土木・建築学科	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	— — — — — 99 83 110 118 150 40 80	— — — — — — — — — — — —	— — — — — 198 166 220 236 300 80 160	学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学) 学士(工学)	— — — — — 1.00 1.02 1.00 0.98 1.00 1.07 1.03	平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度	昭和24年度 平成8年度 平成9年度 平成7年度 平成6年度 平成8年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度 平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止 平成29年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 7	— —	54 13	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 17	— —	132 33	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		
多元数理科学研究科 多元数理科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	47 30	— —	94 90	修士(数理学) 博士(数理学)	1.06 0.49		平成7年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際言語文化研究科 日本語文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度 平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
国際多元文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度		

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	巨陽 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A
		材料強度・評価学セミナー2B
		材料強度・評価学セミナー2C
		材料強度・評価学セミナー2D
		材料強度・評価学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	巨陽 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A
		材料強度・評価学セミナー2B
		材料強度・評価学セミナー2C
		材料強度・評価学セミナー2D
		材料強度・評価学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	巨陽 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A
		材料強度・評価学セミナー2B
		材料強度・評価学セミナー2C
		材料強度・評価学セミナー2D
		材料強度・評価学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	巨陽 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A
		材料強度・評価学セミナー2B
		材料強度・評価学セミナー2C
		材料強度・評価学セミナー2D
		材料強度・評価学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		(研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクス セミナー2A バイオリボティクス セミナー2B バイオリボティクス セミナー2C バイオリボティクス セミナー2D バイオリボティクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 グローバルチャレン ジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクス セミナー2A バイオリボティクス セミナー2B バイオリボティクス セミナー2C バイオリボティクス セミナー2D バイオリボティクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 グローバルチャレン ジII フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクス セミナー2A バイオリボティクス セミナー2B バイオリボティクス セミナー2C バイオリボティクス セミナー2D バイオリボティクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新井 史人 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクス セミナー2A バイオリボティクス セミナー2B バイオリボティクス セミナー2C バイオリボティクス セミナー2D バイオリボティクス セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新美 智秀 <平成29年4月> 工学博士
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新美 智秀 <平成29年4月> 工学博士
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新美 智秀 <平成29年4月> 工学博士
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	新美 智秀 <平成29年4月> 工学博士
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U2 国際協働プロジェクト セミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		グローバルチャレンジII
		フォローアップビジット
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8		
産学官プロジェクトワーク (研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
(研究指導)		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	秦 誠一
		<平成29年4月>
		博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2
		国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 泰久 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 泰久 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 グローバルチャレンジⅡ フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 泰久 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 泰久 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2 国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梅原 徳次 <平成29年4月> 工学博士
		生産プロセス工学セ ミナー2A 生産プロセス工学セ ミナー2B 生産プロセス工学セ ミナー2C 生産プロセス工学セ ミナー2D 生産プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梅原 徳次 <平成29年4月> 工学博士
		生産プロセス工学セ ミナー2A 生産プロセス工学セ ミナー2B 生産プロセス工学セ ミナー2C 生産プロセス工学セ ミナー2D 生産プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 グローバルチャレン ジⅡ フォローアップビ ジット 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梅原 徳次 <平成29年4月> 工学博士
		生産プロセス工学セ ミナー2A 生産プロセス工学セ ミナー2B 生産プロセス工学セ ミナー2C 生産プロセス工学セ ミナー2D 生産プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	梅原 徳次 <平成29年4月> 工学博士
		生産プロセス工学セ ミナー2A 生産プロセス工学セ ミナー2B 生産プロセス工学セ ミナー2C 生産プロセス工学セ ミナー2D 生産プロセス工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U2 国際協働プロジェク トセミナーⅡ U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	准教授	伊藤 伸太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 グローバルチャレンジII フォローアップビジット 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	准教授	伊藤 伸太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	伊藤 伸太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	福澤 健二 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	伊藤 伸太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオロボティクス セミナー2A バイオロボティクス セミナー2B バイオロボティクス セミナー2C バイオロボティクス セミナー2D バイオロボティクス セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山口 浩樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオロボティクス セミナー2A バイオロボティクス セミナー2B バイオロボティクス セミナー2C バイオロボティクス セミナー2D バイオロボティクス セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山口 浩樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオロボティクス セミナー2A バイオロボティクス セミナー2B バイオロボティクス セミナー2C バイオロボティクス セミナー2D バイオロボティクス セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山口 浩樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	丸山 央峰 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオロボティクス セミナー2A バイオロボティクス セミナー2B バイオロボティクス セミナー2C バイオロボティクス セミナー2D バイオロボティクス セミナー2E (研究指導)
専	准教授	山口 浩樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森田 康之 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A 材料強度・評価学セミナー2B 材料強度・評価学セミナー2C 材料強度・評価学セミナー2D 材料強度・評価学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	野老山 貴行 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	櫻井 淳平 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森田 康之 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A 材料強度・評価学セミナー2B 材料強度・評価学セミナー2C 材料強度・評価学セミナー2D 材料強度・評価学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	野老山 貴行 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	櫻井 淳平 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野老山 貴行 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	櫻井 淳平 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	野老山 貴行 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	櫻井 淳平 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	溝尻 瑞枝 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
専	助教	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A 材料強度・評価学セミナー2B 材料強度・評価学セミナー2C 材料強度・評価学セミナー2D 材料強度・評価学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	溝尻 瑞枝 <平成29年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E
専	助教	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A 材料強度・評価学セミナー2B 材料強度・評価学セミナー2C 材料強度・評価学セミナー2D 材料強度・評価学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	岡 智絵美 <平成30年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	徳 悠葵 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料強度・評価学セミナー2A 材料強度・評価学セミナー2B 材料強度・評価学セミナー2C 材料強度・評価学セミナー2D 材料強度・評価学セミナー2E
専	助教	岡 智絵美 <平成30年4月> 博士(工学)
		マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐久間 臣耶 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクスセミナー2A バイオリボティクスセミナー2B バイオリボティクスセミナー2C バイオリボティクスセミナー2D バイオリボティクスセミナー2E
専	助教	青山 忠義 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E
専	助教	村島 基之 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐久間 臣耶 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクスセミナー2A バイオリボティクスセミナー2B バイオリボティクスセミナー2C バイオリボティクスセミナー2D バイオリボティクスセミナー2E
専	助教	青山 忠義 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E
専	助教	村島 基之 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐久間 臣耶 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクスセミナー2A バイオリボティクスセミナー2B バイオリボティクスセミナー2C バイオリボティクスセミナー2D バイオリボティクスセミナー2E
専	助教	青山 忠義 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E
専	助教	村島 基之 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	佐久間 臣耶 <平成29年4月> 博士(工学)
		バイオリボティクスセミナー2A バイオリボティクスセミナー2B バイオリボティクスセミナー2C バイオリボティクスセミナー2D バイオリボティクスセミナー2E
専	助教	青山 忠義 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E
専	助教	村島 基之 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産プロセス工学セミナー2A 生産プロセス工学セミナー2B 生産プロセス工学セミナー2C 生産プロセス工学セミナー2D 生産プロセス工学セミナー2E
専	助教	東 直輝 <平成31年4月> 博士(工学)
		ナノ計測工学セミナー2A ナノ計測工学セミナー2B ナノ計測工学セミナー2C ナノ計測工学セミナー2D ナノ計測工学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学)
		研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップピ ジット 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	松田 佑 <平成29年4月> 博士(工学) マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	柳浦 睦憲 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
専	准教授	松田 佑 <平成29年4月> 博士(工学) マイクロ熱流体工学 セミナー2A マイクロ熱流体工学 セミナー2B マイクロ熱流体工学 セミナー2C マイクロ熱流体工学 セミナー2D マイクロ熱流体工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップビ ジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	講師	松田 佑 <平成29年4月> 博士(工学) (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
兼任	准教授	井手 一郎 <平成30年4月> 博士(工学) グローバルチャレン ジII フォローアップビ ジット
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2
兼任	講師	松田 佑 <平成29年4月> 博士(工学) (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	関山 浩介 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	関山 浩介 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	関山 浩介 <平成29年4月> 博士(工学)
		知能ロボット学セミナー2A 知能ロボット学セミナー2B 知能ロボット学セミナー2C 知能ロボット学セミナー2D 知能ロボット学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	関山 浩介 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 浅沼 浩之, 村上 裕, 渡邊 信久, 馬場 嘉信, 武田 一哉, 柳浦 睦憲, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
巨 陽, 新井 史人, 新美 智秀, 秦 誠一, 長谷川 泰久, 梅原 徳次, 福澤 健二, 河口 信夫, 武田 一哉
・以下辞任
森田 康之, 溝尻 瑞枝, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 柳浦 睦憲
・以下就任
岡 智絵美, 井手 一郎

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
関山 浩介
・以下辞任
新美 智秀, 河口 信夫, 上垣外 正己, 渡邊 信久
・以下就任
東 直輝, 木村 康裕, 生田 博志, 堀 克敏
・以下担当種別及び(又は)職名の変更
徳 悠葵, 関山 浩介

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
7	8	0	6	21	6	5	1	6	18
(7)	(8)	(0)	(5)	(20)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
21	0	0			18	0	0		
(20)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
7	8	0	6	21	7	8	0	6	21
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
21	0	0			21	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{21} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	森田 康之	H30.3	選択	材料強度・評価学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)
				選択	材料強度・評価学セミナー2B	①	
				選択	材料強度・評価学セミナー2C	①	
				選択	材料強度・評価学セミナー2D	①	
				選択	材料強度・評価学セミナー2E	①	
				-	(研究指導)		
2	准教授	松田 佑	H30.3	選択	マイクロ熱流体工学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任 (30)
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2B	①	
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2C	①	
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2D	①	
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2E	①	
				-	(研究指導)		
3	助教	溝尻 瑞枝	H30.2	選択	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2A	①	H30.2.28付け退職のため辞任 (30)
				選択	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2B	①	
				選択	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2C	①	
				選択	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2D	①	
				選択	マイクロ・ナノプロセス工学セミナー2E	①	

4	教授	新美 智秀	H31.3	選択	マイクロ熱流体工学セミナー2A	①	H30.10.14付け退職のため辞任(元)		
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2B	①			
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2C	①			
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2D	①			
				選択	マイクロ熱流体工学セミナー2E	①			
				選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	①			
				選択	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	①			
				選択	研究室ローテーション2 U2	①			
				選択	研究室ローテーション2 U3	①			
				選択	研究室ローテーション2 U4	①			
				選択	研究室ローテーション2 U6	①			
				選択	研究室ローテーション2 U8	①			
-	(研究指導)								
5	准教授	関山 浩介	H31.3	選択	知能ロボット学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)		
				選択	知能ロボット学セミナー2B	①			
				選択	知能ロボット学セミナー2C	①			
				選択	知能ロボット学セミナー2D	①			
				選択	知能ロボット学セミナー2E	①			
				-	(研究指導)				
合計(F)				後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
5	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	32 科目	選択	32 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	32 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)	①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)		
5	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	32 科目	選択	32 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	32 科目	計	32 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{5}{21} = \boxed{23.8} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 マイクロ・ナノ機械理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 航空宇宙工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	8人	— 年次 人	24人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	8 (-) [-]	3 (-) [-]	10 (-) [-]	3 (-) [-]	3 (-) [-]	() []	0.87倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は旧専攻で実施したため、志願者数、受験者数及び合格者数は、研究科全体の数値を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	3 (-) [1]	10 (-) [5]	3 (-) [1]	3 (-) [1]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	3 (-) [1]	10 (-) [5]	3 (-) [1]	3 (-) [1]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	3 (-) [1]	9 (-) [5]	2 (-) [0]	2 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 (-) [3]	3 (-) [1]	9 (-) [5]	2 (-) [0]	2 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.00		1.37		0.25				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [3] (-)	3 [1] (-)	9 [5] (-)	2 [0] (-)	2 [0] (-)	2 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		5 [3] (-)	3 [1] (-)	8 [4] (-)	3 [1] (-)	
3年次			/				/		/		/
4年次	/				/						
計			[] ()	[] ()			[] (-)	[] (-)	8 [4] (-)	19 [9] (-)	19 [8] (0)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	19人	2人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	1人	0人	進路変更(1人)
			平成30年度	1人	1人	[学生個人の心身に関する事情(1人)]
令和元年度	19人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		2人		2人	1人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{19} = \boxed{10.52} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{19} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 航空宇宙工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	構造力学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	制御システム工学セミナー2A	1前		2		1			1		1
	制御システム工学セミナー2B	1後		2		1			1		1
	制御システム工学セミナー2C	2前		2		1			1		1
	制御システム工学セミナー2D	2後		2		1			1		1
	制御システム工学セミナー2E	3前		2		1			1		1
	流体力学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2A	1後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2A	1前		2		2			1		1
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2B	1後		2		2			1		1
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2C	2前		2		2			1		1
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2D	2後		2		2			1		1
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2E	3前		2		2			1		1
小計(35科目)		-	0	70	0	40	25	0	35	0	10

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	構造力学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	制御システム工学セミナー2A	1前		2		1			1		0
	制御システム工学セミナー2B	1後		2		1			1		0
	制御システム工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1			1		0
	制御システム工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1			1		0
	制御システム工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1			1		0
	流体力学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	0	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	0	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2C	2前		2		1	0	0	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2D	2後		2		1	0	0	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2E	3前		2		1	0	0	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2C	2前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2D	2後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2E(未開講)	3前		2		1	0	1	1		
	生産工学セミナー2A	1後		2		2	1		2		
	生産工学セミナー2B(未開講)	1後		2		2	1		2		
	生産工学セミナー2C	2前		2		2	1		2		
	生産工学セミナー2D	2後		2		2	1		2		
	生産工学セミナー2E	3前		2		2	1		2		
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2A	1前		2		2			1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2B	1後		2		2			1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2C	2前		2		2			1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2D	2後		2		2			1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2E(未開講)	3前		2		2			1		0
先進複合材料セミナー2A(未開講)	1前		2		1			1			
先進複合材料セミナー2B(未開講)	1後		2		1			1			
先進複合材料セミナー2C(未開講)	2前		2		1			1			
先進複合材料セミナー2D(未開講)	2後		2		1			1			
先進複合材料セミナー2E	3前		2		1			1			
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		8						
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		8						
小計(42科目)		-	0	86	0	61	15	15	45	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前後		1		1						
	実験指導体験実習 2	1・2前後		1			1					
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		1						
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		8						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		5						
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(15科目)		—	0	54	0	67	1	0	0	0	0	
(研究指導)		—		—		8	7					
合計(50科目)		—	0	124	0	107	26	0	35	0	10	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1・2前後		1			0					1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		8						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(15科目)		—	0	54	0	40	0	0	0	0	14	
(研究指導)		—		—		8	3					
合計(57科目)		—	0	140	0	101	15	15	45	0	14	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	構造力学セミナー2A	1前		2		1	0		1		
	構造力学セミナー2B	1後		2		1	0		1		
	構造力学セミナー2C	2前		2		1	0		1		
	構造力学セミナー2D	2後		2		1	0		1		
	構造力学セミナー2E	3前		2		1	0		1		
	制御システム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2C	2前		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2D	2後		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2E	3前		2		1		1	1		0
	流体力学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2A	1前		2		1	0	1	0		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2B	1後		2		1	0	1	0		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2C	2前		2		1	0	1	0		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2D	2後		2		1	0	1	0		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2E	3前		2		1	0	1	0		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2C	2前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2D	2後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2E	3前		2		1	0	1	1		
	生産工学セミナー2A	1後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	生産工学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		2		1	0		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		2		1	0		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2C	2前		2		2		1	0		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2D	2後		2		2		1	0		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2E	3前		2		2		1	0		0
先進複合材料セミナー2A(未開講)	1前		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2B(未開講)	1後		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2C	2前		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2D	2後		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2E	3前		2		2		1	1		0	
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1-2前・後		2		2		9				
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1-2前・後		4		4		9				
小計(35科目)		-	0	70	0	40	10	20	25	0	0

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	構造力学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	構造力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	制御システム工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2C	2前		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2D	2後		2		1		1	1		0
	制御システム工学セミナー2E	3前		2		1		1	1		0
	流体力学セミナー2A	1前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2B	1後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2C	2前		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2D	2後		2		1	1		1		
	流体力学セミナー2E	3前		2		1	1		1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2A	1前		2		1	0	1	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2B	1後		2		1	0	1	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2C	2前		2		1	0	1	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2D	2後		2		1	0	1	1		
	衝撃波・宇宙推進セミナー2E	3前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2A	1前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2B	1後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	0	1	1		
	推進エネルギーシステム工学セミナー2E	3前		2		1	0	1	1		
	生産工学セミナー2A	1後		2		2		1	2		
	生産工学セミナー2B	1後		2		2		1	2		
	生産工学セミナー2C	2前		2		2		1	2		
	生産工学セミナー2D	2後		2		2		1	2		
	生産工学セミナー2E	3前		2		2		1	2		
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2A	1前		2		2		1	1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2B	1後		2		2		1	1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2C(未開講)	2前		2		2		1	1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2D(未開講)	2後		2		2		1	1		0
	航空宇宙機運動システム工学セミナー2E	3前		2		2		1	1		0
先進複合材料セミナー2A(未開講)	1前		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2B(未開講)	1後		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2C	2前		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2D	2後		2		2		1	1		0	
先進複合材料セミナー2E	3前		2		2		1	1		0	
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1-2前・後		2		2		9				
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1-2前・後		4		4		9				
小計(42科目)		-	0	86	0	68	15	20	45	0	0

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1・2前後		1		0						1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		8						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(15科目)		—	0	54	0	48	0	0	0	0	0	20
(研究指導)		—				9	2					
合計(50科目)		—	0	124	0	88	10	20	25	0	0	20
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前後		1		0						1
	実験指導体験実習 2	1・2前後		1		0						1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0						1
	研究室ローテーション 2 U2	1・2前・後		2		8						
	研究室ローテーション 2 U3	1・2前・後		3		8						
	研究室ローテーション 2 U4	1・2前・後		4		8						
	研究室ローテーション 2 U6	1・2前・後		6		8						
	研究室ローテーション 2 U8	1・2前・後		8		8						
	医工連携セミナー	1・2・3前		2		0						5
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(15科目)		—	0	54	0	40	0	0	0	0	0	16
(研究指導)		—				9	2					
合計(57科目)		—	0	140	0	108	15	20	45	0	0	16
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、以下のイ、ロを満たすこと イ 上表の専門科目セミナーの中から4単位以上 ロ 他専攻等科目は2単位までを修了要件単位として認め、2単位を超えた分は随意科目の単位として扱う</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「構造力学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造力学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造力学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造力学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造力学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生産工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生産工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生産工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生産工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「生産工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授2」に、「助教1」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「助教0」から「助教1」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「先進複合材料センター 2A」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「先進複合材料センター 2B」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「先進複合材料センター 2C」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「先進複合材料センター 2D」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「先進複合材料センター 2E」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」を追加。
- ・カリキュラム充実のため、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」を追加。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授8」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2A」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2B」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2C」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2D」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「衝撃波・宇宙推進セミナー 2E」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「航空宇宙機運動システム工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更。
- ・カリキュラム充実のため、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論Ⅱ」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授8」に、「准教授2」から「准教授3」に変更。

(注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	50 科目	0 科目	50 科目	0 科目	57 科目	0 科目	57 科目	
				[0]	[7]	[0]	[7]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{50} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 航空宇宙工学専攻			26 25 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 航空宇宙工学 専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	1,118 (1,433)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—		—		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科									昭和28年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05				
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20			平成7年度	
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05			平成8年度	
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科									昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87			平成13年度	
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—			平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				平成32年度より学生募集停止
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—			平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				平成32年度より学生募集停止
リハビリテーション療法学専攻							平成14年度		愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
森林・資材科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.09	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
(博士後期課程)	3	7	—	13	博士(農学)	0.46				
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.11	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(農学)	0.60				
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	0.98	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	7	—	14	博士(農学)	0.21				
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.04	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
(博士後期課程)	3	17	—	33	博士(農学)	0.57				
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	44	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61				
多元数理科学研究科								平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 航空宇宙工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表
【認可時又は届出時】

【認可時又は届出時】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								中村 隆			中村 隆
								<平成30年4月> 工学博士			<平成30年4月> 工学博士
						専	教授	生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E	専	教授	生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E
		笠原 次郎 <平成29年4月> 博士(工学)			笠原 次郎 <平成29年4月> 博士(工学)			笠原 次郎 <平成29年4月> 博士(工学)			笠原 次郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		推進エネルギーシステム工学セミナー2A 推進エネルギーシステム工学セミナー2B 推進エネルギーシステム工学セミナー2C 推進エネルギーシステム工学セミナー2D 推進エネルギーシステム工学セミナー2E			推進エネルギーシステム工学セミナー2A 推進エネルギーシステム工学セミナー2B 推進エネルギーシステム工学セミナー2C 推進エネルギーシステム工学セミナー2D 推進エネルギーシステム工学セミナー2E			推進エネルギーシステム工学セミナー2A 推進エネルギーシステム工学セミナー2B 推進エネルギーシステム工学セミナー2C 推進エネルギーシステム工学セミナー2D 推進エネルギーシステム工学セミナー2E			推進エネルギーシステム工学セミナー2A 推進エネルギーシステム工学セミナー2B 推進エネルギーシステム工学セミナー2C 推進エネルギーシステム工学セミナー2D 推進エネルギーシステム工学セミナー2E
専	教授	研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)	専	教授	研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)	専	教授	研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)	専	教授	研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原進 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原進 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原進 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E 国際協働プロジェクト II U2 国際協働プロジェクト II U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	原進 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E 国際協働プロジェクト II U2 国際協働プロジェクト II U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒井 政大 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A
		構造力学セミナー2B
		構造力学セミナー2C
		構造力学セミナー2D
		構造力学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒井 政大 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A
		構造力学セミナー2B
		構造力学セミナー2C
		構造力学セミナー2D
		構造力学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8
		産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒井 政大 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A
		構造力学セミナー2B
		構造力学セミナー2C
		構造力学セミナー2D
		構造力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	荒井 政大 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A
		構造力学セミナー2B
		構造力学セミナー2C
		構造力学セミナー2D
		構造力学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
研究室ローテーション2 U8		
(研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐宗 章弘 <平成29年4月> 工学博士
		衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐宗 章弘 <平成29年4月> 工学博士
		衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐宗 章弘 <平成29年4月> 工学博士
		衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E 国際協働プロジェクト II U2 国際協働プロジェクト II U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	佐宗 章弘 <平成29年4月> 工学博士
		衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E 国際協働プロジェクト II U2 国際協働プロジェクト II U4 研究室ローテーショ ン2 U2 研究室ローテーショ ン2 U3 研究室ローテーショ ン2 U4 研究室ローテーショ ン2 U6 研究室ローテーショ ン2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	砂田 茂 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	砂田 茂 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	砂田 茂 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U8 (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	砂田 茂 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U3
研究室ローテーション2 U4		
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8 (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>山中 淳彦</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p>
	専 教授	<p>研究室ローテーション2 U3</p> <p>研究室ローテーション2 U4</p> <p>研究室ローテーション2 U6</p> <p>研究室ローテーション2 U8</p> <p>産学官プロジェクトワーク</p> <p>(研究指導)</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>山中 淳彦</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p>
	専 教授	<p>先進複合材料センター2A</p> <p>先進複合材料センター2B</p> <p>先進複合材料センター2C</p> <p>先進複合材料センター2D</p> <p>先進複合材料センター2E</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U2</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U4</p> <p>研究室ローテーション2 U3</p> <p>研究室ローテーション2 U4</p> <p>研究室ローテーション2 U6</p> <p>研究室ローテーション2 U8</p> <p>(研究指導)</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
		<p>山中 淳彦</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p>
	専 教授	<p>先進複合材料センター2A</p> <p>先進複合材料センター2B</p> <p>先進複合材料センター2C</p> <p>先進複合材料センター2D</p> <p>先進複合材料センター2E</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U2</p> <p>国際協働プロジェクトセミナーII U4</p> <p>研究室ローテーション2 U2</p> <p>研究室ローテーション2 U3</p> <p>研究室ローテーション2 U4</p> <p>研究室ローテーション2 U6</p> <p>研究室ローテーション2 U8</p> <p>(研究指導)</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	社本 英二 <平成29年4月> 工学博士
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	社本 英二 <平成29年4月> 工学博士
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	社本 英二 <平成29年4月> 工学博士
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	社本 英二 <平成29年4月> 工学博士
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 達也 <平成29年4月> 工学博士
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 達也 <平成29年4月> 工学博士
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U4
		研究室ローテーション2 U6
		研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長谷川 達也 <平成29年4月> 工学博士
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2B
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2C
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2D
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		国際協働プロジェクトセミナーII U2
		国際協働プロジェクトセミナーII U4
		研究室ローテーション2 U2
		研究室ローテーション2 U4
研究室ローテーション2 U6		
研究室ローテーション2 U8 (研究指導)		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田 孝二 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田 孝二 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田 孝二 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	吉村 彰記 <平成30年1月> 博士(科学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長田 孝二 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 研究室ローテーション2 U2 研究室ローテーション2 U3 研究室ローテーション2 U4 研究室ローテーション2 U6 研究室ローテーション2 U8 (研究指導)
専	准教授	吉村 彰記 <平成30年1月> 博士(科学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森 浩一 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 教和 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E (研究指導)
		稲守 孝哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森 浩一 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 教和 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	稲守 孝哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森 浩一 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 教和 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	稲守 孝哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	森 浩一 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A 流体力学セミナー2B 流体力学セミナー2C 流体力学セミナー2D 流体力学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	鈴木 教和 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E (研究指導)
専	講師	稲守 孝哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩川 輝 <平成29年4月> 博士 (工学) 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E
		松岡 健 <平成29年4月> 博士 (工学) 推進エネルギーシス テム工学セミナー2A 推進エネルギーシス テム工学セミナー2B 推進エネルギーシス テム工学セミナー2C 推進エネルギーシス テム工学セミナー2D 推進エネルギーシス テム工学セミナー2E
専	講師	榎野 大輔 <平成29年4月> 博士 (情報理工学) 制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	岩川 輝 <平成29年4月> 博士 (工学) 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2A 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2B 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2C 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2D 衝撃波・宇宙推進セ ミナー2E
		松岡 健 <平成29年4月> 博士 (工学) 推進エネルギーシス テム工学セミナー2A 推進エネルギーシス テム工学セミナー2B 推進エネルギーシス テム工学セミナー2C 推進エネルギーシス テム工学セミナー2D 推進エネルギーシス テム工学セミナー2E
専	講師	榎野 大輔 <平成29年4月> 博士 (情報理工学) 制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任 (予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	松岡 健 <平成29年4月> 博士 (工学) 推進エネルギーシス テム工学セミナー2A 推進エネルギーシス テム工学セミナー2B 推進エネルギーシス テム工学セミナー2C 推進エネルギーシス テム工学セミナー2D 推進エネルギーシス テム工学セミナー2E
		榎野 大輔 <平成29年4月> 博士 (情報理工学) 制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 喜久子 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E
専	助教	後藤 圭太 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	宮田 喜久子 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E
専	助教	後藤 圭太 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鄭 弘鎮 <平成30年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E
専	助教	宮田 喜久子 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E
専	助教	後藤 圭太 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	鄭 弘鎮 <平成30年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A 生産工学セミナー2B 生産工学セミナー2C 生産工学セミナー2D 生産工学セミナー2E
専	助教	宮田 喜久子 <平成29年4月> 博士(工学)
		制御システム工学セ ミナー2A 制御システム工学セ ミナー2B 制御システム工学セ ミナー2C 制御システム工学セ ミナー2D 制御システム工学セ ミナー2E
専	助教	後藤 圭太 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造力学セミナー2A 構造力学セミナー2B 構造力学セミナー2C 構造力学セミナー2D 構造力学セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 皓平 <平成30年2月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		市原 大輔 <平成29年10月> 博士(工学)
		衝撃波・宇宙推進セミナー2A 衝撃波・宇宙推進セミナー2B 衝撃波・宇宙推進セミナー2C 衝撃波・宇宙推進セミナー2D 衝撃波・宇宙推進セミナー2E
		市来 誠 <平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	先進複合材料センター2A 先進複合材料センター2B 先進複合材料センター2C 先進複合材料センター2D 先進複合材料センター2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	山口 皓平 <平成30年2月> 博士(工学)
		航空宇宙機運動システム工学セミナー2A 航空宇宙機運動システム工学セミナー2B 航空宇宙機運動システム工学セミナー2C 航空宇宙機運動システム工学セミナー2D 航空宇宙機運動システム工学セミナー2E
		市原 大輔 <平成29年10月> 博士(工学)
		衝撃波・宇宙推進セミナー2A 衝撃波・宇宙推進セミナー2B 衝撃波・宇宙推進セミナー2C 衝撃波・宇宙推進セミナー2D 衝撃波・宇宙推進セミナー2E
		市来 誠 <平成30年4月> 博士(工学)
専	助教	先進複合材料センター2A 先進複合材料センター2B 先進複合材料センター2C 先進複合材料センター2D 先進複合材料センター2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川崎 央 <平成29年4月> 博士(工学)
		推進エネルギーシステム工学セミナー2A
		推進エネルギーシステム工学セミナー2B
		推進エネルギーシステム工学セミナー2C
		推進エネルギーシステム工学セミナー2D
推進エネルギーシステム工学セミナー2E		
専	助教	早坂 健宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A
		生産工学セミナー2C
		生産工学セミナー2E
専	助教	渡邊 智昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A
		流体力学セミナー2B
		流体力学セミナー2C
		流体力学セミナー2D
流体力学セミナー2E		
専	助教	藤巻 俊介 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2B
		生産工学セミナー2D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川崎 央 <平成29年4月> 博士(工学)
		推進エネルギーシステム工学セミナー2A
		推進エネルギーシステム工学セミナー2B
		推進エネルギーシステム工学セミナー2C
		推進エネルギーシステム工学セミナー2D
推進エネルギーシステム工学セミナー2E		
専	助教	早坂 健宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A
		生産工学セミナー2C
		生産工学セミナー2E
専	助教	渡邊 智昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A
		流体力学セミナー2B
		流体力学セミナー2C
		流体力学セミナー2D
流体力学セミナー2E		
専	助教	藤巻 俊介 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2B
		生産工学セミナー2D

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川崎 央 <平成29年4月> 博士(工学)
		推進エネルギーシステム工学セミナー2A
		推進エネルギーシステム工学セミナー2B
		推進エネルギーシステム工学セミナー2C
		推進エネルギーシステム工学セミナー2D
推進エネルギーシステム工学セミナー2E		
専	助教	早坂 健宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A
		生産工学セミナー2C
		生産工学セミナー2D
		生産工学セミナー2E
専	助教	渡邊 智昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A
		流体力学セミナー2B
		流体力学セミナー2C
		流体力学セミナー2D
流体力学セミナー2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	川崎 央 <平成29年4月> 博士(工学)
		推進エネルギーシステム工学セミナー2A
		推進エネルギーシステム工学セミナー2B
		推進エネルギーシステム工学セミナー2C
		推進エネルギーシステム工学セミナー2D
推進エネルギーシステム工学セミナー2E		
専	助教	早坂 健宏 <平成29年4月> 博士(工学)
		生産工学セミナー2A
		生産工学セミナー2B
		生産工学セミナー2C
		生産工学セミナー2E
専	助教	渡邊 智昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		流体力学セミナー2A
		流体力学セミナー2B
		流体力学セミナー2C
		流体力学セミナー2D
流体力学セミナー2E		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	渡邊 信久 <平成29年4月> 博士(理学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学)
		研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1
兼任	教授	浅沼 浩之 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー
兼任	教授	村上 裕 <平成29年4月> 博士(工学)
		医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	馬場 嘉信 <平成29年4月> 理学博士 医工連携セミナー
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク
兼任	教授	堀 克敏 <平成31年4月> 博士(工学) 医工連携セミナー

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
	兼任 教授	柳浦 睦憲 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 教授	本多 裕之 <平成29年4月> 工学博士 医工連携セミナー
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
山中 淳彦, 稲守 孝哉, 岩川 輝, 松岡 健, 椿野 大輔, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 浅沼 浩之, 村上 裕, 渡邊 信久, 藤井 俊彰, 馬場 嘉信, 武田 一哉, 本多 裕之, 柳浦 睦憲, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員の辞任による変更
笠原 次郎, 原 進, 荒井 政大, 佐宗 章弘, 砂田 茂, 山中 淳彦, 社本 英二, 長谷川 達也, 長田 孝二, 早坂 健宏, 河口 信夫, 武田 一哉
・以下辞任
藤巻 俊介, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 柳浦 睦憲
・以下就任
中村 隆, 吉村 彰記, 鄭 弘鎮, 山口 皓平, 市原 大輔

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員の辞任による変更
原 進, 砂田 茂, 山中 淳彦, 社本 英二, 吉村 彰記, 早坂 健宏
・以下辞任
長谷川 達也, 岩川 輝, 河口 信夫, 上垣外 正己, 渡邊 信久
・以下就任
生田 博志, 堀 克敏

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
8	7	0	8	23	9	3	3	9	24
(9)	(2)	(4)	(6)	(21)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
23	0	0			24	0	0		
(21)	(0)	(0)			[0]	[0]	[0]		
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	教授	准教授	講師	助教	計 (D)
8	7	0	8	23	8	7	0	8	23
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/	
23	0	0			23	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{23}{23} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{1}{24} = \boxed{4.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	藤巻 俊介	H30.3	選択	生産工学セミナー2B	①	H30.3.31付け退職のため辞任(30)
				選択	生産工学セミナー2D	①	
2	講師	岩川 輝	H31.3	選択	衝撃波・宇宙推進セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任(元)
				選択	衝撃波・宇宙推進セミナー2B	①	
				選択	衝撃波・宇宙推進セミナー2C	①	
				選択	衝撃波・宇宙推進セミナー2D	①	
				選択	衝撃波・宇宙推進セミナー2E	①	
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)	
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	7	科目	選択	7	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	7	科目	計	7	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{2}{23} = 8.69 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	教授	長谷川 達也	選択	航空宇宙機運動システム工学セミナー2A	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)				
			選択	航空宇宙機運動システム工学セミナー2B	①					
			選択	航空宇宙機運動システム工学セミナー2C	①					
			選択	航空宇宙機運動システム工学セミナー2D	①					
			選択	航空宇宙機運動システム工学セミナー2E	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーII U2	①					
			選択	国際協働プロジェクトセミナーII U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U2	①					
			選択	研究室ローテーション2 U4	①					
			選択	研究室ローテーション2 U6	①					
			選択	研究室ローテーション2 U8	①					
			-	(研究指導)						
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	11	科目	選択	11	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	11	科目	計	11	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 航空宇宙工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人入入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾 清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺 芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山 直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下 裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻 朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村 彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満 鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北 一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋 雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷 桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月 正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷 通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 エネルギー理工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	5人	— 年次 人	15人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	5 (-) [-]	3 (-) [-]	0 (-) [-]	0 (-) [-]	3 (-) [-]	() []	0.53倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	3 (-) [2]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	3 (-) [1]	2 (-) [1]	0 (-) [0]	0 (-) [0]	3 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.00		0.00		0.60				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	3 [1] (-)	2 [1] (-)	0 [0] (-)	0 [0] (-)	3 [0] (-)	0 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		3 [1] (-)	2 [1] (-)	0 [0] (-)	2 [1] (-)	
3年次			/				/		/		3 [1] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [2] (-)	5 [2] (-)	8 [2] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	5人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	5人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 エネルギー理工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	エネルギー理工学セミナー2A	1前		2		6	6		3		1
	エネルギー理工学セミナー2B	1後		2		6	6		3		1
	エネルギー理工学セミナー2C	2前		2		6	6		3		1
	エネルギー理工学セミナー2D	2後		2		6	6		3		1
	エネルギー理工学セミナー2E	3前		2		6	6		3		1
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					
小計(7科目)		-	0	16	0	42	30	0	15	0	5
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			1				
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		1					
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		6					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		6					2
小計(9科目)		-	0	29	0	18	1	0	0	0	4
(研究指導)		-				6	6				
合計(16科目)		-	0	45	0	60	31	0	15	0	9
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	エネルギー理工学セミナー2A	1前		2		6	5		4		2
	エネルギー理工学セミナー2B	1後		2		6	5		4		2
	エネルギー理工学セミナー2C	2前		2		6	5		4		2
	エネルギー理工学セミナー2D	2後		2		6	5		4		2
	エネルギー理工学セミナー2E	3前		2		6	5		4		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					
小計(7科目)		-	0	16	0	42	25	0	20	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(9科目)		-	0	29	0	0	0	0	0	0	9
(研究指導)		-				6	5				3
合計(16科目)		-	0	45	0	42	25	0	20	0	19
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	エネルギー工学セミナー2A	1前		2		6	5		3		2
	エネルギー工学セミナー2B	1後		2		6	5		3		2
	エネルギー工学セミナー2C	2前		2		6	5		2		2
	エネルギー工学セミナー2D	2後		2		6	5		2		2
	エネルギー工学セミナー2E	3前		2		6	5		2		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					
小計(7科目)		—	0	16	0	42	25	0	12	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		6					0
小計(9科目)		—	0	29	0	6	0	0	0	0	15
(研究指導)		—				6	5				
合計(16科目)		—	0	45	0	48	25	0	12	0	25
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	エネルギー工学セミナー2A	1前		2		6	6		4		2
	エネルギー工学セミナー2B	1後		2		6	6		4		2
	エネルギー工学セミナー2C	2前		2		6	6		4		2
	エネルギー工学セミナー2D	2後		2		6	6		4		2
	エネルギー工学セミナー2E	3前		2		6	6		4		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		6					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		6					
小計(7科目)		—	0	16	0	42	30	0	20	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					2
小計(9科目)		—	0	29	0	0	0	0	0	0	11
(研究指導)		—				6	6				2
合計(16科目)		—	0	45	0	42	30	0	20	0	21
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、「助教3」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「1」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「2」から「8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、「助教3」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2C」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、「助教2」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2D」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、「助教2」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2E」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、「助教2」から「助教4」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授6」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授5」から「准教授6」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2C」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2D」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「エネルギー工学セミナー2E」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授5」に、兼任・兼担の教員を「2」から「3」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0	16	0	16	0	16	0	16	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体		
		590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)			
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 エネルギー理工学専攻			10 室 9				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 エネルギー理工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—		—		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
森林・資材科学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(農学)	1.09	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
(博士後期課程)	3	7	—	13	博士(農学)	0.46				
植物生産科学専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(農学)	1.11	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	9	—	18	博士(農学)	0.60				
動物科学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(農学)	0.98	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	7	—	14	博士(農学)	0.21				
応用生命科学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(農学)	1.04	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
(博士後期課程)	3	17	—	33	博士(農学)	0.57				
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際協力専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(国際開発学)	—		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	—				
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(学術)	—		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(学術)	—				
国際開発協力専攻 (博士前期課程)	2	44	—	88	修士(国際開発学)	1.13	平成30年度	平成30年度		
(博士後期課程)	3	22	—	44	修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	0.61				
多元数理科学研究科								平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
多元数理科学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(数理学)	1.06		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(数理学)	0.49				
国際言語文化研究科								平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
日本語文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				
国際多元文化専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成10年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 エネルギー理工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成29年度】

【平成30年度】

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫 <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	柴田 理尋 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫 <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	柴田 理尋 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫 <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	柴田 理尋 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	井口 哲夫 <平成29年4月> 工学博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	柴田 理尋 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E 国際協働プロジェク トセミナーII U2 国際協働プロジェク トセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	辻 義之 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	辻 義之 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	辻 義之 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	長崎 正雅 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	辻 義之 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中谷 真人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中谷 真人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	池永 英司 <平成29年6月> 博士(理学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中谷 真人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	小島 康明 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	池永 英司 <平成29年6月> 博士(理学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中谷 真人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セミナー2A エネルギー理工学セミナー2B エネルギー理工学セミナー2C エネルギー理工学セミナー2D エネルギー理工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富田 英生 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)
専	助教	吉野 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富田 英生 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)
専	助教	吉野 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富田 英生 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)
専	助教	SONNENSCHIEIN Volker Thomas <平成30年4月> 博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
専	助教	吉野 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	富田 英生 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)
専	助教	SONNENSCHIEIN Volker Thomas <平成30年4月> 博士
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
専	助教	吉野 正人 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	恒吉 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B
専	助教	小川 智史 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
		河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	恒吉 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B
専	助教	小川 智史 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	恒吉 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
専	助教	小川 智史 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
兼任	教授	
兼任	教授	
兼任	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	恒吉 達矢 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
専	助教	小川 智史 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E
兼任	教授	
兼任	教授	
兼任	教授	

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学) 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8 実験指導体験実習1

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	<p>柚原 淳司</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2A</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環シ ステム特論II</p>
兼任	教授	<p>柳浦 陸憲</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環シ ステム特論II</p>
兼任	准教授	<p>永野 修作</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実験指導体験実習2</p>
兼任	准教授	<p>柚原 淳司</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2A</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2B</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2C</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2D</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2E</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環シ ステム特論II</p> <p>産学官プロジェクト ワーク</p>
兼任	准教授	<p>永野 修作</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実験指導体験実習2</p>
兼任	准教授	<p>柚原 淳司</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2A</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2B</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2C</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2D</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2E</p> <p>(研究指導)</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	<p>武田 一哉</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実世界データ循環シ ステム特論II</p> <p>産学官プロジェクト ワーク</p>
兼任	准教授	<p>永野 修作</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>実験指導体験実習2</p>
兼任	准教授	<p>柚原 淳司</p> <p><平成29年4月></p> <p>博士(工学)</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2A</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2B</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2C</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2D</p> <p>エネルギー理工学セ ミナー2E</p> <p>(研究指導)</p>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	伊藤 高啓 <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 高啓 <平成29年4月> 博士(工学)	専	准教授	伊藤 高啓 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	講師	伊藤 高啓 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)
兼任	教授	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学)	兼任	教授	渡邊 清政 <平成29年4月> 博士(工学)
		エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)			エネルギー理工学セ ミナー2A エネルギー理工学セ ミナー2B エネルギー理工学セ ミナー2C エネルギー理工学セ ミナー2D エネルギー理工学セ ミナー2E (研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任, 兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
吉野 正人, 河口 信夫, 関 浩之, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 武田 一哉, 柳浦 睦憲, 永野 修作, 柚原 淳司

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
井口 哲夫, 柴田 理尋, 長崎 正雅, 辻 義之, 八木 伸也, 尾上 順, 恒吉 達矢, 河口 信夫, 武田 一哉, 柚原 淳司, 渡邊 清政
・以下辞任
古橋 武, 藤井 俊彰, 関 浩之, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 柳浦 睦憲
・以下就任
池永 英司, SONNENSCHNEIDER Volker Thomas

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
伊藤 高啓
・以下辞任
河口 信夫, 上垣外 正己
・以下就任
生田 博志
・以下担当種別及び職名の変更
伊藤 高啓

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
6	6	0	5	17	6	5	0	4	15
(6)	(5)	(0)	(3)	(14)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
17	0	0			15	0	0		
(14)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
6	6	0	5	17	6	6	0	5	17
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
17	0	0			17	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{17}{17} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{15} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計（D）						後任補充状況の集計（E）	
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	伊藤 高啓	H31.3	選択	エネルギー工学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）
				選択	エネルギー工学セミナー2B	①	
				選択	エネルギー工学セミナー2C	①	
				選択	エネルギー工学セミナー2D	①	
				選択	エネルギー工学セミナー2E	①	
				-	(研究指導)		
合計（F）						後任補充状況の集計（G）	
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）			
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	
		選択	5	科目	選択	5	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	5	科目	計	5	科目	

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D)+(F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{17} = \boxed{5.88} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 エネルギー理工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 総合エネルギー 工学専攻 (博士後期課程) 博士(工学)	工学関係	3年	4人	— 年次 人	12人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	4 (-) [-]	0 (-) [-]	4 (-) [-]	2 (-) [-]	2 (-) [-]	4 (-) [-]	0.66倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	2 (-) [0]	2 (-) [1]	0 (-) [0]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	0 (-) [0]	2 (-) [0]	2 (-) [1]	0 (-) [0]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	0 (-) [0]	2 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	5 (-) [0]	0 (-) [0]	2 (-) [0]	1 (-) [0]	0 (-) [0]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.25		0.75		0.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [0] (-)	0 [0] (-)	2 [0] (0)	1 [0] (-)	0 [0] (-)	1 [0] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		5 [0] (-)	0 [0] (-)	2 [0] (0)	0 [0] (-)	
3年次			/				/		/		5 [0] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	5 [0] (-)	8 [0] (-)	8 [0] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	5人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	8人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		0人	0人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{5} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{8} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 総合エネルギー工学専攻（博士後期課程）

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	総合エネルギー工学セミナー2A	1前		2		5	6		4		3
	総合エネルギー工学セミナー2B	1後		2		5	6		4		3
	総合エネルギー工学セミナー2C	2前		2		5	6		4		3
	総合エネルギー工学セミナー2D	2後		2		5	6		4		3
	総合エネルギー工学セミナー2E	3前		2		5	6		4		3
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		5					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		5					
小計(7科目)		-	0	16	0	35	30	0	20	0	15
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		1					
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			1				
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1					
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1					
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1					
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1					
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1					
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		5					
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		5					3
小計(9科目)		-	0	29	0	16	1	0	0	0	3
(研究指導)		-				5	6				
合計(16科目)		-	0	45	0	51	31	0	20	0	18
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	総合エネルギー工学セミナー2A	1前		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2B(未開講)	1後		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2C	2前		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2D	2後		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2E	3前		2		5	6		2		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		5					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		5					
小計(7科目)		-	0	16	0	35	30	0	10	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1			0				1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					1
小計(9科目)		-	0	29	0	0	0	0	0	0	9
(研究指導)		-				5	7				2
合計(16科目)		-	0	45	0	35	30	0	10	0	19
卒業要件及び履修方法											
博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。											
履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上											

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	総合エネルギー工学セミナー2A	1前		2		5	4		3		2
	総合エネルギー工学セミナー2B	1後		2		5	4		3		2
	総合エネルギー工学セミナー2C	2前		2		5	4		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2D	2後		2		5	4		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2E	3前		2		5	4		2		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		5					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		5					
小計(7科目)		—	0	16	0	35	20	0	12	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1		0	0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		5					0
小計(9科目)		—	0	29	0	5	0	0	0	0	15
(研究指導)		—				5	6				
合計(16科目)		—	0	45	0	40	20	0	12	0	25
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	総合エネルギー工学セミナー2A	1前		2		5	6		3		2
	総合エネルギー工学セミナー2B	1後		2		5	6		3		2
	総合エネルギー工学セミナー2C	2前		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2D	2後		2		5	6		2		2
	総合エネルギー工学セミナー2E	3前		2		5	6		2		2
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		5					
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		5					
小計(7科目)		—	0	16	0	35	30	0	12	0	10
総合工学科目	実験指導体験実習 1	1・2前・後		1		0					1
	実験指導体験実習 2	1・2前・後		1		0	0				1
	研究インターンシップ 2 U2	1・2前・後		2		0					1
	研究インターンシップ 2 U3	1・2前・後		3		0					1
	研究インターンシップ 2 U4	1・2前・後		4		0					1
	研究インターンシップ 2 U6	1・2前・後		6		0					1
	研究インターンシップ 2 U8	1・2前・後		8		0					1
	実世界データ循環システム特論Ⅱ	1後		2		0					2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0					2
小計(9科目)		—	0	29	0	0	0	0	0	0	11
(研究指導)		—				5	6				2
合計(16科目)		—	0	45	0	35	30	0	12	0	21
卒業要件及び履修方法											
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に、「助教4」から「助教3」に、兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に、「助教4」から「助教3」に、兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に、「助教4」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に、「助教4」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授4」に、「助教4」から「助教2」に、兼任・兼担の教員を「3」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習1」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実験指導体験実習2」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U2」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U3」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U4」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U6」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「研究インターンシップ2 U8」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「8」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「3」から「0」に変更。

【平成30年度】

- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2C」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2D」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2E」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「8」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授0」に、兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の兼任・兼担の教員を「0」から「2」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「総合エネルギー工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授6」から「准教授7」に変更。

(注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	0 科目	16 科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{16} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	工学研究科 総合エネルギー工学専攻			18 -20 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	
		〔うち外国書〕冊	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				点
	工学研究科 総合エネルギー 工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	146 (193)	0 0	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡		2,031 2,195 席		3,140,500 冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
	9,229 ㎡		弓道場、プール（25m×7コース）、陸上競技場（400mトラック）、テニスコート（11面）、野球場（1面）、相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場（各1か所）					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年度名称変更) 平成12年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学) 修士(教育)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法学) 修士(現代法学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法学) 博士(現代法学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成30年度より学生募集停止
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 7	— —	54 13	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 17	— —	132 33	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		
多元数理科学研究科 多元数理科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	47 30	— —	94 90	修士(数理学) 博士(数理学)	1.06 0.49		平成7年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際言語文化研究科 日本語文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度 平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
国際多元文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度		

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 総合エネルギー工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官ノロンエクト ワーク (研究指導)
専	教授	榎田 洋一 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官ノロンエクト ワーク (研究指導)

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官ノロンエクト ワーク (研究指導)
専	教授	榎田 洋一 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官ノロンエクト ワーク (研究指導)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	教授	榎田 洋一 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	瓜谷 章 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	教授	榎田 洋一 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	山澤 弘実 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	教授	山澤 弘実 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	教授	山澤 弘実 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 章夫 <平成29年4月> 博士(エネルギー科学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	教授	山澤 弘実 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	准教授	岡本 敦 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)
専	准教授	岡本 敦 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	岡本 敦 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	藤田 隆明 <平成29年4月> 工学博士
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	准教授	岡本 敦 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	柚原 淳司 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	澤田 佳代 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	柚原 淳司 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	澤田 佳代 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	柚原 淳司 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	澤田 佳代 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡辺 賢一 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	柚原 淳司 <平成29年4月> 博士(工学)
		(研究指導)
専	准教授	澤田 佳代 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
専	助教	佐藤 陽祐 <平成29年5月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B
専	助教	山崎 淳 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
専	助教	佐藤 陽祐 <平成29年5月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B
専	助教	山崎 淳 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
専	助教	佐藤 陽祐 <平成29年5月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
専	助教	山崎 淳 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	遠藤 知弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
専	助教	山崎 淳 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
		佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
		佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	関 浩之 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河口 信夫 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	柳浦 陸憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習2
兼任	講師	井戸 毅 <平成29年4月> 博士(工学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)
兼任	講師	久保 伸 <平成29年4月> 博士(理学)
		総合エネルギー工学 セミナー2A 総合エネルギー工学 セミナー2B 総合エネルギー工学 セミナー2C 総合エネルギー工学 セミナー2D 総合エネルギー工学 セミナー2E (研究指導)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
吉橋 幸子, 河口 信夫, 関 浩之, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 武田 一哉, 柳浦 睦憲, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
瓜谷 章, 榎田 洋一, 山本 章夫, 山澤 弘実, 藤田 隆明, 杉山 貴彦, 澤田 佳代, 佐藤 陽祐, 河口 信夫, 武田 一哉, 井戸 毅, 久保 伸
・以下辞任
古橋 武, 佐藤 理史, 藤井 俊彰, 関 浩之, 山田 陽滋, 柳浦 睦憲

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
森泉 純
・以下辞任
佐藤 陽祐, 河口 信夫, 上垣外 正己
・以下就任
生田 博志

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
5	6	0	4	15	5	7	0	2	14
(5)	(7)	(0)	(2)	(14)					
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
15	0	0			14	0	0		
(14)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
5	6	0	4	15	5	6	0	4	15
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
15	0	0			15	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{15}{15} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{14} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	佐藤 陽祐	H31.3	選択	総合エネルギー工学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）			
				選択	総合エネルギー工学セミナー2B	①				
				選択	総合エネルギー工学セミナー2C	①				
				選択	総合エネルギー工学セミナー2D	①				
				選択	総合エネルギー工学セミナー2E	①				
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)			
1	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{1}{15} = 6.66 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 総合エネルギー工学専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導体制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 名古屋大学

(2) 大学名

名古屋大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒464-8601

愛知県名古屋市千種区不老町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(マツオ セイイチ) 松尾清一 (平成27年4月)		
理事	(ワタナベ ヨシヒト) 渡辺芳人 (平成24年4月)	(スギヤマ ナオシ) 杉山直 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(マツシタ ユウシュウ) 松下裕秀 (平成27年4月)	(フジマキ アキラ) 藤巻朗 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(キムラ ショウゴ) 木村彰吾 (平成27年4月)		
理事	(ザイマ シゲアキ) 財満鎮明 (平成29年4月)	(カワキタ カズヒト) 川北一人 (平成31年4月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成31年4月1日(元)
理事	(タカハシ マサヒデ) 高橋雅英 (平成29年4月)		
理事	(イソガイ ケイスケ) 磯谷桂介 (平成29年1月)	(コウヅキ マサヒロ) 上月正博 (平成30年1月)	変更理由：理事退職のため 変更年月日：平成30年1月16日(30)
理事	(ゴウ ミチコ) 郷通子 (平成27年4月)		

研究科長	(ニイミ トモヒデ) 新 美 智 秀 (平成27年4月)	(ミズタニ ノリミ) 水 谷 法 美 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ウメハラ ノリツグ) 梅 原 徳 次 (平成28年4月)	(ウリタニ アキラ) 瓜 谷 章 (平成30年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成30年4月 1日(30)
副研究科長	(ミヤザキ セイイチ) 宮 崎 誠 一 (平成29年4月)	(イクタ ヒロシ) 生 田 博 志 (平成31年4月)	変更理由：任期満了のため 変更年月日：平成31年4月 1日(元)

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
工学研究科 土木工学専攻 (博士後期課程) 博士（工学）	工学関係	3年	9人	— 年次 人	27人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	() []	() []	() []	() []	9 (-) [-]	13 (-) [-]	2 (-) [-]	24 (-) [-]	1 (-) [-]	() []	0.66倍	—	平成29年度 (4月入学) 入学者選抜は 旧専攻で実施 したため、志 願者数、受験 者数及び合格 者数は、研究 科全体の数値 を計上する。 (29)
志願者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	13 (-) [13]	2 (-) [1]	24 (-) [23]	1 (-) [1]	() []			
受験者数	() []	() []	() []	() []	71 (-) [23]	13 (-) [13]	2 (-) [1]	24 (-) [23]	1 (-) [1]	() []			
合格者数	() []	() []	() []	() []	69 (-) [22]	7 (-) [7]	2 (-) [1]	6 (-) [5]	1 (-) [1]	() []			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	2 (-) [1]	7 (-) [7]	2 (-) [1]	6 (-) [5]	1 (-) [1]	() []			
入学定員超過率 B/A					1.00		0.88		0.11				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	2 [1] (-)	7 [7] (-)	2 [1] (-)	6 [5] (-)	1 [1] (-)	6 [5] (-)	
2年次	/		[] ()	[] ()	/		2 [1] (-)	7 [7] (-)	2 [1] (-)	7 [7] (-)	
3年次			/				/		/		2 [1] (-)
4年次	[] ()	[] ()			[] ()	[] ()					
計	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	9 [8] (-)	17 [14] (-)	18 [15] (0)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	人	人	平成27年度	人	人	
平成28年度	人	人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
平成29年度	9人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
平成30年度	17人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
令和元年度	18人	0人	平成27年度	人	人	
			平成28年度	人	人	
			平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	0人	
			令和元年度	0人	0人	
合計		0人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{17} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{18} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<工学研究科 土木工学専攻（博士後期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	構造工学セミナー2A	1前	2			1	2					
	構造工学セミナー2B	1後	2			1	2					
	構造工学セミナー2C	2前	2			1	2					
	構造工学セミナー2D	2後	2			1	2					
	構造工学セミナー2E	3前	2			1	2					
	材料・形態学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2A	1前	2			1				1		
	流域保全学セミナー2B	1後	2			1				1		
	流域保全学セミナー2C	2前	2			1				1		
	流域保全学セミナー2D	2後	2			1				1		
	流域保全学セミナー2E	3前	2			1				1		
	海岸・海洋工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	国土デザイン学セミナー2A	1前	2								1	
国土デザイン学セミナー2B	1後	2								1		
国土デザイン学セミナー2C	2前	2								1		
国土デザイン学セミナー2D	2後	2								1		
国土デザイン学セミナー2E	3前	2								1		
地圏環境保全学セミナー2A	1前	2			1				1			
地圏環境保全学セミナー2B	1後	2			1				1			
地圏環境保全学セミナー2C	2前	2			1				1			
地圏環境保全学セミナー2D	2後	2			1				1			
地圏環境保全学セミナー2E	3前	2			1				1			
国際環境協力セミナー2A	1前	2			1							
国際環境協力セミナー2B	1後	2			1							
国際環境協力セミナー2C	2前	2			1							
国際環境協力セミナー2D	2後	2			1							
国際環境協力セミナー2E	3前	2			1							
環境エコロジーシステムセミナー2A	1前	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2B	1後	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2C	2前	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2D	2後	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2E	3前	2			1	1						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	構造工学セミナー2A	1前	2			1	0					
	構造工学セミナー2B	1後	2			1	0					
	構造工学セミナー2C	2前	2			1	0					
	構造工学セミナー2D	2後	2			1	0					
	構造工学セミナー2E	3前	2			1	0					
	材料・形態学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	材料・形態学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	流域保全学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2A	1前	2			1	0			1		
	地盤材料工学セミナー2B	1後	2			1	0			1		
	地盤材料工学セミナー2C	2前	2			1	0			1		
	地盤材料工学セミナー2D	2後	2			1	0			1		
	地盤材料工学セミナー2E	3前	2			1	0			1		
	国土防災安全工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2A	1前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2B	1後	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2C	2前	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2D	2後	2			1	1			1		
	社会基盤維持管理工学セミナー2E	3前	2			1	1			1		
	国土デザイン学セミナー2A	1前	2							1	0	0
国土デザイン学セミナー2B	1後	2							1	0	0	
国土デザイン学セミナー2C	2前	2							1	0	0	
国土デザイン学セミナー2D	2後	2							1	0	0	
国土デザイン学セミナー2E	3前	2							1	0	0	
地圏環境保全学セミナー2A	1前	2			1				0	0	0	
地圏環境保全学セミナー2B	1後	2			1				0	0	0	
地圏環境保全学セミナー2C	2前	2			1				0	0	0	
地圏環境保全学セミナー2D	2後	2			1				0	0	0	
地圏環境保全学セミナー2E	3前	2			1				0	0	0	
国際環境協力セミナー2A	1前	2			1							
国際環境協力セミナー2B	1後	2			1							
国際環境協力セミナー2C	2前	2			1							
国際環境協力セミナー2D	2後	2			1							
国際環境協力セミナー2E	3前	2			1							
環境エコロジーシステムセミナー2A	1前	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2B	1後	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2C	2前	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2D	2後	2			1	1						
環境エコロジーシステムセミナー2E	3前	2			1	1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	国際環境人材育成セミナー2A	1前		2			1					1
	国際環境人材育成セミナー2B	1後		2			1					1
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		11						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		11						
	グローバル研究インターンシップ2	1・2前・後		2			1					1
小計(60科目)		0	122	0	72	43	0	35	0		8	
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		1						
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			1					
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		1						
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		1						
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		1						
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		1						
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		1						
	実世界データ循環システム特論I1	1後		2		8						
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(9科目)		0	29	0	22	1	0	0	0	0	0	
(研究指導)					11	9						
合計(69科目)		0	151	0	94	44	0	35	0		8	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	国際環境人材育成セミナー2A	1前		2			1	1				0
	国際環境人材育成セミナー2B	1後		2			1	1				0
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1・2前・後		2		10						
	国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1・2前・後		4		10						
	グローバル研究インターンシップ2	1・2前・後		2			1	1				0
小計(60科目)		0	122	0	70	38	3	30	0		0	
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	実世界データ循環システム特論I1	1後		2		0						1
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						1
小計(9科目)		0	29	0	0	0	0	0	0	0	9	
(研究指導)					10	7						
合計(69科目)		0	151	0	70	38	3	30	0		9	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	構造工学セミナー2A(未開講)	1前		2		0	2					
	構造工学セミナー2B(未開講)	1後		2		0	2					
	構造工学セミナー2C	2前		2		0	2					
	構造工学セミナー2D	2後		2		0	2					
	構造工学セミナー2E	3前		2		0	2					
	材料・形態学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	国土デザイン学セミナー2A(未開講)	1前		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2B(未開講)	1後		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2C	2前		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2D	2後		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2E	3前		2						1		0
	地圏環境保全学セミナー2A(未開講)	1前		2			1			1		
	地圏環境保全学セミナー2B(未開講)	1後		2			1			1		
地圏環境保全学セミナー2C	2前		2			1			1			
地圏環境保全学セミナー2D	2後		2			1			1			
地圏環境保全学セミナー2E	3前		2			1			1			
国際環境協力セミナー2A(未開講)	1前		2			1						
国際環境協力セミナー2B(未開講)	1後		2			1						
国際環境協力セミナー2C	2前		2			1						
国際環境協力セミナー2D	2後		2			1						
国際環境協力セミナー2E	3前		2			1						
環境エコロジーシステムセミナー2A	1前		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2B	1後		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2C	2前		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2D	2後		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2E	3前		2			1	1					
国際環境人材育成セミナー2A	1前		2				1				1	
国際環境人材育成セミナー2B	1後		2				1				1	
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1:2前・後		2			9						
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1:2前・後		4			9						
グローバル研究インターンシップ2	1:2前・後		2				1				1	
小計(60科目)	-		0	122	0	63	48	5	35	0	3	

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	構造工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1					
	構造工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1					
	構造工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1					
	構造工学セミナー2D	2後		2		1	1					
	構造工学セミナー2E	3前		2		1	1					
	材料・形態学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	材料・形態学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	流域保全学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2A	1前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2B	1後		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	海岸・海洋工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1			1		
	地盤材料工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2C(未開講)	2前		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2D(未開講)	2後		2		1	1			1		
	国土防災安全工学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2A(未開講)	1前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2B(未開講)	1後		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2C	2前		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2D	2後		2		1	1			1		
	社会基盤維持管理学セミナー2E	3前		2		1	1			1		
	国土デザイン学セミナー2A(未開講)	1前		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2B(未開講)	1後		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2C(未開講)	2前		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2D(未開講)	2後		2						1		0
	国土デザイン学セミナー2E	3前		2						1		0
	地圏環境保全学セミナー2A(未開講)	1前		2			1				0	
	地圏環境保全学セミナー2B(未開講)	1後		2			1				0	
地圏環境保全学セミナー2C(未開講)	2前		2			1				0		
地圏環境保全学セミナー2D(未開講)	2後		2			1				0		
地圏環境保全学セミナー2E	3前		2			1				0		
国際環境協力セミナー2A(未開講)	1前		2			1						
国際環境協力セミナー2B(未開講)	1後		2			1						
国際環境協力セミナー2C(未開講)	2前		2			1						
国際環境協力セミナー2D(未開講)	2後		2			1						
国際環境協力セミナー2E	3前		2			1						
環境エコロジーシステムセミナー2A	1前		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2B	1後		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2C	2前		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2D	2後		2			1	1					
環境エコロジーシステムセミナー2E	3前		2			1	1					
国際環境人材育成セミナー2A	1前		2				1	1			0	
国際環境人材育成セミナー2B	1後		2				1	1			0	
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2	1:2前・後		2			9						
国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4	1:2前・後		4			9						
グローバル研究インターンシップ2	1:2前・後		2				1	1			0	
小計(60科目)	-		0	122	0	68	43	8	30	0	0	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						8
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		8						
小計(9科目)	-	0	29	0	8	0	0	0	0	0	15	
(研究指導)	-				9	9						
合計(69科目)	-	0	151	0	71	48	5	35	0	0	18	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合工学科目	実験指導体験実習1	1・2前・後		1		0						1
	実験指導体験実習2	1・2前・後		1			0					1
	研究インターンシップ2 U2	1・2前・後		2		0						1
	研究インターンシップ2 U3	1・2前・後		3		0						1
	研究インターンシップ2 U4	1・2前・後		4		0						1
	研究インターンシップ2 U6	1・2前・後		6		0						1
	研究インターンシップ2 U8	1・2前・後		8		0						1
	実世界データ循環システム特論II	1後		2		0						2
	産学官プロジェクトワーク	1前・後		2		0						2
小計(9科目)	-	0	29	0	0	0	0	0	0	0	11	
(研究指導)	-				10	8						
合計(69科目)	-	0	151	0	68	43	8	30	0	0	11	
卒業要件及び履修方法												
<p>博士後期課程に原則として3年以上在籍し、以下に示す履修基準に従って合計8単位以上を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査及び最終試験に合格すること。</p> <p>履修基準 上記の授業科目及び博士前期課程の授業科目(既修のものを除く)の中から8単位以上 ただし、上表の専門科目セミナーの中から4単位以上</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

【令和元年度】

- ・担当教員の見直しにより、「構造工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造工学セミナー2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造工学セミナー2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「構造工学セミナー2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「地盤材料工学セミナー2A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「地盤材料工学セミナー2B」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「地盤材料工学セミナー2C」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「地盤材料工学セミナー2D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「地盤材料工学セミナー2E」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国土デザイン学セミナー 2A」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国土デザイン学セミナー 2B」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国土デザイン学セミナー 2C」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国土デザイン学セミナー 2D」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国土デザイン学セミナー 2E」の専任教員等の配置を「准教授0」から「准教授1」に、「講師1」から「講師0」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U2」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「国際協働プロジェクトセミナーⅡ U4」の専任教員等の配置を「教授9」から「教授10」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「実世界データ循環システム特論II」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「産学官プロジェクトワーク」の兼任・兼担の教員を「2」から「1」に変更。
- ・担当教員の見直しにより、「(研究指導)」の専任教員等の配置を「准教授8」から「准教授7」に変更。

- (注) ・ 2 (1) 一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0	69	0	69	0	69	0	69	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{69} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体 うち附属病院 51,789㎡ 施設整備（新築、改修、解体）に伴う、面積・室数の増減のため（元）		
	校舎敷地	628,131 617,966 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	628,131 617,966 ㎡			
	運動場用地	105,775 105,994 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	105,775 105,994 ㎡			
	小 計	733,906 723,960 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	733,906 723,960 ㎡			
	そ の 他	2,507,320 2,495,186 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	2,507,320 2,495,186 ㎡			
	合 計	3,241,226 3,219,146 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	3,241,226 3,219,146 ㎡			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	大学全体			
	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	590,883 -578,743 ㎡ (590,883 578,743 ㎡)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体		
	252 -234 室	232 -240 室	1,680 -1,326 室	16 17 室 (補助職員 1 人)	14 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数			平成31年4月 室用途変更のため（元）		
	工学研究科 土木工学専攻		49 -50 -51 室					
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	工学研究科 土木工学専攻	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	155 (201)	0 0	
	計	198,096 [112,726] (194,381 [109,897])	3,024 [1,656] (2,739 [1,489])	910 [698] (282 [269])	198 (352)	155 (201)	0 0	
(6) 図書館	面 積	閲覧座席数		収 納 可 能 冊 数		大学全体		
	24,829 ㎡ 28,681 ㎡	2,031 2,195 席		3,140,500 冊				
(7) 体育館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	9,229 ㎡	弓道場, プール (25m×7コース), 陸上競技場 (400mトラック), テニスコート (11面), 野球場 (1面), 相撲道場・ボクシング練習場・ゴルフ練習場・アーチェリー練習場・ライフル射撃場 (各1か所)						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人 当 り 研 究 費 等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共 同 研 究 費 等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生 1 人 当 り 納 付 金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要								

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」

を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

- ・ 国立大学については「(8) 経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
文学部				520				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学科	4	125	3年次 10	520	学士(文学)	1.02		平成8年度		
教育学部				280				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人間発達科学科	4	65	3年次 10	280	学士(教育学)	1.09		平成9年度		
法学部				620				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
法律・政治学科	4	150	3年次 10	620	学士(法学)	1.05		平成9年度		
経済学部				840		1.01		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	経済学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
経済学科	4	140		560	学士(経済学)			昭和24年度		
経営学科	4	65		260	学士(経済学)			昭和24年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報文化学部				—				平成5年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
自然情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
社会システム情報学科	4	—		—	学士(情報文化学)	—		平成5年度		
学部共通			3年次 10	20						
情報学部				270			平成29年度	平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
自然情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.05	平成29年度	平成29年度		
人間・社会情報学科	4	38	—	76	学士(情報学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
コンピュータ科学科	4	59	—	118	学士(情報学)	1.06	平成29年度	平成29年度		
理学部				1,080		1.03		昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	理学部の定員超過率については、学部単位で入学者を募集しているため学部単位で記入。
数学科	4	55	—	220	学士(理学)			平成7年度		
物理学科	4	90	—	360	学士(理学)			昭和24年度		
化学科	4	50	—	200	学士(理学)			昭和24年度		
生命理学科	4	50	—	200	学士(理学)			平成8年度		
地球惑星科学科	4	25	—	100	学士(理学)			平成4年度		
医学部				1,520				昭和24年度		3年次編入20人を含む。
医学科	6	107	3年次 5	662	学士(医学)	1.02	平成30年度	昭和24年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	保健学科については、平成31年度より2年次編入及び3年次編入を廃止。
保健学科	4	200	3年次 — 2年次 —	858	学士(看護学) 学士(保健学) 学士(リハビリテーション学)	1.03		平成9年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	
工学部				—				昭和24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
物理工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成9年度		平成29年度より学生募集停止
電気電子・情報工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成7年度		平成29年度より学生募集停止
機械・航空工学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成6年度		平成29年度より学生募集停止
環境土木・建築学科	4	—	—	—	学士(工学)	—		平成8年度		平成29年度より学生募集停止
化学生命工学科	4	99	—	198	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
物理工学科	4	83	—	166	学士(工学)	1.02	平成29年度	平成29年度		
マテリアル工学科	4	110	—	220	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
電気電子情報工学科	4	118	—	236	学士(工学)	0.98	平成29年度	平成29年度		
機械・航空宇宙工学科	4	150	—	300	学士(工学)	1.00	平成29年度	平成29年度		
エネルギー理工学科	4	40	—	80	学士(工学)	1.07	平成29年度	平成29年度		
環境土木・建築学科	4	80	—	160	学士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
農学部				680				昭和26年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物環境科学科	4	35	—	140	学士(農学)	1.05		平成18年度		
資源生物科学科	4	55	—	220	学士(農学)	1.05		平成18年度		
応用生命科学科	4	80	—	320	学士(農学)	1.07		平成18年度		
合計		2,107	3年次 75 2年次 6 年次	7,190						
	年	人	人	人		倍				
文学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
人文学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(文学)	—		平成12年度		
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(歴史学) 博士(文学) 博士(歴史学)	—				
人文学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
人文学専攻 (博士前期課程)	2	104	—	208	修士(文学) 修士(歴史学)	0.99	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	61	—	183	修士(学術) 博士(文学) 博士(歴史学) 博士(学術)	0.73	平成29年度			
教育発達科学研究科								昭和28年度 (平成12年 度名称変 平成12年度)	愛知県名古屋市千種区不老町1	
教育科学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(教育学)	0.73				
(博士後期課程)	3	16	—	48	修士(教育) 博士(教育学) 博士(教育)	0.70				
心理発達科学専攻 (博士前期課程)	2	22	—	44	修士(心理学) 修士(臨床心理学)	0.88		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(心理学)	0.86				
法学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
総合法政専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(法学) 修士(比較法 学) 修士(現代法 学)	0.38		平成16年度		
(博士後期課程)	3	17	—	51	博士(法学) 博士(比較法 学) 博士(現代法 学)	0.42				
実務法曹養成専攻 (専門職学位課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.66		平成16年度		
経済学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
社会経済システム専攻 (博士前期課程)	2	30	—	60	修士(経済学) 修士(経営管理 学)	1.01		平成12年度		
(博士後期課程)	3	15	—	45	博士(経済学)	0.51				
産業経営システム専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(経済学)	1.06		平成12年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(経済学)	0.75				
情報学研究科								平成29年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
数理情報学専攻 (博士前期課程)	2	14	—	28	修士(情報学) 修士(学術)	1.13	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(情報学) 博士(学術)	0.91				
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(情報学) 修士(学術)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(情報学)	0.79				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
社会情報学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	博士(学術)		平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	15	修士(情報学) 修士(学術) 博士(情報学) 博士(学術)	0.88 0.66				
心理・認知科学専攻 (博士前期課程)	2	15	—	30	修士(情報学) 修士(学術)	0.73	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	7	—	21	博士(情報学) 博士(学術)	0.99				
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(情報学) 修士(学術)	1.04	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(情報学) 博士(学術)	0.55				
知能システム学専攻 (博士前期課程)	2	29	—	58	修士(情報学) 修士(学術)	1.24	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	10	—	30	博士(情報学) 博士(学術)	0.83				
理学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
素粒子宇宙物理学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(理学)	1.05		平成7年度		
(博士後期課程)	3	30	—	90	博士(理学)	0.88				
物質理学専攻 (博士前期課程)	2	63	—	126	修士(理学)	1.20		平成7年度		
(博士後期課程)	3	22	—	66	博士(理学)	0.66				
生命理学専攻 (博士前期課程)	2	42	—	84	修士(理学)	1.05		平成8年度		
(博士後期課程)	3	18	—	54	博士(理学)	0.42				
名古屋大学・エディンバラ大学国際連携 理学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	6	博士(理学)	0.16	平成28年度	平成28年度		
医学系研究科								昭和30年度 (平成14年度名称変更) 平成25年度	愛知県名古屋市昭和区鶴舞町65	総合医学専攻 (博士課程) 平成30年度入学定員減 (△2人)
総合医学専攻 (博士課程)	4	151	—	614	博士(医学)	1.12				
名古屋大学・アデレード大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士(医学)	0.31	平成27年度	平成27年度		
名古屋大学・ Lund 大学国際連携総合医学 専攻 (博士課程)	4	4	—	12	博士(医学)	0.41	平成29年度	平成29年度		
名古屋大学・フライブルク大学国際連携 総合医学専攻 (博士課程)	4	2	—	2	博士(医学)	0.00	平成30年度	平成30年度		平成30年10月学生受入開始
医科学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士(医科学)	0.87		平成13年度		
医療行政コース	1	10	—	10	修士(医療行政学)	1.00				
看護学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(看護学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(看護学)	—				
医療技術学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(医療技術学)	—		平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(医療技術学)	—				
リハビリテーション療法学専攻								平成14年度	愛知県名古屋市東区大幸南1-1-20	平成32年度より学生募集停止

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(リハビリテーション療法学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(リハビリテーション療法学)	—				
工学研究科								昭和28年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
化学・生物工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マテリアル理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
電子情報システム専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
機械理工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
航空宇宙工学専攻								昭和35年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
社会基盤工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
結晶材料工学専攻								昭和52年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
エネルギー理工学専攻								平成5年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
量子工学専攻								平成3年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
マイクロ・ナノシステム工学専攻								平成16年度		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
物質制御工学専攻								平成8年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
計算理工学専攻								平成9年度 (平成16年度再編)		平成29年度より学生募集停止
(博士前期課程)	2	—	—	—	修士(工学)	—				
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(工学)	—				
有機・高分子化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.11				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	1.29				
応用物質化学専攻							平成29年度	平成29年度		
(博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.01				
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.24				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命分子工学専攻 (博士前期課程)	2	28	—	56	修士(工学)	1.03	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	6	—	18	博士(工学)	0.88				
応用物理学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.89	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.33				
物質科学専攻 (博士前期課程)	2	39	—	78	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.25				
材料デザイン工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.08	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.16				
物質プロセス工学専攻 (博士前期課程)	2	35	—	70	修士(工学)	1.33	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.62				
化学システム工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.41				
電気工学専攻 (博士前期課程)	2	34	—	68	修士(工学)	1.15	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.81				
電子工学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	13	—	39	博士(工学)	0.66				
情報・通信工学専攻 (博士前期課程)	2	33	—	66	修士(工学)	1.09	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.58				
機械システム工学専攻 (博士前期課程)	2	66	—	132	修士(工学)	1.18	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	14	—	42	博士(工学)	0.44				
マイクロ・ナノ機械理工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	1.19	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.49				
航空宇宙工学専攻 (博士前期課程)	2	38	—	76	修士(工学)	1.16	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	8	—	24	博士(工学)	0.79				
エネルギー理工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.94	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	5	—	12	博士(工学)	0.53				
総合エネルギー工学専攻 (博士前期課程)	2	18	—	36	修士(工学)	0.97	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	4	—	12	博士(工学)	0.58				
土木工学専攻 (博士前期課程)	2	36	—	72	修士(工学)	0.87	平成29年度	平成29年度		
(博士後期課程)	3	9	—	27	博士(工学)	0.44				
生命農学研究科								昭和30年度 (平成9年 度名称変 平成11年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
生物圏資源学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—				平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
生物機構・機能科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成9年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				
応用分子生命科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(農学)	—		平成10年度		平成30年度より学生募集停止
(博士後期課程)	3	—	—	—	博士(農学)	—				

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の 学科のみ)	開設年度	所在地	
生命技術科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(農学) 博士(農学)	— —		平成16年度		平成30年度より学生募集停止
森林・資材科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	27 7	— —	54 13	修士(農学) 博士(農学)	1.09 0.46	平成30年度	平成30年度		森林・資材科学
植物生産科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	30 9	— —	60 18	修士(農学) 博士(農学)	1.11 0.60	平成30年度	平成30年度		
動物科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	28 7	— —	56 14	修士(農学) 博士(農学)	0.98 0.21	平成30年度	平成30年度		
応用生命科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	66 17	— —	132 33	修士(農学) 博士(農学)	1.04 0.57	平成30年度	平成30年度		応用生命科学専攻(博士後期課程)平成31年度入学定員減(△1人)
名古屋大学・カセ サート大学国際連携 生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	4	博士(農学)	0.50	平成30年度	平成30年度		
名古屋大学・西オ ストラリア大学国際 連携生命農学専攻 (博士後期課程)	3	2	—	2	博士(農学)	1.00	平成31年度	平成31年度		
国際開発研究科								平成3年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際開発専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成3年度		平成30年度より学生募集停止
国際協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	— —		平成4年度		平成30年度より学生募集停止
国際コミュニケーション専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(学術) 博士(学術)	— —		平成5年度		平成29年度より学生募集停止
国際開発協力専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	44 22	— —	88 44	修士(国際開発学) 修士(学術) 博士(国際開発学) 博士(学術)	1.13 0.61	平成30年度	平成30年度		
多元数理科学研究科 多元数理科学専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	47 30	— —	94 90	修士(数理学) 博士(数理学)	1.06 0.49		平成7年度 平成7年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	
国際言語文化研究科 日本語文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度 平成10年度	愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
国際多元文化専攻 (博士前期課程) (博士後期課程)	2 3	— —	— —	— —	修士(文学) 修士(学術) 博士(文学) 博士(学術)	— —		平成10年度		

大学の名称	名古屋大学									備考		
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地			
環境学研究科								平成13年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
地球環境科学専攻 (博士前期課程)	2	53	—	106	修士(環境学)	0.87		平成13年度				
(博士後期課程)	3	24	—	72	修士(理学) 博士(環境学) 博士(理学)	0.57						
都市環境学専攻 (博士前期課程)	2	47	—	94	修士(環境学) 修士(工学) 修士(建築学)	1.24		平成13年度				
(博士後期課程)	3	21	—	63	博士(環境学) 博士(工学) 博士(建築学)	0.37						
社会環境学専攻 (博士前期課程)	2	27	—	54	修士(環境学) 修士(社会学) 修士(地理学) 修士(法学)	0.84		平成13年度				
(博士後期課程)	3	13	—	39	修士(経済学) 博士(環境学) 博士(社会学) 博士(地理学) 博士(法学) 博士(経済学)	0.48						
情報科学研究科								平成15年度			愛知県名古屋市千種区不老町1	平成29年度より学生募集停止
計算機数理科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
情報システム学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
メディア科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
複雑系科学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
社会システム情報学専攻 (博士前期課程)	2	—	—	—	修士(情報科学) 修士(工学)	—		平成15年度				
(博士後期課程)	3	—	—	—	修士(学術) 博士(情報科学) 博士(工学) 博士(学術)	—						
創薬科学研究科								平成24年度	愛知県名古屋市千種区不老町1			
基盤創薬学専攻 (博士前期課程)	2	32	—	64	修士(創薬科学) 博士(創薬科学)	1.13		平成24年度				
(博士後期課程)	3	10	—	30		0.66		平成26年度				
合計												
博士前期課程		1,634	0	3,268								
博士後期課程		566	0	1,702								
博士課程		161	—	644								
修士課程		30	—	50								

大学の名称	名古屋大学									備考
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	定員変更 年度 (AC期間の 学科のみ)	開設 年度	所在地	
専門職学位課程		50	—	150						

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<工学研究科 土木工学専攻（博士後期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	館石 和雄 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

【平成29年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	館石 和雄 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 産学官プロジェクト ワーク (研究指導)

【平成30年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 準治 <平成30年4月> Dr.-Ing. (独国) 構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)
専	教授	館石 和雄 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

【令和元年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	加藤 準治 <平成30年4月> Dr.-Ing. (独国) 構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)
専	教授	館石 和雄 <平成29年4月> 博士(工学) 社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E 国際協働プロジェクト セミナーII U2 国際協働プロジェクト セミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
	教授	山本 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーシステムセミナー2A 環境エコロジーシステムセミナー2B 環境エコロジーシステムセミナー2C 環境エコロジーシステムセミナー2D 環境エコロジーシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	山本 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーシステムセミナー2A 環境エコロジーシステムセミナー2B 環境エコロジーシステムセミナー2C 環境エコロジーシステムセミナー2D 環境エコロジーシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	山本 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーシステムセミナー2A 環境エコロジーシステムセミナー2B 環境エコロジーシステムセミナー2C 環境エコロジーシステムセミナー2D 環境エコロジーシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	戸田 祐嗣 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	山本 俊行 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーシステムセミナー2A 環境エコロジーシステムセミナー2B 環境エコロジーシステムセミナー2C 環境エコロジーシステムセミナー2D 環境エコロジーシステムセミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水谷 法美 <平成29年4月> 工学博士
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	中村 光 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水谷 法美 <平成29年4月> 工学博士
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	中村 光 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水谷 法美 <平成29年4月> 工学博士
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	中村 光 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	水谷 法美 <平成29年4月> 工学博士
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	中村 光 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	片山 新太 <平成29年4月> 工学博士
		地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	片山 新太 <平成29年4月> 工学博士
		地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	片山 新太 <平成29年4月> 工学博士
		地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	中野 正樹 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	片山 新太 <平成29年4月> 工学博士
		地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	林 希一郎 <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		国際環境協力セミナー2A 国際環境協力セミナー2B 国際環境協力セミナー2C 国際環境協力セミナー2D 国際環境協力セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)
専	教授	林 希一郎 <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		国際環境協力セミナー2A 国際環境協力セミナー2B 国際環境協力セミナー2C 国際環境協力セミナー2D 国際環境協力セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 産学官プロジェクトワーク (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	林 希一郎 <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		国際環境協力セミナー2A 国際環境協力セミナー2B 国際環境協力セミナー2C 国際環境協力セミナー2D 国際環境協力セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	野田 利弘 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)
専	教授	林 希一郎 <平成29年4月> 博士(国際協力学)
		国際環境協力セミナー2A 国際環境協力セミナー2B 国際環境協力セミナー2C 国際環境協力セミナー2D 国際環境協力セミナー2E 国際協働プロジェクトセミナーII U2 国際協働プロジェクトセミナーII U4 (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 富生 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーステムセミナー2A 環境エコロジーステムセミナー2B 環境エコロジーステムセミナー2C 環境エコロジーステムセミナー2D 環境エコロジーステムセミナー2E 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターナショナル2 (研究指導)
専	准教授	山田 正太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 富生 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーステムセミナー2A 環境エコロジーステムセミナー2B 環境エコロジーステムセミナー2C 環境エコロジーステムセミナー2D 環境エコロジーステムセミナー2E 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターナショナル2 (研究指導)
専	准教授	山田 正太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 富生 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーステムセミナー2A 環境エコロジーステムセミナー2B 環境エコロジーステムセミナー2C 環境エコロジーステムセミナー2D 環境エコロジーステムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	山田 正太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	三輪 富生 <平成29年4月> 博士(工学)
		環境エコロジーステムセミナー2A 環境エコロジーステムセミナー2B 環境エコロジーステムセミナー2C 環境エコロジーステムセミナー2D 環境エコロジーステムセミナー2E (研究指導)
専	准教授	山田 正太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本 佳士 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中井 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本 佳士 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中井 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本 佳士 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中井 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	山本 佳士 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	中井 健太郎 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	榎 涼太 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	榎 涼太 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターナシップ2 (研究指導)
専	准教授	榎 涼太 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E (研究指導)

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 友昭 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セミナー2A 海岸・海洋工学セミナー2B 海岸・海洋工学セミナー2C 海岸・海洋工学セミナー2D 海岸・海洋工学セミナー2E 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターナシップ2 (研究指導)
専	准教授	榎 涼太 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミナー2A 流域保全学セミナー2B 流域保全学セミナー2C 流域保全学セミナー2D 流域保全学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	判治 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	北根 安雄 <平成29年4月> Ph.D.(工学) (米国)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	廣畑 幹人 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	判治 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	北根 安雄 <平成29年4月> Ph.D.(工学) (米国)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	廣畑 幹人 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	判治 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	北根 安雄 <平成29年4月> Ph.D.(工学) (米国)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	廣畑 幹人 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	判治 剛 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理学 セミナー2A 社会基盤維持管理学 セミナー2B 社会基盤維持管理学 セミナー2C 社会基盤維持管理学 セミナー2D 社会基盤維持管理学 セミナー2E (研究指導)
専	准教授	北根 安雄 <平成29年4月> Ph.D.(工学) (米国)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)
専	准教授	廣畑 幹人 <平成29年4月> 博士(工学)
		構造工学セミナー2A 構造工学セミナー2B 構造工学セミナー2C 構造工学セミナー2D 構造工学セミナー2E (研究指導)

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	栗田 貴宣 <平成29年4月> 博士(工学) 地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E
兼任	講師	田代 むつみ <平成29年4月> 博士(工学) 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターンシップ2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中村 晋一郎 <平成29年4月> 博士(工学) 国土デザイン学セミナー2A 国土デザイン学セミナー2B 国土デザイン学セミナー2C 国土デザイン学セミナー2D 国土デザイン学セミナー2E
専	助教	栗田 貴宣 <平成29年4月> 博士(工学) 地圏環境保全学セミナー2A 地圏環境保全学セミナー2B 地圏環境保全学セミナー2C 地圏環境保全学セミナー2D 地圏環境保全学セミナー2E
兼任	講師	田代 むつみ <平成29年4月> 博士(工学) 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターンシップ2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	中村 晋一郎 <平成29年4月> 博士(工学) 国土デザイン学セミナー2A 国土デザイン学セミナー2B 国土デザイン学セミナー2C 国土デザイン学セミナー2D 国土デザイン学セミナー2E
専	講師	田代 むつみ <平成29年4月> 博士(工学) 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターンシップ2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	中村 晋一郎 <平成29年4月> 博士(工学) 国土デザイン学セミナー2A 国土デザイン学セミナー2B 国土デザイン学セミナー2C 国土デザイン学セミナー2D 国土デザイン学セミナー2E (研究指導)
専	講師	田代 むつみ <平成29年4月> 博士(工学) 国際環境人材育成セミナー2A 国際環境人材育成セミナー2B グローバル研究インターンシップ2

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E
専	助教	三浦 泰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E
専	助教	酒井 崇之 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E
専	助教	三浦 泰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E
専	助教	酒井 崇之 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E
専	助教	三浦 泰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E
専	助教	酒井 崇之 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	吉川 高広 <平成29年4月> 博士(工学)
		国土防災安全工学セミナー2A 国土防災安全工学セミナー2B 国土防災安全工学セミナー2C 国土防災安全工学セミナー2D 国土防災安全工学セミナー2E
専	助教	三浦 泰人 <平成29年4月> 博士(工学)
		材料・形態学セミナー2A 材料・形態学セミナー2B 材料・形態学セミナー2C 材料・形態学セミナー2D 材料・形態学セミナー2E
専	助教	酒井 崇之 <平成29年4月> 博士(工学)
		地盤材料工学セミナー2A 地盤材料工学セミナー2B 地盤材料工学セミナー2C 地盤材料工学セミナー2D 地盤材料工学セミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	清水 優 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理 学セミナー2A 社会基盤維持管理 学セミナー2B 社会基盤維持管理 学セミナー2C 社会基盤維持管理 学セミナー2D 社会基盤維持管理 学セミナー2E
専	助教	尾花 まき子 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミ ナー2A 流域保全学セミ ナー2B 流域保全学セミ ナー2C 流域保全学セミ ナー2D 流域保全学セミ ナー2E
専	助教	趙 容桓 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セ ミナー2A 海岸・海洋工学セ ミナー2B 海岸・海洋工学セ ミナー2C 海岸・海洋工学セ ミナー2D 海岸・海洋工学セ ミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	清水 優 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理 学セミナー2A 社会基盤維持管理 学セミナー2B 社会基盤維持管理 学セミナー2C 社会基盤維持管理 学セミナー2D 社会基盤維持管理 学セミナー2E
専	助教	尾花 まき子 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミ ナー2A 流域保全学セミ ナー2B 流域保全学セミ ナー2C 流域保全学セミ ナー2D 流域保全学セミ ナー2E
専	助教	趙 容桓 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セ ミナー2A 海岸・海洋工学セ ミナー2B 海岸・海洋工学セ ミナー2C 海岸・海洋工学セ ミナー2D 海岸・海洋工学セ ミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	清水 優 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理 学セミナー2A 社会基盤維持管理 学セミナー2B 社会基盤維持管理 学セミナー2C 社会基盤維持管理 学セミナー2D 社会基盤維持管理 学セミナー2E
専	助教	尾花 まき子 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミ ナー2A 流域保全学セミ ナー2B 流域保全学セミ ナー2C 流域保全学セミ ナー2D 流域保全学セミ ナー2E
専	助教	趙 容桓 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セ ミナー2A 海岸・海洋工学セ ミナー2B 海岸・海洋工学セ ミナー2C 海岸・海洋工学セ ミナー2D 海岸・海洋工学セ ミナー2E

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	助教	清水 優 <平成29年4月> 博士(工学)
		社会基盤維持管理 学セミナー2A 社会基盤維持管理 学セミナー2B 社会基盤維持管理 学セミナー2C 社会基盤維持管理 学セミナー2D 社会基盤維持管理 学セミナー2E
専	助教	尾花 まき子 <平成29年4月> 博士(工学)
		流域保全学セミ ナー2A 流域保全学セミ ナー2B 流域保全学セミ ナー2C 流域保全学セミ ナー2D 流域保全学セミ ナー2E
専	助教	趙 容桓 <平成29年4月> 博士(工学)
		海岸・海洋工学セ ミナー2A 海岸・海洋工学セ ミナー2B 海岸・海洋工学セ ミナー2C 海岸・海洋工学セ ミナー2D 海岸・海洋工学セ ミナー2E

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
		関 浩之 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	古橋 武 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II
		佐藤 理史 <平成29年4月> 博士(工学) 実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	山田 陽滋 <平成29年4月> 工学博士 実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	河川 信夫 <平成29年4月> 博士(工学) 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	藤井 俊彰 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II
兼任	教授	柳浦 睦憲 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上垣外 正己 <平成29年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	生田 博志 <平成31年4月> 博士(工学)
		実験指導体験実習1 研究インターンシ ップ2 U2 研究インターンシ ップ2 U3 研究インターンシ ップ2 U4 研究インターンシ ップ2 U6 研究インターンシ ップ2 U8
兼任	教授	武田 一哉 <平成29年4月> 博士(工学)
		実世界データ循環シ ステム特論II 産学官プロジェクト ワーク

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢) <就任(予定) 年月> 保有学位等
		担当授業科目名
	兼任 准教授	永野 修作 <平成29年4月> 博士(工学) 実験指導体験実習2

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) -②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

・以下担当教員の見直しによる変更
椿 涼太, 中村 晋一郎, 河口 信夫, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 上垣外 正己, 藤井 俊彰, 武田 一哉, 柳浦 睦憲, 永野 修作

【平成30年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
館石 和雄, 戸田 祐嗣, 水谷 法美, 中村 光, 中野 正樹, 片山 新太, 野田 利弘, 林 希一郎, 三輪 富生, 中村 友昭, 田代 むつみ, 河口 信夫, 武田 一哉
・以下辞任
廣畑 幹人, 粟田 貴宣, 関 浩之, 古橋 武, 佐藤 理史, 山田 陽滋, 藤井 俊彰, 柳浦 睦憲
・以下就任
加藤 準治

【令和元年度】

・以下担当教員の見直し及び担当教員辞任による変更
加藤 準治, 中村 晋一郎
・以下辞任
山田 正太郎, 北根 安雄, 河口 信夫, 上垣外 正己
・以下就任
生田 博志
・以下職名変更
中村 晋一郎

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研 究指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学院】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教授	准教授	講師	助教	計（A）	教授	准教授	講師	助教	計（B）
11	9	0	11	31	10	7	1	6	24
(9)	(9)	(1)	(7)	(26)					
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
31	0	0			24	0	0		
(26)	(0)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計（C）	教授	准教授	講師	助教	計（D）
11	9	0	11	31	11	9	0	11	31
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
31	0	0			31	0	0		
[0]	[0]	[0]			[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{31} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{24} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
		該当なし									
合計（D）						後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
				選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
1	准教授	廣畑 幹人	H30.3	選択	構造工学セミナー2A	①	H30.3.31付け退職のため辞任（30）				
				選択	構造工学セミナー2B	①					
				選択	構造工学セミナー2C	①					
				選択	構造工学セミナー2D	①					
				選択	構造工学セミナー2E	①					
				—	（研究指導）						
2	助教	栗田 貴宣	H30.3	選択	地圏環境保全学セミナー2A	①	H30.3.31付け担当教員見直しのため辞任（30）				
				選択	地圏環境保全学セミナー2B	①					
				選択	地圏環境保全学セミナー2C	①					
				選択	地圏環境保全学セミナー2D	①					
				選択	地圏環境保全学セミナー2E	①					
3	准教授	山田 正太郎	H31.3	選択	地盤材料工学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）				
				選択	地盤材料工学セミナー2B	①					
				選択	地盤材料工学セミナー2C	①					
				選択	地盤材料工学セミナー2D	①					
				選択	地盤材料工学セミナー2E	①					
				—	（研究指導）						
4	准教授	北根 安雄	H31.3	選択	構造工学セミナー2A	①	H31.3.31付け退職のため辞任（元）				
				選択	構造工学セミナー2B	①					
				選択	構造工学セミナー2C	①					
				選択	構造工学セミナー2D	①					
				選択	構造工学セミナー2E	①					
				—	（研究指導）						
合計（F）						後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数				担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4 人				必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目		
				選択	20 科目	選択	20 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
				自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
				計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
4 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	20 科目	選択	20 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	20 科目	計	20 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{4}{31} = \boxed{12.9} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計			後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・ 兼任担当教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教員が担当する科目については、当該教員と同等の研究領域の専任教員が担当しており、授業の実施に支障はない。
 なお、専任教員が交代した科目については、電子シラバス等でもあらかじめ周知している。

- (注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<工学研究科 土木工学専攻（博士後期課程）>

（1）設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2）教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部局内に教務委員会を設置、同委員会に新旧各学科・専攻等から委員を参画させ、それぞれの学科・専攻に情報を展開する体制を敷いている。 ・その他、教授会において、担当理事等を招き、定期的に教員の資質の向上につながる講演を行っている。 <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会 月1回程度開催：新旧学科・専攻から代表委員が参加。 ・教授会 年4回程度：講師以上が参加。 <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教務委員会では、教育制度全般（基本理念、カリキュラム、入進学制度、研究指導體制、教育内容・方法・評価）について検討・改善するための取組を分掌。 また、本学が参画している8大学工学関連研究科長等会議の元に設置された工学教育プログラム委員会が年に2回～3回開催され、企業委員も参加するWGからのタイムリーな提言、セミナーなどを実施しているが、これらの活動内容も教務委員会を通して工学部・工学研究科全教員に伝えられ、FDの機能を果たしている。 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学主催の新任教員研修FDへの参加（本学高等教育研究センターが実施） ・部局独自のハラスメント防止研修及び新任教員説明会の開催。 ・年度当初の教授会において、教務委員長から当該年度における教育体制の詳細な説明及び注意点の説明。 ・教授会での各種説明会の実施。 ・学業の成果の達成度や満足度に関する学生アンケート等の実施及び結果検証。 ・在学中の学業の成果に関する卒業、修了生及び進路先、就職先等の関係者への意見聴取等の結果検証。 ・入学者ガイダンスにおける教育目標理解度アンケート等の実施及び検証。 <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学の新任教員研修FD及び部局内研修・説明会への参加は専攻長会議でも情報を流し、周囲から新任教員の研修参加に対する配慮を得、かつ対象者に参加を促す仕組みをとっている。 ・教授会においては、教育面でも核となる講師以上の教員に対し、大学が重要と位置づける教育上の留意事項等
--

を担当理事等が直接説明、質疑を行うことにより、広く正確な共通認識に寄与している。

- ・ 学生に対するアンケート等の実施においては、その項目も常に見直し、回答結果と傾向を分析して教務委員会で議論しており、委員は各学科、専攻に持ち帰ってフィードバックすることにより、教員全体で常に教育体制の改善を図っている。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・ 平成30年度新任教員研修FDへの参加（対象者の8割程度）
- ・ 部局内ハラスメント研修及び新任教員説明会への参加（ほぼ全員）
- ・ 各種アンケートの定例実施（対象者全員に配付）
- ・ 平成30年度教授会での説明会
4月：工学部・工学研究科における教育体制について（教務委員会委員長）141名出席
7月：研究費の適切な使用について（研究科長）140名出席
1月：名古屋大学における安全保障輸出管理について（学術研究・産学官連携推進本部）144名出席

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 学生へのアンケート結果を踏まえて、教務委員会で対策を議論。その結果を各学科、専攻にフィードバックすることにより、教員間の連携を強化した。また、実習の実施内容や評価方法、アンケート項目についても議論し、次年度の改善策を検討した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ すべての科目を対象として、各学期の後半2週間で実施。
- ・ 回収率は対象受講者数の50～60%を推移している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ 集計結果を各学科の教務委員及び各授業担当教員にフィードバックし、自己点検と授業改善等のために活用している。また、集計結果の概要を学生に開示している。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

名古屋大学は自由闊達な学風の下、創造的な研究と自発性を重視する教育を実践することによって、論理的思考力と想像力に富み、「機会を掴む」、「困難に挑む」、「自律性と自発性を育む」ことのできる勇気ある知識人の育成を目指している。今回の改組は、この大学としての基本理念を前提に、大学院工学研究科では、発展しつつある工学を修得し、工学的手法を駆使して、目標を効果的に達成するプロジェクトリーダーとしての能力のある人材を育成することを目的としている。

その目的達成のため、教育プログラム及び組織編成改革を実行し、適正な規模と専門性を持った教員組織による教育を施すべく、学部と大学院を同時に改組して、高校生からも社会からもわかりやすい、工学の分野区分として標準的でシンプルな学科、専攻の構成にして、設置趣旨・目的の実現に向け、以下のとおり、取り組みを始めた。

今後は各年度ごとにその実施状況、成果について検証し、大学の評価部門が取り纏めている現況調査票等に反映していく。

(1) 大学院では、総合科目（共通科目、研究室ローテーション）を充実させ、他専攻・他研究科・他大学で開講される科目の履修も義務付けて骨太の総合力・俯瞰力を養う。

(2) グローバリゼーションへの積極策の一つとして、G30プログラムを拡張し、日本人学生にも履修を可能にするなど、国際通用性を持った人材を育成する教育プログラムを実践する。

特に自動車工学分野は、別にサマープログラムを設け、留学生を中心に工学固有の先端教育を推進する。

(3) 大学院への社会人受入れを促進し、社会人向けリーダー養成講座、技術者向け講習会等を実施し、多様な業界における産学連携教育を推進させ、産業基盤を支える技術の維持発展を行う。

(4) 工学関連センター及び研究所と連携し、よりフレキシブルな学問的・人的交流を確保し、研究をベースにした専攻をまたぐプロジェクトを設置して、最先端教育プログラムを開講する。また、産学連携を含む研究開発を行うと共に、課題探索・解決力を備えた人材を育成する。（選択履修とし、一定の単位取得により認定証を交付する。）

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和元年10月 公表予定

b 公表方法

- ・国立大学法人評価における年度実績報告書を作成し、例年6月末までに文部科学省あて提出している。
- ・報告書及び評価結果を大学ホームページ上に公開する予定である。

③ 認証評価を受ける計画

- ・学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年 6月 1日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。